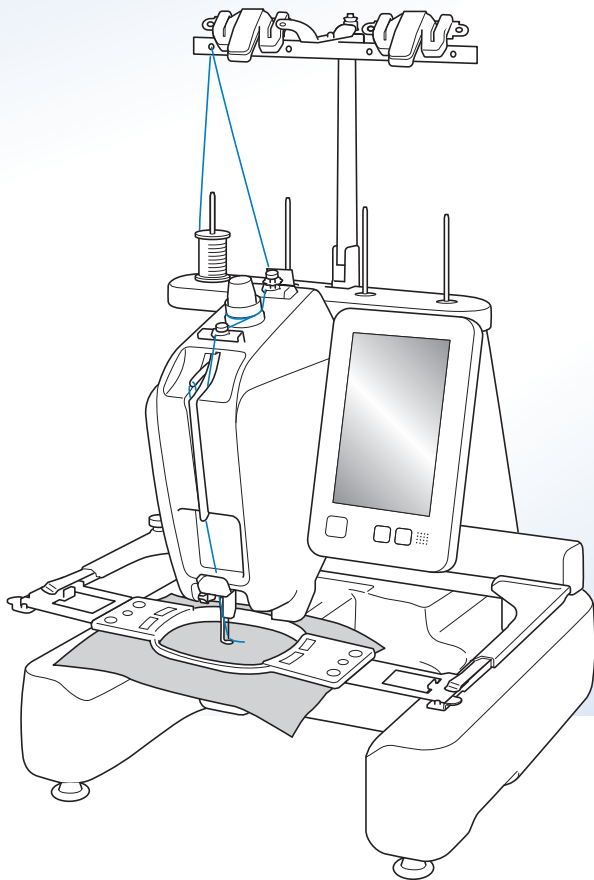


取扱説明書

業務用刺しゅうマシン

PRT52 シリーズ



使い方動画



<https://s.brother/cvcac/>

- ご使用になる前に必ず本書をお読みにになり、正しくお使いください。
- 本書はなくさないように大切に保管し、いつでも手にとって見られるようにしてください。
- 最新の取扱説明書は、ブラザーのサポートサイト（<https://s.brother/cpcac/>）でご覧いただけます。



はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。お使いになる前に「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、取扱説明書で機能や正しい使い方を十分にご理解のうえ、末永くご愛用ください。また取扱説明書は、読み終わったあとも、いつでもご覧になれるところに保管してください。



安全にお使いいただくために

人への危害や損害を未然に防ぐために、必ずお守りください。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。








 警告	「死亡や重傷を負うおそれのある」内容です。
 注意	「傷害を負うおそれのある」内容です。
重要	「物的損害が発生するおそれのある」内容です。

■ お守りいただく内容を区分して説明しています。

	「してはいけない」内容です。
	「実行しなければならない」内容です。



警告

火災・感電・故障・事故などをさけるために

- | | |
|---|--|
|  一般家庭用電源 AC100V の電源で使う |  異常・故障時は...
すぐにプラグを抜き、お買い上げの販売店へご連絡を!
(または PR/VR 専用ダイヤルへ)
異常などの例： <ul style="list-style-type: none">● 煙が出た、異臭や異常音がする● ミシンを落とした● 電源コードやプラグの破損● 本体に水が入った |
|  濡れた手でプラグの抜き差しはしない |  本製品は、お子様の手の届かないところで使用・保管する
(本製品には小さな部品が含まれており、誤飲のおそれがあります) |
|  プラグは根元まで確実に差し込む |  本機が入っていた袋は、お子様の手の届かないところに保管するか廃棄する
(かぶって遊ぶと、窒息のおそれがあります) |
|  次の場合は電源を切り、プラグを抜く <ul style="list-style-type: none">● 接触不良などで正常に動作しないとき● 使用中に停電したとき● ミシンの使用後や、そばを離れるとき● 雷が鳴りはじめたとき | |

注意

火災・感電などをさけるために

- | | |
|--|---|
|  ● 次のようなことをしない <ul style="list-style-type: none">・ たこ足配線・ 電源を切らずにプラグを抜く・ ゆるんだコンセントに差し込む・ 電源コードを引っ張って抜く |  ● 電源コードは、次のような扱いをしない <ul style="list-style-type: none">・ 無理に曲げる・ ねじる・ たばねたまま使う・ 重い物を載せる など |
|--|---|

！ 注意

けが・針折れなどをさけるために



- 縫製中は次のことをしない
 - ・ 針やプーリー、キャリッジなど、動いている部品に手を近づける
 - ・ 針の下などに指を入れる
 - ・ 布地を無理に引っ張ったり、押ししたりする
- 曲がった針は使わない
- リッパーで穴をあける方向に、手や指を置かない
(すべったときにけがのおそれがあります)



- 針の交換時は、電源を切る
(誤ってスイッチを押すと、ミシンが作動するおそれがあります)
- 上糸や下糸などに関する操作は、本書に従って正しく行う
(誤ると、糸がらみなどが発生し、針の折れや曲がりのおそれがあります)

火災・感電・けが・故障などをさけるために

設置・保管場所



- 次の場所に設置や保管をしない
 - ・ 著しく高温や低温になる
(使用環境温度は5～40℃)
 - ・ 急激に温度が変化する
 - ・ 火気や熱器具、冷暖房機器などに近い
(火のついたたばこやろうそく、アイロン、ストーブなど)
 - ・ スプレー (布用スプレーなど) を使う部屋
 - ・ 湿気や湯気が多い
 - ・ 屋外や、直射日光が当たる
 - ・ ほこりや油煙が多い
 - ・ 不安定な場所 (ぐらつく、傾くなど)
- 換気口に糸くずやほこりをためない
- 換気口をふさがない

取り扱い



- 換気口や内部にドライバーなどを差し込んだり、異物を入れない
(高電圧部に触れるおそれがあります)
- 修理や分解、改造は行わない
- 本書に記載の整備は、プラグを抜いてから行う



持ち運び



- 急激または、不用意に持ち上げない
- 底部の指定箇所を持って2人以上で運ぶ
(他の部分では、こわれたり、すべて落とすおそれがあります)



重要

故障・損傷などをさけるために



- 本製品のお手入れには、シンナー・ベンジン・アルコールなどの有機溶剤、洗剤を使わない
(塗装がはがれたり、傷がついたりするおそれがあります)



- 付属品、別売品は純正品を使う
ブラザー純正品または推奨品以外の部品使用による故障は、保証期間中でも有償修理となります。
※ その他のものが必ず不具合を起こすわけではありません。
- 釜のレース部と針棒に注油する

🔍 お願い

- このミシンは日本国内向け、業務用です。日本国外では使用できません。
This sewing machine can not be used in a foreign country as designed for Japan.
- 仕様および外観は品質改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 取扱説明書の内容を許可なく無断で複製することは禁じられておりますのでご了承ください。
- 取扱説明書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 取扱説明書の内容について、万一不審な点や誤りなどお気づきの点がありましたらお買い上げの販売店または「PR/VR専用ダイヤル」にご連絡ください。
- 本機をご使用になる方(お子様を含む)が、身体/知覚/精神的能力になんらかの障がいを持つ場合、あるいは経験や知識が十分でない場合には安全を保証できる責任者の監視の下でのみ本機を使用してください。
- お子様を使用するときは、玩具として使用しないよう、十分な監視の下で使用してください。

利用規約

重要！！ よくお読み下さい：

この利用規約（以下、「本規約」といいます）は、お客様が弊社のミシン、刺しゅう機、またはクラフト製品（以下、「弊社製品」といいます）をご利用になる際にインストールまたは使用される本ソフトウェアについて、お客様とブラザー工業株式会社（以下、「弊社」といいます）が締結する契約です。「本ソフトウェア」とは、すべてのコンテンツデータ（デザインまたは刺しゅうデータを含み、総称して「コンテンツ」といいます）、データフォーマット、弊社製品におけるファームウェア、PC アプリケーション、またはモバイル機器アプリケーションを指すものとします。

本ソフトウェアおよび弊社製品をお客様がご利用になることにより、お客様は本規約の各条項に従うことに同意したものとみなされます。お客様が本規約に同意されない場合、弊社は本ソフトウェアをお客様にライセンスすることができず、お客様は本ソフトウェアの使用を許諾されません。なお、本規約への修正または追補が本ソフトウェアになされる場合があります。

企業を代理して本規約に同意する個人は、その企業における法的拘束力のある契約を締結する権限を有していることを表明します。

使用許諾条件：

1 使用許諾

- 1.1 本規約に基づき、弊社はお客様に対し、弊社製品をご利用になる範囲に限り、本ソフトウェアにおける非独占的、譲渡不能かつ取消可能なライセンスを許諾します。
- 1.2 お客様に認められた本ソフトウェアの使用に関する権利は、本規約のもとでのお客様の本ソフトウェアのご使用に関してのみライセンスされるものであり、譲渡されるものではありません。弊社または弊社のライセンサーは、本ソフトウェアに含まれる知的財産権に限らず、すべての権利、権原および利益を保持します。

2 制限

- 2.1 本規約に明示的に記載されている場合、または、各国の法令によって要求される場合を除き、お客様は以下の条件に従います。
 - 2.1.1 分解、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、翻訳、または他の方法により、本ソフトウェアのソースコード（弊社製品またはコンテンツ編集アプリケーションソフトウェアを使用してお客様が作成したコンテンツを含むものとし、以下、第2条において同様に適用します。）を取得しないこと。
 - 2.1.2 本ソフトウェアの全部または一部に基づく派生物（7.2条に定めるお客様コンテンツを除く）を製作しないこと。
 - 2.1.3 弊社からの書面による事前の承諾なく、本ソフトウェアの全部または一部を、いかなる形態であれ他者に配布、提供、利用可能にしないこと。
 - 2.1.4 本ソフトウェアを弊社製品上での通常の使用に付す場合、またはバックアップや運用上の安全のために必要な場合を除き、本ソフトウェアを複製しないこと。

- 2.1.5 本ソフトウェアの全部または一部の譲渡、賃貸借、リース、サブライセンス、貸付、翻訳、結合、翻案、変更、改造、改変を行ってはならないこと、また本ソフトウェアまたはその一部を他のプログラムに結合させたり、組み込んだりしてはならないこと。
- 2.1.6 本ソフトウェアの全部または一部の複製物においても、弊社または弊社のライセンサーの著作権表示およびこの利用規約を含めておくこと。
- 2.1.7 本規約の第1条に規定する以外の目的（許可されていないミシン、刺しゅう機またはクラフト製品もしくはソフトウェアと共に使用することを含むがこれに限定されません）において、本ソフトウェアを使用しないこと。

3 無保証

適用される法令にて許容される範囲において、本ソフトウェアは、口頭または書面によるかにかかわらず、また明示的または黙示的にかかわらず、いかなる種類の保証または条件なく、「現状有姿」にて提供されます。弊社は、本ソフトウェアにおける商品性、品質の完全性、非侵害性または特定の目的への適合性について、いかなる黙示的な保証もいたしません。

4 責任制限

- 4.1 弊社は、本ソフトウェア、サポートサービスまたは本規約に起因するまたは関連する、お客様、最終使用者、または、その他の事業者が生じる、いかなる利益または収益または貯蓄の損失、データの損失、使用の中断、または派生的、偶発的、特別、懲罰的または間接的な損害について、（規約上の行為または不法行為のいずれであっても）、たとえ弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合であっても、いかなる責任も負わないものとします。これらの制限は、限定的救済手段の本質的目的が達成されない場合であっても、適用される法令で認められる最大限の範囲に適用されます。
- 4.2 本規約第3条または第4.1条にかかわらず、本規約は、弊社の過失によって生じる死亡または人身傷害に関する責任を排除または制限するものではなく、または、消費者の法的権利を限定するものではありません。

5 利用にあたって発生する通信費等

本ソフトウェアに関連するサービスの一部は、通信回線を使用し提供される場合があります。お客様が本ソフトウェアを利用する際には通信費が発生することがありますが、当該通信費はお客様の負担とします。その他お客様が本ソフトウェアを利用するにあたって必要となる費用はお客様の負担とします。以上の通信費等を弊社は負担いたしません。

6 アップデート

弊社は、自己の裁量において、お客様に通知の上、あるいは、通知することなく、本ソフトウェアの機能追加、削除を行う、または、修正プログラム、性能向上版、アップデート、アップグレード（以下総称して、「アップデート」といいます）を提供する権利を留保します。お客様は、弊社がアップデートを提供したり、本ソフトウェアの後続バージョン

ンを利用可能にする義務を負うものではないことに同意します。お客様は、アップデートを利用したい場合、本規約の修正版を結ぶことが弊社の裁量において要求される場合があることに同意します。

7 コンテンツの利用

- 7.1 お客様は、本ソフトウェアを介して、または、関連して弊社または弊社のライセンサーにより、アップロード、保存またはその他の方法で利用可能な状態となったコンテンツ（以下まとめて、「弊社コンテンツ」といいます）を使用することができます。お客様は、少なくとも弊社コンテンツを使用したクラフト作品の創作ならびに当該クラフト作品の私的使用をすることができます。当該私的使用の条件（例えば、編集の制限等）やその他の利用条件（例えば、クラフト作品の販売禁止等）は、異なる場合がありますのでご注意ください。各弊社コンテンツの利用条件は、本ソフトウェアまたは弊社製品と共に提供される[利用規約（模様編）]を参照ください。
- 7.2 お客様は、本ソフトウェアまたは本ソフトウェアと接続する外部機器を用いてコンテンツを創作または編集し、新たなコンテンツを作成することができます。お客様が新たなコンテンツを作成した場合、当該新たなコンテンツ（以下、「お客様コンテンツ」といいます）は、お客様の責任において使用することができます。

8 ソフトウェアに関するお客様の義務

- お客様は、以下を約束するものとします。
- A) 本ソフトウェアの利用に際し適用されるすべての法令を遵守すること
- B) 本ソフトウェアを、違法、中傷的、猥褻、下品、攻撃的、脅迫的な、または第三者の知的財産権を侵害する利用方法をしないこと
- C) ウィルス、ワーム、トロイの木馬その他技術的に有害なデータ、プログラムまたはソフトウェアを本ソフトウェアに関連して頒布または送信しないこと

9 解除

- 9.1 お客様が本規約における重大な違反をし、弊社による請求に基づきその違反を直ちに是正しない場合、弊社はいつでも本規約を解除する権利を有するものとします。
- 9.2 本規約に基づきお客様に付与されたすべての権利が何らかの理由により終了した場合、お客様は本規約により許可されたすべての活動を終了し、お客様が所有するすべてのコンピュータ機器から本ソフトウェアを直ちに消去または削除し、また、お客様の所有する本ソフトウェアのすべての複製物もしくはその派生物を削除または破棄します。上記に加えて、お客様は所有する弊社製品によりお客様が作成したコンテンツを削除するものとします。

10 一般条項

- 10.1 お客様は、適用される法律または規則に違反して、本ソフトウェアまたはそのコピーもしくはその改変物を輸出または再輸出してはなりません。
- 10.2 お客様は、本規約における権利または義務の全部または一部を、弊社製品の所有権と共に譲渡する場合を除き、第三者に譲渡してはなりません。合併、資産または株式の売却に伴

う支配または再編成の変更は、本規約の譲渡であるとみなします。

- 10.3 お客様は、本規約の違反が、金銭的損害賠償が適切な救済策ではなく、弊社に回復不能な損害を引き起こすものであることに同意し、弊社は、本規約または法令に基づく救済に加えて、保証金、その他の担保、または損害額の証明なく、衡平法上の救済を求める資格を有するものとします。
- 10.4 本規約のいずれかの条項が管轄権を有する裁判所によって無効または執行不能と宣言または決定された場合、その条項は本規約の他の条項と切り離して独立し、その他の条項および規約全体の有効性はこれによる影響を受けるものではありません。
- 10.5 本規約は、ここに添付されているすべての書類とともに、本件の主題に関する当事者間の完全な合意を構成し、この件に関する当事者間の口頭および書面によるすべての提案に優先します。
- 10.6 弊社が、本規約に基づく義務の履行をお客様に求めなかった場合、または弊社がお客様に対して何らかの権利の行使をしない場合、もしくは弊社がこれらを遅延する場合があったとしても、弊社はお客様に対する権利を放棄するものではなく、また、お客様がそれらの義務を遵守する必要がないということを意味するものではありません。弊社がお客様の不履行に関する請求権を放棄する場合、弊社は書面でのみこれを行うものとし、また、これはお客様によるその後の不履行を自動的に放棄することを意味するものではありません。
- 10.7 本規約は日本国の法律に準拠し、日本国内の裁判所の排他的裁判管轄に属するものとします。
- 10.8 弊社は、以下の各号のいずれかに該当する場合、お客様の事前の同意を得ることなく本規約の内容を変更することができます。但し、当該変更の内容は、原則として弊社ウェブサイトへの掲載その他相当な方法により事前に周知されるものとし、周知の際に別途定める適用開始日から適用されます。
- (ア) 変更内容が、お客様の一般の利益に適合するとき
- (イ) 変更内容が相当性・合理性のあるものであり、かつ、契約をした目的に反しないものであるとき

11 第三者のソフトウェア

本ソフトウェアには、第三者のソフトウェアおよびオープンソースソフトウェアのプログラム（以下総称して、「第三者のソフトウェア等」といいます）が含まれている場合がございます。当該第三者のソフトウェア等については、別途規定する適用ライセンス条件をご参照ください。

利用規約（模様編）

マシンに内蔵されている、デザインまたは刺しゅうデータを含む全ての刺しゅう模様（以下「刺しゅう模様」といいます）の著作権およびその他の知的財産権（以下まとめて「知的財産権」といいます）は、弊社または弊社のライセンサーに帰属します。

刺しゅう模様は、各データに付随する条件に従うことを条件に弊社製品を使用する目的のみで、使用し、クラフト作品を創作いただけます。お客様が本使用条件に同意されない場合、弊社は刺しゅう模様をお客様にライセンスすることができず、お客様は刺しゅう模様の使用を許諾されません。

お客様は、以下を行うことはできません。

- 本製品および内蔵刺しゅう模様を、違法、中傷的、猥褻、下品、攻撃的、脅迫的な、又は第三者の知的財産権または第三者の商標を侵害するあるいはその可能性のある使用方法をすること
- 刺しゅう模様を、詐欺的広告とともに使用すること混同を生じさせるために第三者の商品表示または営業表示とともに使用すること、または第三者の模倣商品のために使用すること

各刺しゅう模様には、以下の条件が適用されます。

以下を行うことができます。

- 弊社製品を使用する目的のみで、刺しゅう模様を使用および編集すること
- 刺しゅう模様を使用して手作りクラフト作品を創作し、創作した手作りクラフト作品を営利目的で販売、貸与、配布、又は譲渡すること

以下を行うことはできません。

- 刺しゅう模様における著作権表示を削除すること
- 刺しゅう模様がお客様または正当な著作権者以外の者により作成されたものであると、明示的に又は合理的な黙示の方法により虚偽の表明をして刺しゅう模様を使用すること
- 刺しゅう模様を、第三者に提供、頒布、公衆送信すること
- 刺しゅう模様を、自らもしくは第三者の商標、サービスマーク、ロゴまたはその他商品性のある図形として、またはそれらと組み合わせて使用すること
- 刺しゅう模様を、混同を生じさせるために、お客様の著作権表示と、または第三者の著作権表示と同一または類似するものに関連して使用すること

レーザー機器について

IEC 60825-1 基準

このマシンは、IEC 60825-1:2007、IEC 60825-1:2014 基準で定められたクラス1 レーザ製品です。



マシン内部のレーザーユニットはマシンカバーで覆われており、レーザーユニットの保護筐体により安全なレベルの出力に低減されています。しかし、マシンには6mW、630～640nmの波長、ビーム広がり角（平行）は6～12度、ビーム広がり角（垂直）は28～40度のInGaAlP半導体レーザーを搭載しています。したがって、本機の分解・改造によって目に障がいをもたらす可能性があります。

⚠ 注意

- 本機は、レーザー装置にクラス3B半導体レーザーを使用しています。レーザー装置はいかなる状況でも分解・改造しないでください。
- 取扱説明書に記載している以外の操作や調整を行った場合は、危険な値のレーザー光にさらされるおそれがあります。

ライセンス契約書

重要！：必ずお読みください

本製品に含まれている刺しゅうデータ（以下、「刺しゅうデータ」）に関する著作権は、ブラザー工業株式会社（以下、「ブラザー」）もしくはそのライセンサーが保有しています。ブラザーは、下記契約条件に従い、お客様に刺しゅうデータの使用を許諾致します。

なお、お客様は、刺しゅうデータを使用することにより、下記契約条件に同意されたものとみなされます。

1. ブラザーはお客様に対し、お客様が保有する一台の刺しゅうマシン上で、刺しゅうデータを使用して刺しゅうを縫製する権利を許諾致します。なお、お客様は、一度に複数台の刺しゅうマシン上で刺しゅうデータを使用することはできません。
2. お客様は、別途ブラザーから許諾を受けない限り、刺しゅうデータについて以下を行うことはできません。
 - ・ バックアップ目的以外の目的のために複製すること。
 - ・ ネットワークサーバーにアップロードすること。その他第三者に提供、貸与等すること。
 - ・ 逆コンパイル、逆アセンブルその他リバースエンジニアリングすること。
 - ・ 営利目的で改変すること。
 - ・ ブラザー以外の者が著作権者として表示されている刺しゅうデータ（例：©Disney）を使用して創作された刺しゅう製品を販売等すること。

お客様は、本契約に基づき刺しゅうデータを使用する権利を取得しますが、刺しゅうデータに関する著作権そのものを取得するものではありません。

本契約は日本国法を準拠法とします。

本契約に関する問い合わせは郵便にて直接お送り願います。

〒467-8562 名古屋市瑞穂区河岸1丁目1-1
ブラザー工業株式会社
パーソナル・アンド・ホーム事業 営業企画部

取り扱い上の注意

著作権について

マシンに内蔵されている刺しゅうデータのうち、当社が著作権を有するものについては、これらのデータを用いて縫製された刺しゅう模様を一般家庭用としてのみならず、営利用または業務用としても、自由にご利用（販売・譲渡等を含みます）いただけます。

ただし、これら刺しゅうデータ自体に関する著作権は弊社が留保し、（縫製された刺しゅうではなく）このデータ自体を、複製・改変・譲渡・公衆送信・送信可能化することは許諾致しません。

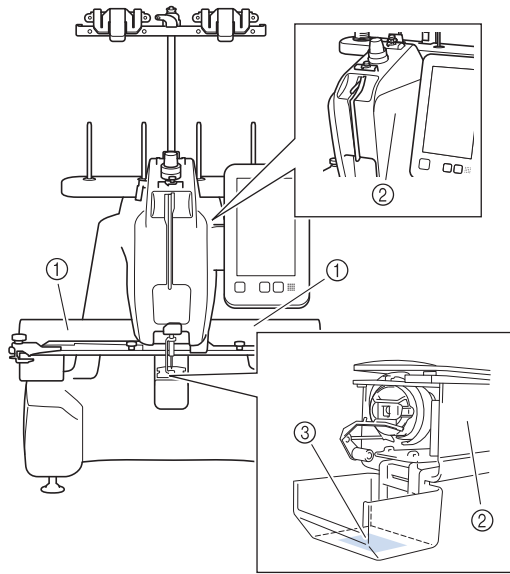
また、当社以外の第三者の著作権表示（©など）が付されたもの（特に人気キャラクター）については、営利用または業務用としてご利用いただくことはできません。ご注意ください。

さらに、有名ブランド品の図案、ロゴ、名称、マーク等については、無許諾での複製は法律上罰せられます。これらについては、勝手に複製、縫製しないようご注意ください。

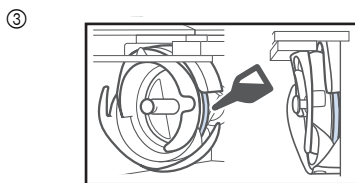
警告表示について

ミシンには下記の警告が表示されています。
各警告表示の内容を十分理解し、記載事項を守って作業を行ってください。

また、警告表示は、はがれたり、傷ついたりしないよう十分注意してください。



①	⚠️ VOORZICHTIG	⚠️ ATTENZIONE	⚠️ ОСТОРОЖНО!	⚠️ 注意	⚠️ 注意
	De borduurarm kan verwondingen veroorzaken. Houdt uw handen buiten bereik van de borduurarm.	Il carrello potrebbe ferirvi. Non appoggiate la mano nel percorso del carrello.	Движущаяся каретка может быть причиной травмы. Не кладите руки на пути движения каретки.	刺しゅう機のキャリッジや刺しゅう針が動いているときに、手や物を近づけないでください。 ケガの原因になります。	在绣花机的车轴或绣花机移动时，为避免造成伤害，请不要将手或物品靠近。



使用前に、釜のレース面に注油をしてからお使いください。

商標について

ブラザー製品および関連資料等に記載されている社名および商品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

オープンソースライセンス公開

オープンソースライセンスに関する記述は、ブラザーのサポートサイト (<https://s.brother/cpac/>) の製品マニュアルをご覧ください。

目次

第1章 ミシンの準備	11
各部の名称	11
付属品	13
ミシンの設置のしかた	13
設置・移動に関する注意	13
設置に適した場所	13
ミシンを据え付ける	13
糸案内を準備する	14
台枠をセットする	14
電源の入れ方	15
液晶画面	17
設定キーを使う	17
ミシンヘルプキーを使う	19
第2章 使ってみましょう	21
基本手順	21
下糸をセットする	21
ポビンケースを取り出す	21
下糸を巻く	22
ポビンをセットする	25
ポビンケースをセットする	25
模様を選ぶ	26
基本的な模様の選び方	26
刺しゅう模様を選ぶ	26
枠模様を選ぶ	27
モノグラムと枠デザインを選ぶ	28
文字模様を選ぶ	29
装飾アルファベットを選ぶ	31
模様を組み合わせる	32
模様の編集	33
編集画面の見方	33
糸密度を変える (文字・枠模様の一部のみ)	34
繰り返し模様 (ボーダー模様) を作る	35
色を編集する	38
一文字ずつ色を変える	38
模様の色を変える	38
ユーザーパレットを作る	40
ユーザーパレットから色を選ぶ	41
ユーザーパレットを保存する／呼び出す	42
仕上がりイメージを確認する	43
仕上がりイメージの見方	43
布地を準備する	43
布地に接着芯を貼る	43
布／接着芯の適合表	44
布地の張り方	45
ネーム枠の布地の張り方と取り付け方	46
刺しゅう枠をミシンにセットする	49
刺しゅう枠のセットのしかた	49
刺しゅう枠を正しく使うには	51
縫製設定	54
縫製画面の見方	54
自動糸切り機能	55
渡り糸切り機能	56
糸色並べ替え	57
模様の位置を確認する	57
十字レーザーで針落ち位置を確認する	57
刺しゅう模様の確認	58

上糸をセットする	58
上糸をかける	59
糸を針穴に通す	62
簡単な糸こま交換のしかた	63
刺しゅうをぬう	64
ミシンをスタートする	64
途中でミシンをストップするには	65
刺しゅう枠を外す	65
刺しゅう時の調整	66
途中で糸が切れた／下糸がなくなったときは	66
始めまたは途中からぬいたいときは	67
停止後、途中からぬうときは	67

第3章 いろいろな機能	69
さまざまな刺しゅうの機能	69
刺しゅうのしつけぬい	69
アップリケ模様のぬい方	70
枠模様を使ってアップリケをするには	71
刺しゅう用ウレタンフォームを使って、3D フォントを刺しゅうする	72
十字レーザー機能を使って縫製位置を合わせる	73
刺しゅうに関する設定の調整	77
下糸の調子を調整する	77
上糸の調子を調整する	78
連続した刺しゅう (1色の場合)	79
ガイド表示を切り替える	79
糸色表示を切り替える	80
ぬい始め位置設定	81
刺しゅう模様の記憶	83
模様を記憶させる	83
模様を呼び出す	83
ネーム刺しゅうをする (ネームモード)	84
ネーム刺しゅうする	84
ネームモードを解除する	86
刺しゅうの応用	86
分割模様をぬう	86

第4章 付録	89
お手入れのしかた	89
画面の汚れの掃除	89
本体表面の掃除	89
釜の掃除	89
針板まわりの掃除	90
ポビンケースの掃除	91
上糸の糸道の掃除	91
針を交換する	92
ミシンに注油する	94
メンテナンスメッセージについて	95
自動針穴糸通し装置のフックを交換する	96
ミシンを貸与や廃却する前に	96
困ったとき	97
こんなときは	97
エラーメッセージ	101
キーを押しても反応しないときは	103

仕様	104
本体仕様.....	104
ミシンのソフトウェアをアップデート	
する	106
USB メディアを使用してアップデート	
する	106
パソコンを使用してアップデートする	107
索引	108

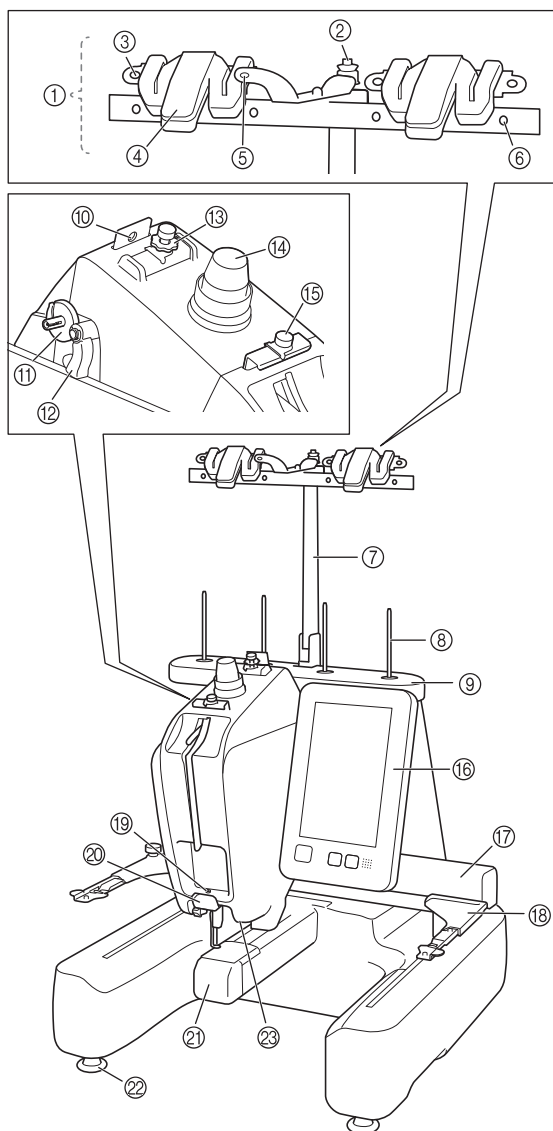
第1章 ミシンの準備

🔍 お願い

- 必ず最新のソフトウェアをインストールしてください。
詳細はP.106「ミシンのソフトウェアをアップデートする」を参照してください。

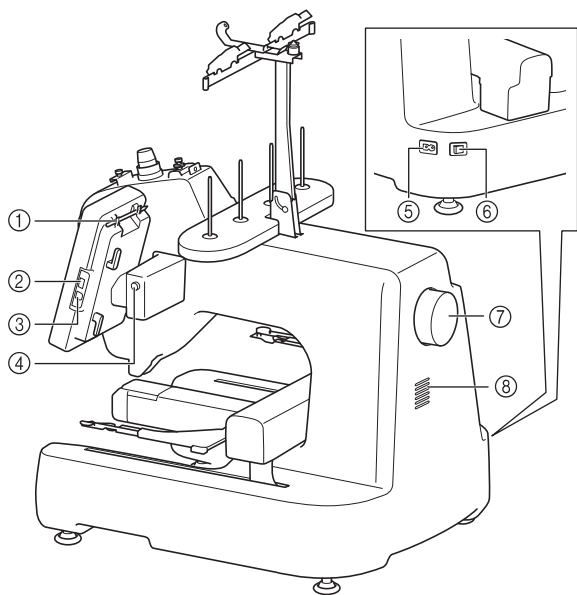
各部の名称

■ 前面



- ① 糸案内 (P. 14)
- ② 調子皿 (P. 23)
- ③ 糸案内の穴 (P. 23)
- ④ 糸切り糸かけ (P. 61、P. 63)
- ⑤ 糸案内の穴 (前面) (P. 23)
- ⑥ 糸案内の穴 (P. 23、P. 60)
- ⑦ 糸案内支持棒 (P. 14)
- ⑧ 糸立棒
- ⑨ 糸立台
- ⑩ 糸案内 (P. 60)
- ⑪ 下糸巻き台 (P. 22)
- ⑫ 下糸巻きスイッチ (P. 24)
- ⑬ 糸道上糸調子つまみ (P. 78)
- ⑭ 糸調子つまみ (P. 78)
- ⑮ 糸道中 (P. 60)
- ⑯ 操作パネル (P. 12)
- ⑰ キャリッジ
ここに台枠をセットします。電源を入れたときや縫製中には左右前後に動きます。
- ⑱ 台枠 (P. 14)
- ⑲ 糸道下 (P. 61)
- ⑳ 糸切り (P. 62)
- ㉑ 釜カバー／釜 (P. 21)
- ㉒ レベル座 (P. 13)
- ㉓ 針もととライト (P. 18)

■ 右側面・背面



① タッチペンホルダー

タッチペンを使用していないときは、タッチペンホルダーに収納してください。

② USB ポート (USB 2.0) (P. 83、P. 106)

USB メディアを USB ポートに差し込んで、刺しゅう模様データをやりとりできます。

③ パソコン接続用 USB ポート (P. 83、P. 84)

USB ケーブルを USB ポートに差し込み、ミシンとパソコン間での刺しゅう模様データをやりとりできます。

重要

- USB ポートには、USB メディア以外のものを挿入しないでください。ミシンが故障する原因となります。

④ 操作パネル角度調整ボタン

操作パネルの角度を変えるときに押します。角度を変えるときは必ずこのボタンを押してください。

⑤ 電源コードジャック (P. 15)

⑥ 電源スイッチ (P. 15)

電源を入れたり (I 側) 切ったり (O 側) するスイッチです。電源を切った後はすぐに電源を入れしないでください。5 秒待ってから電源を入れてください。

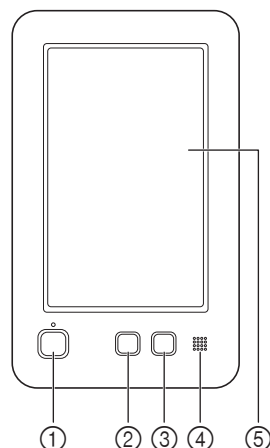
⑦ プーリー

回すと針が上下に動きます。プーリーは操作パネルの方向に回してください。

⑧ 換気口

モーターの周囲の空気を循環させます。ミシンを使用している間は換気口をふさがないでください。

■ 操作パネル



① スタート/ストップスイッチ

ミシンをスタートまたは停止します。ミシンの状態によって、スイッチの状態・色が変わります。

- 赤色の点灯 : スタート不可能な状態のとき
- 緑色の点滅 : スタート可能な状態のとき
- 緑色の点灯 : 縫製中
- 消灯 : 電源が入っていないとき

② 糸切りスイッチ

上糸と下糸を切るときに押します。

③ 自動針穴糸通しスイッチ

針に糸を通すときに押します。

④ スピーカー

⑤ 液晶画面 (タッチパネル)

ここに表示されるキーを押して、模様を選択や編集、情報の確認をします。

付属品

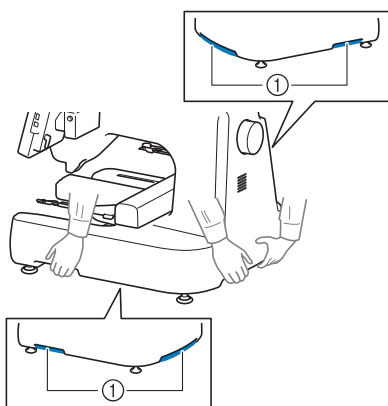
付属品については、別紙「付属品」を参照してください。

ミシンの設置のしかた

設置・移動に関する注意

⚠ 注意

- 運搬や設置は、必ず2人以上で行ってください。ミシンを持ち運ぶ際は、必ず底部の指定箇所①を持ってください。他の部分を持つとこわれたり、手がすべって落としたりして、けがの原因となります。



- 設置が完了するまで、電源プラグを接続しないでください。誤ってスタート/ストップスイッチを押すと、ミシンが作動してけがの原因となります。
- 潤滑油やグリスを扱うときは、保護眼鏡や保護手袋などを使用し、目や皮膚に付かないようにしてください。炎症を起こす原因となります。また潤滑油やグリスを飲んだり食べたりしないでください。下痢・おう吐することがあります。お子様の手の届かないところに置いてください。
- 誤動作や故障、けがの原因となるため、次のような場所には設置しないでください。
 - 水などの液体のかかる場所
 - ほこりの多い場所
 - 直射日光の当たる場所
 - 極端に高温または低温になる場所（使用環境は5℃から40℃の間に限られます）
 - 十分なスペースがない場所（P. 13、104）
 - 刺しゅう枠の可動範囲にもものが置いてある
 - 底面後方および背面の換気口をふさいでいる
 - ぐらついた台

設置に適した場所

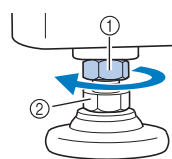
ミシンは、次のような場所に設置してください。（ミシンの重量、寸法、設置に必要なスペースについては、P.104「仕様」を参照してください。）

- ミシン本体が十分置けるスペースのある場所
- 刺しゅう枠の可動範囲にはものを置かない
- コンセントから直接電源をとれる場所
- 机や台の上など、水平で安定した場所
- ミシン本体の重さに耐えられる場所
- 底面後方および背面の換気口をふさがらない

ミシンを据え付ける

脚を調節し、ガタつかないようにミシン本体を据え付けます。

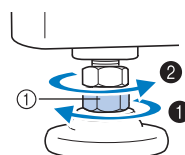
- 1 ミシンに取り付けられている保護テープや保護材が、すべて取り外されていることを確認します。
- 2 設置スペースを確保して、ミシンを設置します。設置スペースについて詳しくは、P.13「設置に適した場所」およびP.104「仕様」を参照してください。
- 3 ガタつかないように脚を調節します。調整したい脚のナットを、付属のスパナでゆるめます。



- ① ナット
- ② レベル座のナット

→ レベル座が回るようになります。

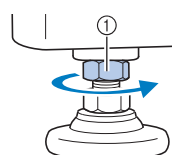
- 4 レベル座のナットを、付属のスパナで回します。脚は、①の方向に回すと伸び、②の方向に回すと縮みます。



- ① レベル座のナット

- 4本の脚のレベル座がしっかりと接地し、ミシンが水平になるように調節します。

- 5 脚の長さが調節できたら、ナットを付属のスパナでしめます。



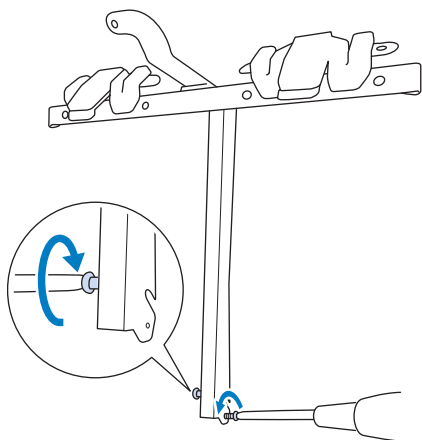
- ① ナット

- 6 角を押してみて、ガタつきがないか確認します。ガタつくときは、再度手順③から⑤を行い、脚を調整します。

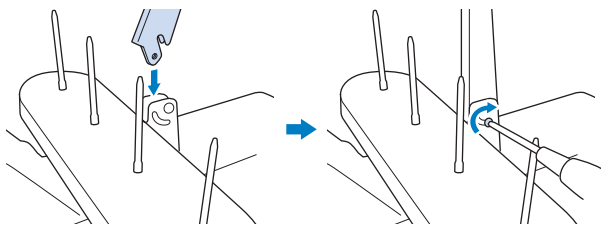
糸案内を準備する

糸案内内部を準備します。付属のプラスドライバーを用意します。

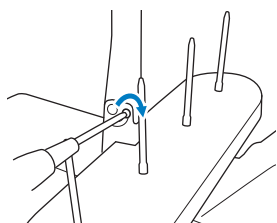
- 1 糸案内支持棒から2本のネジを外します。



- 2 糸案内支持棒をマシンに差し込み、糸案内支持棒が安定するまでネジをしめます。



- 3 同様に糸案内支持棒の反対側のネジをしめます。

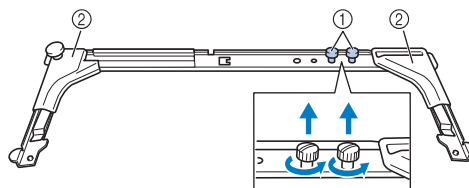


お願い

- 糸案内支持棒と糸案内内部を動かすときは無理に動かさないでください。
- 各ネジをしめるときは、糸案内内部が固定されるよう、確実にしめてください。

台枠をセットする

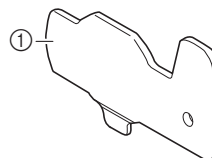
- 1 使用する刺しゅう枠用の台枠を用意します。(P. 51 ~ P. 53)
- 2 台枠の2本つまみボルトを外します。



- ① つまみボルト
- ② カバー

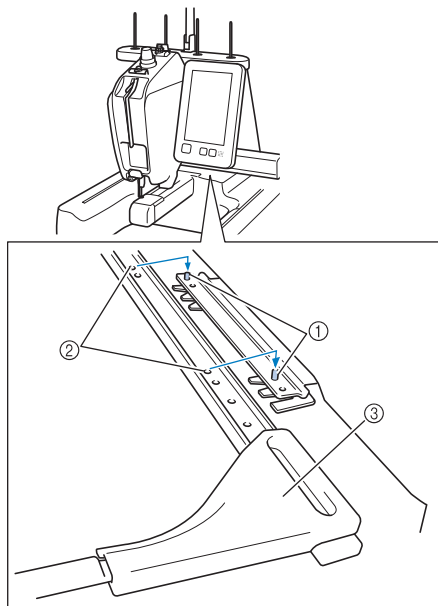
お願い

- つまみボルトをゆるめたり、しっかりしめたりするときは、付属の3ウェイドライバーを使用してください。



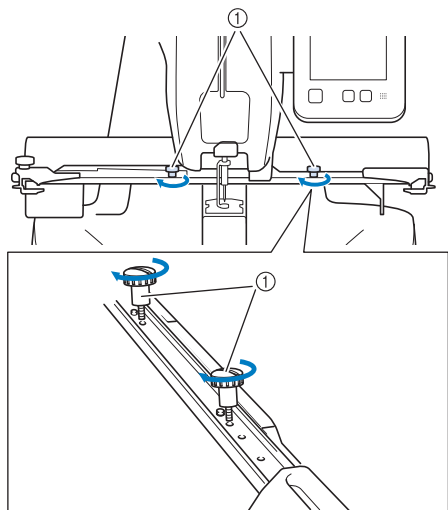
- ① 台枠のつまみボルトにはこの部分を使用します。

- 3 台枠の穴をキャリッジのピンに差し込みます。



- ① キャリッジのピン
- ② 台枠の穴
- ③ カバー

- 4 手順 2 で外したつまみボルトを使用し、台枠を固定します。



① つまみボルト

これで、ミシンの準備は完了しました。

電源の入れ方

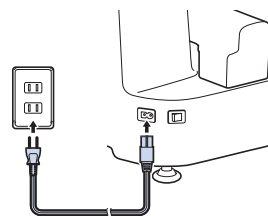
⚠ 警告

- 一般家庭用 AC100V の電源以外では、使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 以下のようなときは電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。火災・感電・故障の原因となります。
 - ミシンのそばを離れるとき
 - ミシンを使用したあと
 - 使用中に停電したとき
 - 接触不良、断線などで正常に動作しないとき
 - 雷が鳴りはじめたとき

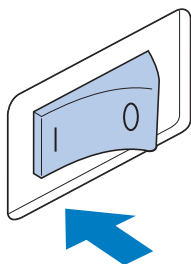
⚠ 注意

- 延長コードや分岐コンセントを使用した、たこ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。
- 電源プラグを抜くときはまず電源スイッチを切り、必ずプラグの部分を持って抜いてください。電源コードを引っ張って抜くとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものを載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードまたは電源プラグが破損したときはミシンの使用をやめて、お買い上げの販売店、または「PR/VR 専用ダイヤル」にご連絡ください。

- 1 電源コードを電源コードジャックに差し込み、電源プラグを家庭用電源コンセント（AC100V）に差し込みます。



- 2 本体背面の電源スイッチの左側（I側）を押します。



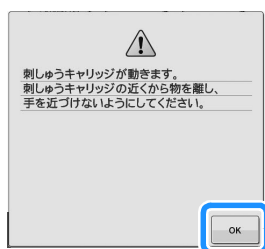
→ 液晶画面が点灯し、オープニング画面が表示されます。また、スタート/ストップスイッチが点灯します。

- 3 液晶画面をタッチします。
→ キャリッジが動くメッセージが表示されます。

重要

- 故障や破損をさけるため、キャリッジが動く範囲に、ものを置かないでください。

- 4 キャリッジに手やものを近づけないようにして、OKを押します。



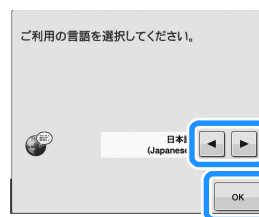
→ キャリッジが初期設定の位置に移動し、模様選択画面が表示されます。

- 5 ミシンの電源を切るには、電源スイッチの右側（O側）を押します。

■ ミシンを初めて使うとき

初めて本機の電源を入れたときは、言語と日時を設定してください。

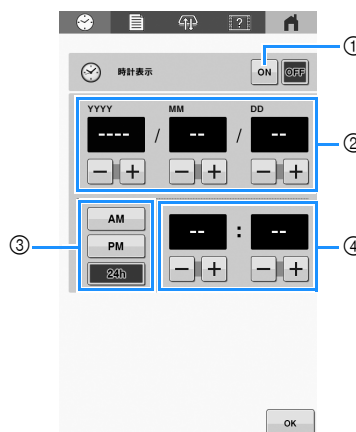
- 1 ◀と▶を押して、言語を設定し、OKを押します。



→ 日時設定を行うかどうかを確認するメッセージが表示されます。

- 2 日時設定を行うときは、OKを押します。

- 3 +と-を押して、日時を設定します。



- ① [ON] にすると、日時が画面に表示されます。
- ② 年 (YYYY)、月 (MM)、日 (DD) を設定します。
- ③ 24 時間表示 / 12 時間表示を選択します。
- ④ 現在の時刻を設定します。

- 4 OKを押してミシンをスタートします。

→ 時計は設定した時計の0秒から始まります。

お知らせ

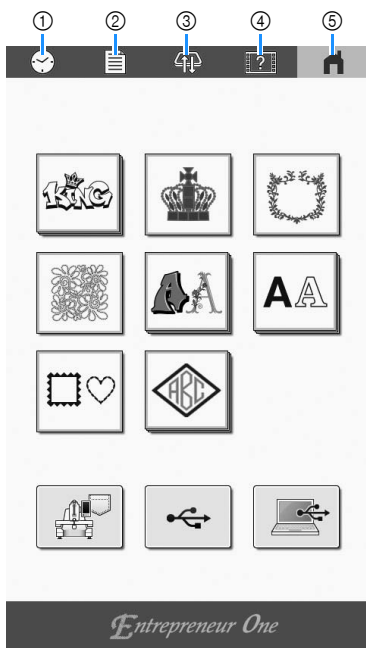
- 長期間ミシンを使用しなかった場合は、設定した日時がクリアされます。
- 時刻設定は、液晶画面の [時計] を押してもできません。

液晶画面

重要

- 画面は指または付属のタッチペンで押してください。シャープペンシル、ドライバーなど先のとがったものや硬いもので押さないでください。また、画面に無理な力をかけないでください。故障の原因となります。

■ 模様選択画面



番号	画面表示	説明	参照ページ
	名称		
①		時刻を設定するときに押します。	P. 16
	時計キー		
②		ミシンの設定を変更するときに押します。	P. 17
	設定キー		
③		刺しゅう枠の取り付け、取り外しがしやすくなるよう、キャリッジを移動するときに押します。	P. 51
	枠移動キー		
④		使い方を確認するときに押します。	P. 19
	ミシンの使い方キー		
⑤		今までの作業を取り消し、最初の模様選択画面に戻るときに押します。	—
	ホームキー		

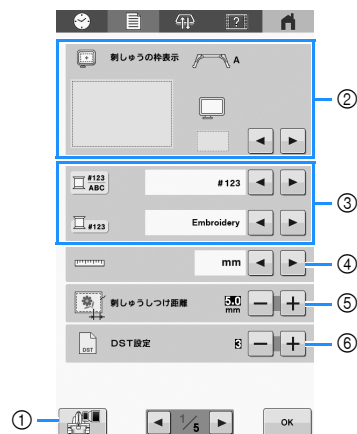
設定キーを使う

を押すと、ミシンのさまざまな設定を変更することができます。設定を変更した後は を押します。

お知らせ

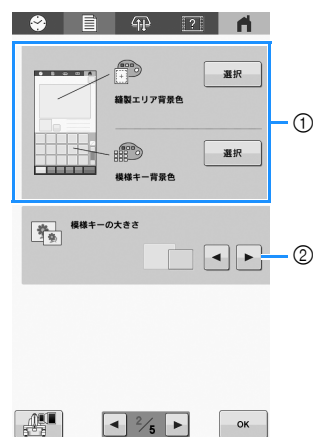
- または を押すと、前ページまたは次ページが表示されます。

■ 1 ページ



- ① USB メディアに現在の設定画面を画像として保存できます。
- ② 模様表示エリアのガイド（中心表示（針位置）、グリッド）表示を設定できます。（P. 79）
- ③ 糸色情報を、糸名、糸ブランドおよび糸番号に切り替えることができます。（P. 80）
- ④ 刺しゅうの表示単位を設定できます（mm / inch）。
- ⑤ 模様としつけぬいの距離を指定できます。（P. 69）
- ⑥ タジマフォーマット（.dst）の刺しゅうデータを使う場合に、ジャンプコードの指定により糸切りする／しないを設定できます。（P. 56）

■ 2 ページ



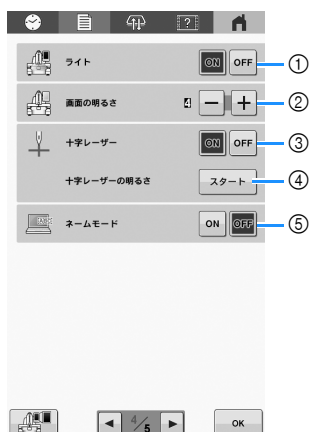
- ① 刺しゅうの色に応じて、縫製エリアおよび模様キーの表示色を変更すると、より見やすく、選びやすくなる場合があります。
- ② 模様一覧画面から模様を選ぶ時に表示されるイメージキーの大きさを「小さく」表示するか「大きく」表示するかを指定できます。

■ 3 ページ



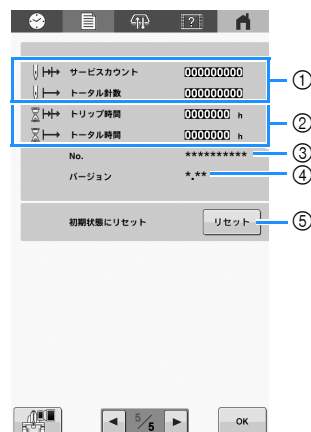
- ① 上糸・下糸センサーの [ON] / [OFF] を設定できます。[OFF] にすると、上糸を通さないでミシンを動かすことができます。
- ② 操作音および警告音の音量を調節できます。
- ③ エコモードまたは電源オフサポートモードを設定できます。(P. 19)
- ④ ミシンの電源を入れたときにオープニング画面を表示するかしないか ([ON] / [OFF]) を設定できます。
- ⑤ 表示言語を設定できます。指定した言語でキーやメッセージが表示されます。

■ 4 ページ



- ① 針もとライトの [ON] / [OFF] を設定できます。
- ② 液晶画面の明るさを調整できます。
- ③ 十字レーザーの [ON] / [OFF] を設定できます。
- ④ 十字レーザーの明るさを調整できます。(P. 58)
- ⑤ ネームモードの [ON] / [OFF] を設定できます。(P. 84)


■ 5 ページ



- ① サービスカウンタカウンターは、前回のメンテナンス以降にミシンでぬわれた針数を示し、トータル針数カウンターは、ぬわれた針数の総数を示します。
- ② トータル時間カウンターは、ミシンがこれまでに使用された総時間を示し、トリップ時間カウンターは、前回のメンテナンス以降にミシンが使用された時間を示します。
- * ①、② のカウンター数値は、ミシンの定期メンテナンスを予定される時期の目安としてご利用ください。
- ③ このミシンの番号です。
- ④ このミシンにインストールされているソフトウェアのバージョンを示します。
- ⑤ ミシンに保存したすべてのデータ、各種設定をリセットし、工場出荷状態に戻します。(P. 96)

■ [エコモード] または [電源オフサポートモード] を設定する

[エコモード] または [電源オフサポートモード] を設定すると、ミシンの電力を節約することができます。

 を押して、[エコモード]、[電源オフサポートモード] を表示してください。(P. 18 「3 ページ」参照)

特定の時間、本機を使用しないでいると、次のいずれかのモードに入ります。

[エコモード]：

スリープモードに入ります。刺しゅうを続けるには、画面に触れるか、スタート/ストップスイッチを押します。

[電源オフサポートモード]：

一定期間後に電源が切れます。刺しゅうを再開するには、一度電源を切り、再度電源を入れます。


🔔 お願い

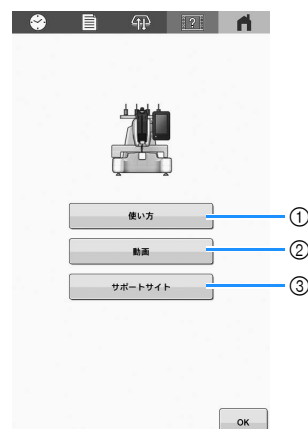
- ミシンが [エコモード] または [電源オフサポートモード] に入っている間に電源を切った場合は、約 5 秒待ってから再度電源を入れてください。

📄 お知らせ

- [エコモード] と [電源オフサポートモード] の設定の詳細は P.104 「仕様」を参照してください。


ミシンヘルプキーを使う

 を押すと、ミシンヘルプキー画面が表示されます。



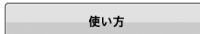
- ① 上糸通し、下糸セット、刺しゅうの準備など、ミシンの使い方についての説明を見るときに押します。詳細は以下の「操作ガイド機能を使う」を参照してください。
- ② 画面に表示される QR コードから、製品の使い方動画サイトにアクセスすることができます。

📄 お知らせ

- 本書で  がある説明は、製品の使い方動画サイトで動画をご利用いただけます。

- ③ 画面に表示される QR コードから、ブラザーのサポートサイトにアクセスすることができます。

■ 操作ガイド機能を使う

 を押すと、次の画面が表示されます。詳しい内容を知りたい項目のキーを押します。



- ① ミシンの重要な部品とそれぞれの働きを図示します。
- ② 基本的な糸かけおよび枠張りの操作方法などを図示します。
- ③ 問題解決のための基本的なガイドです。
- ④ ミシンのメンテナンス方法を図示します。

第2章 使ってみましょう

基本手順

刺しゅうの基本手順は次のとおりです。操作を始める前に、どのような手順を踏んでいくか、全体の流れを確認してください。

手順	操作	参照ページ
1	電源を入れます。	P. 15
2	下糸をセットします。	P. 21
3	刺しゅう模様を選びます。	P. 26
4	刺しゅう模様を編集します。	P. 33
5	仕上がりイメージを確認します。	P. 43
6	布地の準備をします。	P. 45
7	刺しゅう枠をセットします。	P. 49
8	縫製のしかたを設定します。	P. 54
9	模様の位置を確認します。	P. 57
10	上糸をセットします。	P. 58
11	スタート/ストップスイッチを押してぬいます。	P. 64
12	刺しゅう枠を外します。	P. 65
13	電源を切って終了します。	P. 16

下糸をセットする

購入時は、ボビンケースのみが釜にセットされています。刺しゅう用の下糸を巻いたボビンをセットしてください。

重要

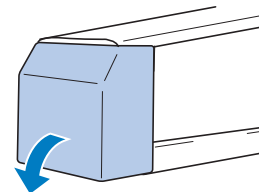
- 付属の金属ボビンは本機純正品です。必ず純正金属ボビン、または使い捨てボビン（推奨：Fil-Tec社製）をご使用ください。金属ボビンの高さは約9mmです。

お願い

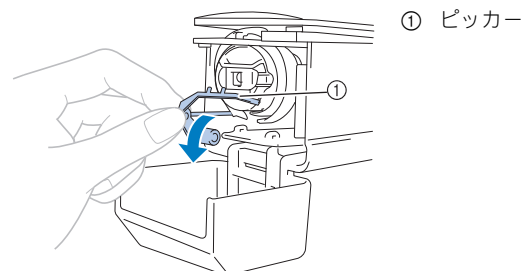
- ぬい始める前に、下糸の量が十分かを確認してください。
- ボビンを交換するたびに、ボビンケースを掃除してください。（P. 91）

ボビンケースを取り出す

- 釜カバーを開けます。
手前に引きます。



- ピッカーが手前に引き出されていない場合は、手前に引きます。



ボビンケースが取り出しやすくなるように、ピッカーを釜から離します。

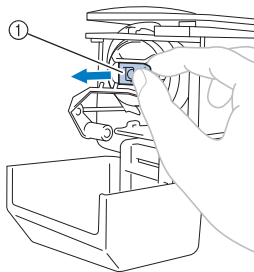
お知らせ

- ピッカーはぬい始めるときや糸を切るときに、糸を固定するための装置です。

重要

- ピッカーが動く範囲は決まっています。無理に動かさないでください。

- ③ ボビンケースのつまみを持って、ボビンケースを取り出します。



① つまみ

■ ミシンに注油する

ボビンケースを取り出したら、ここで注油をしてください。(P. 94)

🔍 お願い

- 毎回ミシンを使い始める前に、必ず注油してから動かしてください。

下糸を巻く



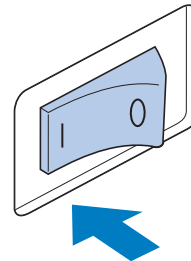
(P. 19) :
動画で使い方をご確認いただけます。

🔍 お願い

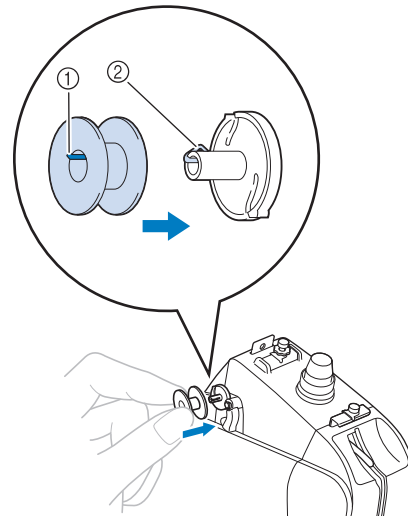
- 下糸は、綿またはポリエステル糸 (#90 ~ 120) を使用してください。
- 糸案内内部の丸数字は、ボビンに糸を巻くときの糸道を示しています。そちらも併せて見ながら糸を通してください。

下糸用の糸こまと金属ボビンを用意します。

- ① 電源を入れます。

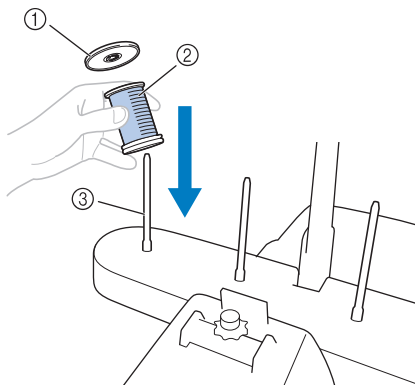


- ② ボビンのミゾを下糸巻き台のパネに合わせ、ボビンを取り付けます。



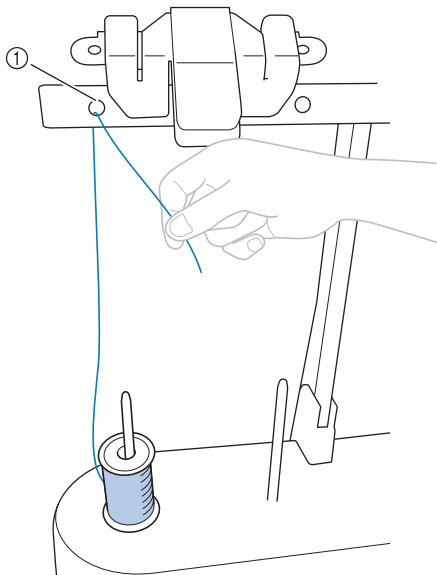
- ① ボビンのミゾ
② 下糸巻き台のパネ

- 3** 糸こまを左から 1 番目または 2 番目の糸立棒に立てます。糸こまを安定させるため、糸こまの上に糸こま押えを取り付けます。



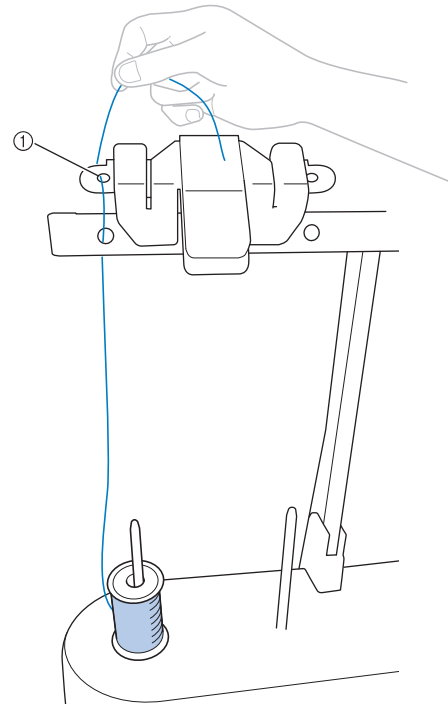
- ① 糸こま押え
- ② 糸こま
- ③ 糸立棒

- 4** 糸こまの上にある糸案内の穴に、後方から手前に向かって糸を通します。



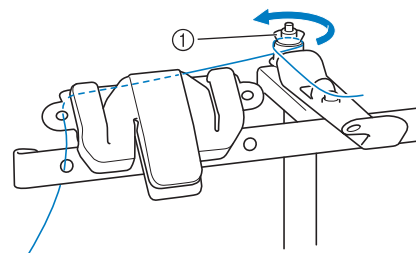
- ① 糸こまの上にある、糸案内の穴

- 5** 糸案内の穴に、手前から後方に向かって糸を通します。



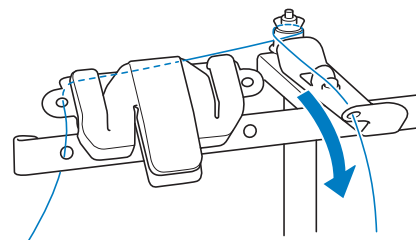
- ① 糸案内の穴

- 6** 図のように、糸を調子皿に巻きつけます。糸が調子皿にきちんとかかっていることを確認します。

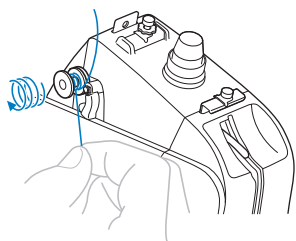


- ① 調子皿

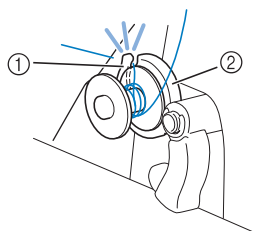
- 7** 図のように、糸案内の穴（前面）に手前に向かって糸を通します。



- 8 図のように、ポビンに時計回りに4～5回、糸を巻きつけます。



- 9 下糸巻き台の案内ミゾに糸の端を通して渡し、糸を引きます。カッターが糸を切ります。



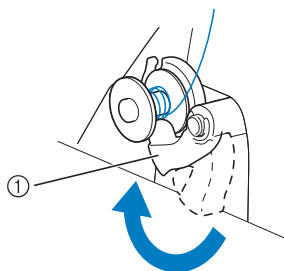
- ① 案内ミゾ (カッター付)
② 下糸巻き台

⚠ 注意

- 必ず手順に従ってください。糸がカッターで切られずにポビンが巻かれると、縫製時にポビンがゆっくりと動いているとき、下糸がポビンのまわりでもつれ、針が折れてけがをするおそれがあります。

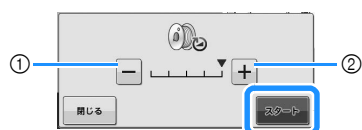
- 10 下糸巻きスイッチをカチッと音がするまで左に押し下す。

→ 液晶画面に下糸巻き画面が表示されます。



- ① 下糸巻きスイッチ

- 11 **スタート** を押し下す。



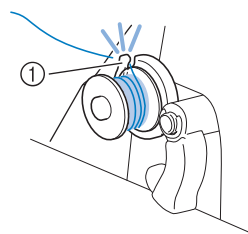
- ① 下糸巻きの速度がゆっくりになります。
② 下糸巻きの速度がはやくなります。
→ 下糸巻きが始まります。巻き終わると自動的に停止し、下糸巻きスイッチが元の位置に戻ります。

📄 お知らせ

- 下糸巻きの動作中は、**スタート** が **ストップ** に変わります。下糸巻きを途中で止めたいときは、**ストップ** を押します。
- 下糸巻きの動作中は、ミシンから離れず、正しく動作していることを確認してください。下糸がからまるなど、正しく巻かれていない場合は、ただちに **ストップ** を押して下糸巻きを中止してください。
- **閉じる** を押して、下糸巻き画面を最小化できます。下糸を巻いている間、模様を選んだり、糸調子を調整したり、他の操作をすることができます。
- 画面の右上に表示されている **閉じる** を押すと、最小化された下糸巻き画面がもう一度表示されます。



- 12 カッターで糸を切り、ポビンを外します。



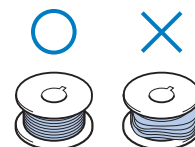
- ① カッター

重要

- ポビンを外すときは、下糸巻き台を引っ張らないようにしてください。下糸巻き台がゆるんだり外れたりして、ミシンが破損するおそれがあります。

⚠ 注意

- 必ず正しく巻かれた下糸を使用してください。巻き方が悪い下糸を使用すると、糸調子不良や、針折れが原因でけがをするおそれがあります。

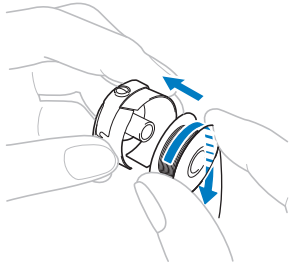


💡 お願い

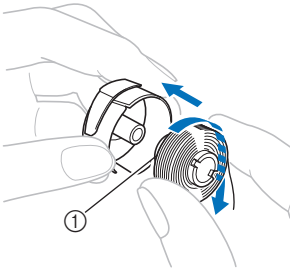
- ポビンを交換するときは、毎回必ずポビンケースを掃除してください。掃除のしかたは、P.91「ポビンケースの掃除」を参照してください。
- ポビンを交換したときは、毎回必ず糸調子を確認してください。下糸の調整のしかたは、P.77を参照してください。

ポビンをセットする

- 1 ポビンをポビンケースに入れます。
● 金属ポビン (P. 22)



- 使い捨てポビン

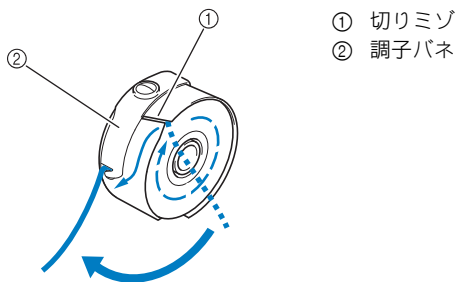


- ① マグネット

🔔 お願い

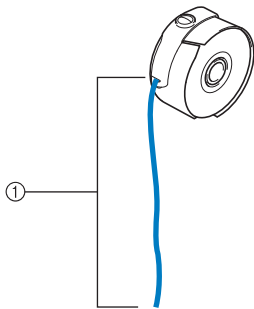
- 巻き方向が図のようになっていることを確認してください。逆向きにポビンを入れると、下糸の空転が増え、縫製に不具合が生じることがあります。

- 2 糸を切りミゾから調子バネの下へ、すべり込ませます。



- ① 切りミゾ
② 調子バネ

- 3 糸を調子バネの糸穴から引き出します。

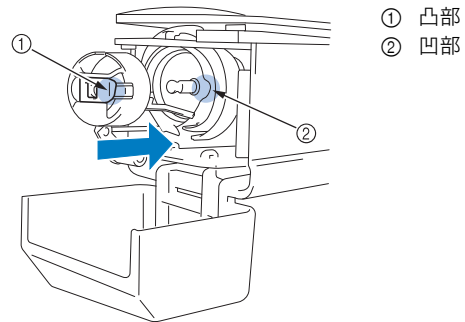


- ① 糸端を 5cm ほど引き出します。

- 下糸調子の調整のしかたは、P.77 「下糸の調子を調整する」を参照してください。

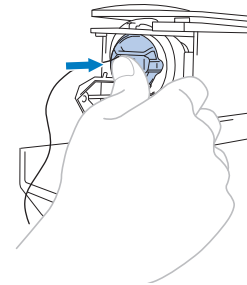
ポビンケースをセットする

- 1 ポビンケースを釜に取り付けます。
図のように、釜の凹部とポビンケースの凸部を合わせて、押し込みます。

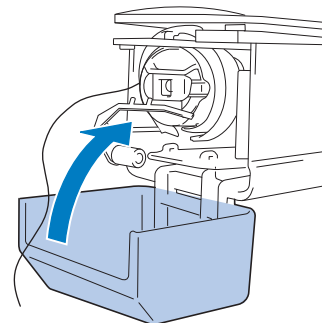


- ① 凸部
② 凹部

- カチッと音がするまで、奥まで押し込んでください。



- 2 釜カバーを閉めます。



模様を選ぶ

基本的な模様の選び方

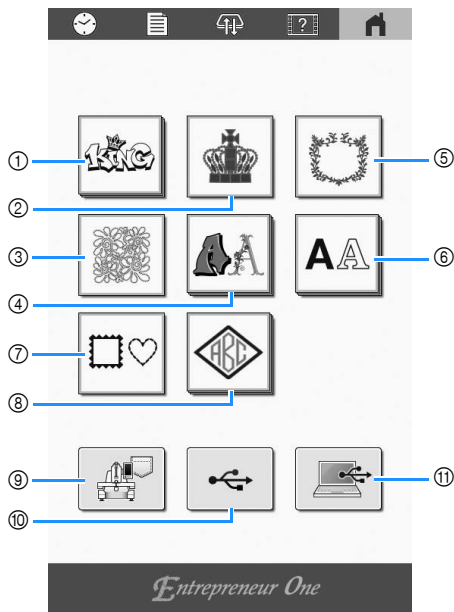


(P. 19) :
動画で使い方をご確認いただけます。

模様の種類によって多少違いがありますが、基本的には次の手順で選びます。

1 模様選択画面で希望するカテゴリキーを押します。

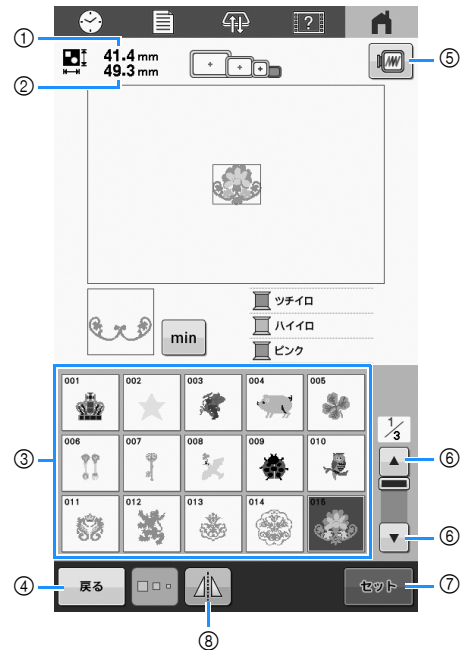
■ 模様選択画面



- ① 注目のデザイン
- ② ワンポイント (P. 26)
- ③ キルト模様
- ④ 装飾アルファベット (P. 31)
- ⑤ 枠飾り模様
- ⑥ 文字模様 (P. 29)
- ⑦ 枠模様 (P. 27)
- ⑧ モノグラムと枠デザイン (P. 28)
- ⑨ ミシンに記憶した刺しゅう模様 (P. 83)
- ⑩ USB メディアに記憶した刺しゅう模様 (P. 83)
- ⑪ パソコン (USB) に記憶した刺しゅう模様 (P. 83)

2 カテゴリ選択後に表示される画面から、希望の模様キーを押します。

■ 模様一覧画面



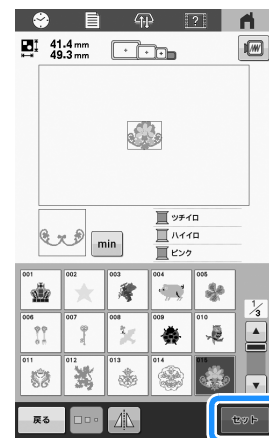
- ① 模様の縦の長さを示します。
- ② 模様の横の長さを示します。
- ③ 模様キーを押すと、その模様の情報が表示されます。
- ④ 模様選択画面に戻ります。
- ⑤ 刺しゅう後のイメージを確認することができます。
- ⑥ 複数のページがあるとき、押して目的のページを表示します。
- ⑦ 押すと、選択が確定され、編集画面に進みます。
- ⑧ 模様を反転することができます。

刺しゅう模様を選ぶ

1 を押します。

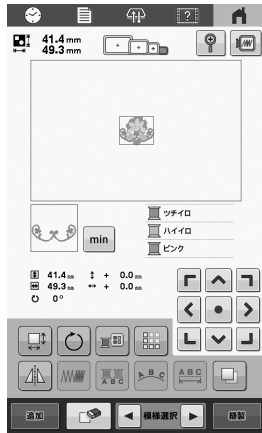
2 模様を選びます。
→ 模様表示エリアに模様が表示されます。

3 を押します。



→ 編集画面が表示されます。

4 選択した模様を編集します。(P. 33)



5 刺しゅう枠に接着芯と布地を張ります。(P. 45)

6 刺しゅう枠をミシンにセットします。(P. 49)

7 **縫製** を押します。 → 縫製画面が表示されます。

8 模様の新製設定を確認します。(P. 54)



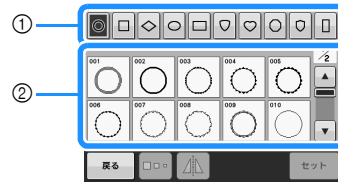
9 縫製画面を確認して、上糸をかけます。(P. 58)

10 刺しゅうを開始します。(P. 64)

枠模様を選ぶ

1 **□**を押します。

2 上段で選びたい枠の形のキーを押します。 → 下段に枠の模様が表示されます。



- ① 枠の形
- ② 枠模様


3 選びたい枠模様キーを押します。 → 模様表示エリアに模様が表示されます。

4 **セット** を押します。 → 編集画面が表示されます。

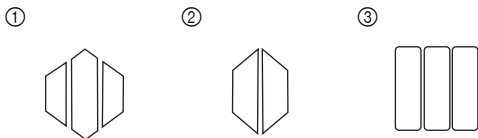
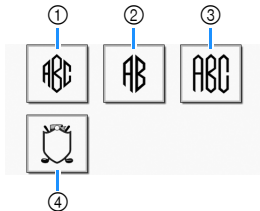
5 P.26「刺しゅう模様を選ぶ」の手順 4 から 10 に従って操作します。

モノグラムと枠デザインを選ぶ

2つまたは3つの文字、または枠模様を組み合わせてモノグラムを作ることができます。

1  を押します。

2 お好みの文字スタイルのボタンを押します。

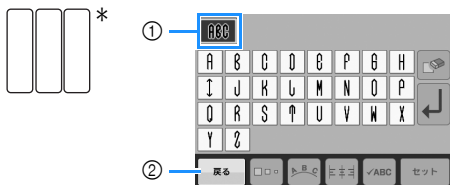
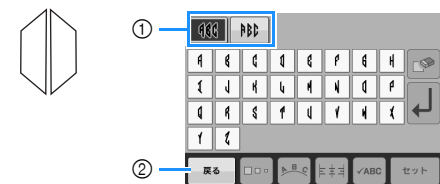
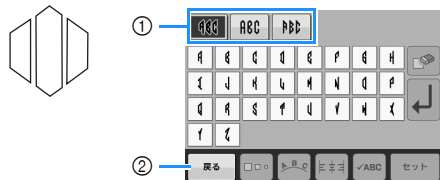


→ テキスト入力画面が表示されます。


- ④を選んだ場合は、枠模様一覧が表示されます。枠内で文字を組み合わせて模様を作る場合は、文字が枠か、どちらを先に選んでも構いません。モノグラムのパーツを選んだ順が、ぬい順となります。この例では、まず文字を選んでいきます。

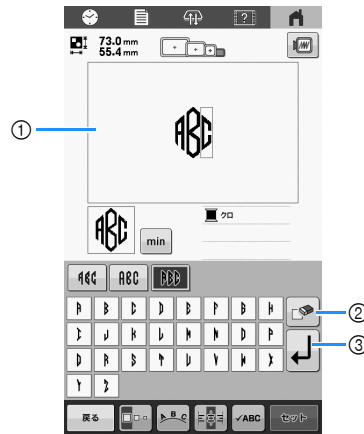
3 文字を選びます。

1つの文字に対し、まず対応する字形タブを押した上で、文字を入力します。配置したい文字数分、字形タブ選択、文字入力を繰り返します。




* 文字の形がすべて同じであるため、字形タブを都度選ぶ必要（選択肢）はありません。

- ① 字形タブ
 - ② 文字のフォントを変更するには、 を押してデザイン選択画面に戻ってください。
- 選んだ文字が、模様表示エリアに表示されます。

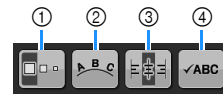


- ① 模様表示エリア
- ② 文字を削除します。
- ③ 改行キー

お知らせ

- モノグラムの文字スタイルによっては、文字数があらかじめ設定されていますが、2つまたは3つの文字数を超えても文字を入力することができます。選んだ文字が多すぎる場合は、 を押して文字を削除します。
- モノグラムを作成せず、他の文字模様と同じように使用することができます。

4 必要に応じて、文字の編集をします。(P. 30)



- ① 文字の大きさを変更します。
- ② 文字の配列を調整します。
- ③ 文字揃えを変更します。
- ④ 文字入力の確認ができます。

5  を押します。

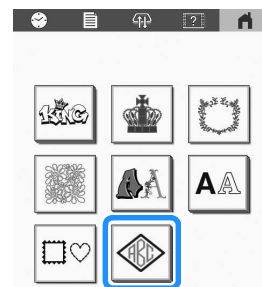
→ 編集画面が表示されます。次に、文字を枠と組み合わせます。

6  を押します。




→ 模様一覧選択画面が表示されます。

7  を押します。



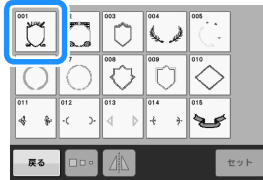
→ デザイン選択画面が表示されます。

8 を押します。



→ 枠模様一覧が表示されます。

9 希望の模様を押します。




→ 選んだ枠模様が模様表示エリアに表示されます。

10 **セット**を押します。


→ 編集画面が表示されます。

お知らせ

- 大きさや形によって、では使用できない枠模様があります。
- この枠模様は、モノグラム以外の文字模様と組み合わせて使うこともできます。

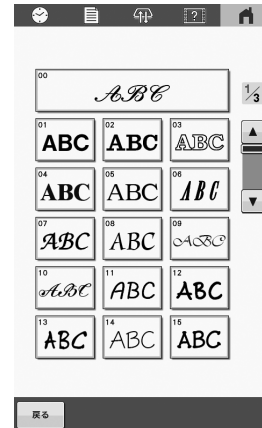
11 P.26「刺しゅう模様を選ぶ」の手順 4 から 10 に従って操作します。



文字模様を選ぶ

 (P. 19) :
動画で使い方をご確認いただけます。

1 **AA**を押します。

2 お好みの書体キーを押します。



- 次ページを見るときは  または  を押します。
- 文字入力画面が表示されます。

3 文字の種類を選び、文字を選びます。

- 詳細は P.30 「文字模様入力キー」を参照してください。



4 **セット**を押します。

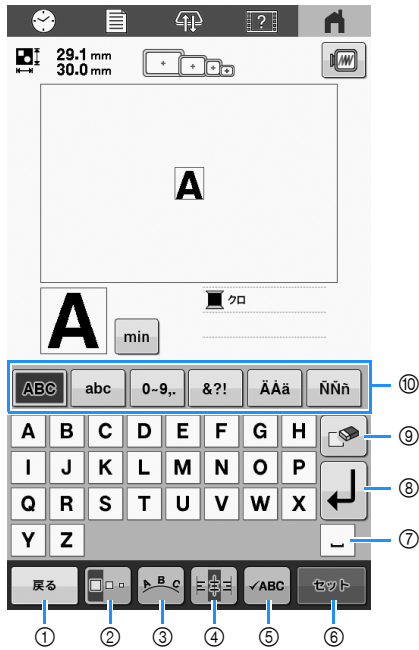
→ 編集画面が表示されます。

5 P.26「刺しゅう模様を選ぶ」の手順 4 から 10 に従って操作します。

■ 文字模様入力キー

📖 お知らせ


- グレー表示のキーは選択した模様を使用することができません。

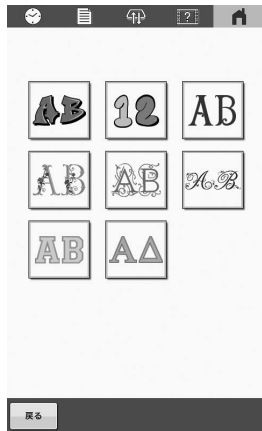


番号	画面表示		説明
	名称		
①		戻る	前の画面に戻ります。
	戻るキー		
②		大きさ	選んだ文字の大きさを変更します。選択された文字の大きさが変わります。 ・文字の種類によっては、大きさを変更できないものがあります。
	大きさキー		
③		配列	文字模様の配列を変更します。 ・曲線上の文字模様配列を変更するには や を押します。 : 曲線がゆるやかになります。 : 曲線が急になります。 ・傾斜上の文字模様配列を変更するには を押します。 : 反時計回りに傾斜させます。 : 時計回りに傾斜させます。 ・ : 配列を元に戻します。
	配列キー		
	—		
	—		
	—		
	—		
	—		
	—		
	—		
	—		

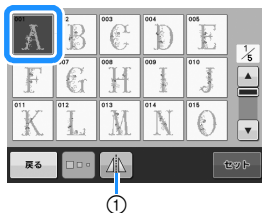
番号	画面表示		説明
	名称		
④		段落揃えキー	段落揃えを変更します。この機能は複数行の文字が入力されているときに有効です。 ・ : 右揃え : 左揃え : 中央揃え
	—		
	—		
	—		
⑤		文字確認キー	文字が小さくて画面表示が見にくいときなど、押すと文字入力の確認ができます。
⑥		セットキー	文字の入力を確定して、編集画面に進みます。
⑦		—	スペースを入力します。
	スペースキー		
⑧		—	改行します。
	改行キー		
⑨		—	文字を削除します。
	削除キー		
⑩	—	—	文字のカテゴリを選択します。
	—		
⑪		—	日本語の文字の横書き／縦書きが切り替わります。欧文フォントは、縦書きにすることはできません。
	縦書き／横書き切り替えキー		

装飾アルファベットを選ぶ

- 1 を押します。
- 2 選びたい模様カテゴリーのキーを押します。



- 3 選びたい模様キーを押します。





- ① 必要に応じて、模様を左右反転できます。
→ 模様表示エリアに模様が表示されます。

- 4 **セット**を押します。
→ 編集画面が表示されます。

- 5 P.26「刺しゅう模様を選ぶ」の手順 ④ から ⑩ に従って操作します。

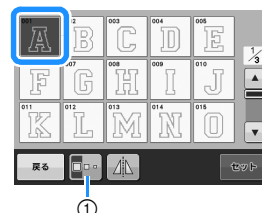
■ アプリケアルファベット

- 1 を押します。
- 2 を押します。



→ アプリケ模様の一覧が表示されます。

- 3 選びたい模様キーを押します。



- ① 押すと、サイズを変更できます。
→ 模様表示エリアに模様が表示されます。

- 4 **セット**を押します。
→ 編集画面が表示されます。

💡 お願い

- めい方については、P.70「アプリケ模様のめい方」を参照してください。

模様を組み合わせる

できあがり例



1 模様を選んで、**セット**を押します。

2 **追加**を押します。




3 **A**を押します。

4 **ABC**を押し、「LOVE」を入力します。


→ 入力した文字模様は模様表示エリアの中心に配置されます。

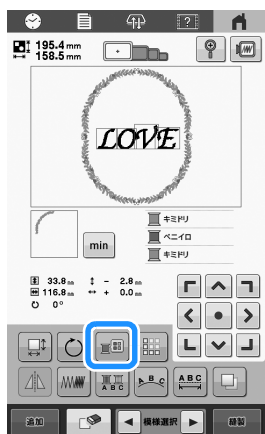
5 **セット**を押します。



6 で文字模様を動かします。

* 指やタッチペンで、画面の模様にも直接触れてドラッグすることもできます。

7 を押して、文字の色を変えます。(P. 38)



8 **OK**を押します。

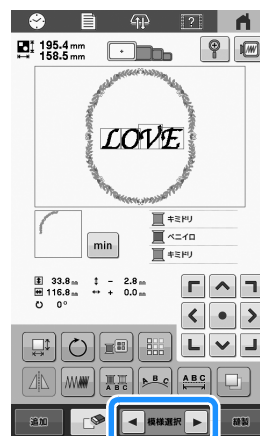
9 編集が終了したら、**複製**を押します。

お知らせ

- 組み合わせた模様は、模様が入力された順に刺しゅうされます。

■ 編集する模様を選ぶ

複数の模様を組み合わせている場合は、**◀**または**▶**を押して、編集する模様を選びます。
模様は指やタッチペンで直接画面を押すことでも選択できます。

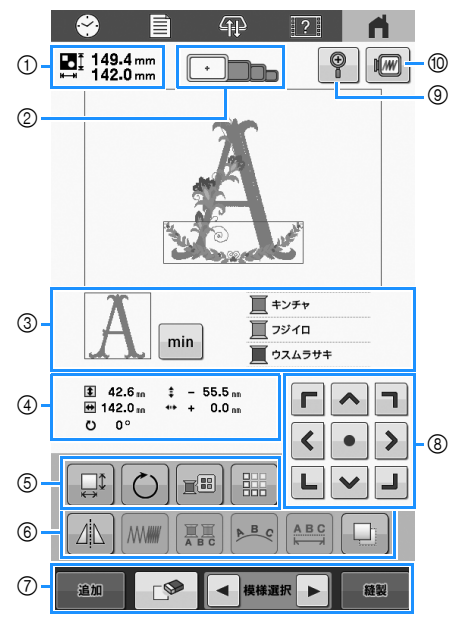


模様編集

編集画面の見方

お知らせ

- キー表示がグレーのときは、選択した模様とそのキーの機能を使用できません。



番号	画面表示	説明	参照ページ		
	名称				
①	149.4 mm 142.0 mm	模様表示エリアに表示されている模様の大きさを示します。上段が縦、下段が横の長さです。複数の模様を組み合わせている場合は、すべての模様を含む全体の大きさを示しています。	-		
	大きさ				
②		模様表示エリアに表示されている模様を縮小することができる刺しゅう枠を示します。	P. 45		
	適応枠表示				
③		ぬい順表示の1番上の色系でぬわれる部分の形が表示されます。	-		
	部分表示				
				糸色のぬい順表示を各糸色の縫製時間表示に変更します。	-
	糸情報 (色/縫製時間)			糸色のぬい順を示します。縫製中はスクロールし、現在縫製している糸色が1番上に表示されます。表示は、糸色名または刺しゅう糸番号などに切り替えることができます。(P. 80)	-
ぬい順表示					

番号	画面表示	説明	参照ページ		
	名称				
④	42.6 mm 142.0 mm	編集対象となっている模様の大きさを示します。上段が縦、下段が横の長さです。	-		
	大きさ				
	- 55.5 mm			編集対象となっている模様を移動したときの縦の移動距離を示します。	-
	中心からの距離 (縦)				
④	+ 0.0 mm	編集対象となっている模様を移動したときの横の移動距離を示します。	-		
	中心からの距離 (横)				
④	0°	編集対象となっている模様を回転したときの回転角度を示します。	-		
	回転角度				
⑤	大きさキー	模様大きさ調整画面を表示します。 ・ : 縦横比を変えずに縮小します。 ・ : 縦方向のみ縮小します。 ・ : 横方向のみ縮小します。 ・ : 縦横比を変えずに拡大します。 ・ : 縦方向のみ拡大します。 ・ : 横方向のみ拡大します。 ・ : 変更する模様を選択します。 : 模様を矢印の方向へ移動します。 ・ : 元の大きさに戻します。 ・ : この画面を閉じます。	-		
	回転キー			模様回転画面を表示します。 ・ : 元の角度に戻します。 模様を回転するには、回転キーを使用します。また、模様を回転させながら、移動キーを使用することもできます。	-
	配色キー			模様の色を変えることができます。	P. 38
	繰り返しキー			繰り返し模様 (ボーダー模様) を作ったり、編集したりすることができます。	P. 35

番号	画面表示	説明	参照ページ
	名称		
⑥		編集対象となっている模様を左右に反転することができます。	—
	左右反転キー		
		文字模様と枠模様の一部のみ糸密度を変更することができます。	P. 34
	糸密度キー		
		文字模様を一文字ずつ色を変えることができます。文字模様を選んでいる場合のみ使えます。	P. 38
	色替えキー		
⑦		文字模様の配列を変更します。 <ul style="list-style-type: none"> • 曲線上の文字模様配列を変更するには や 、、 を押します。 : 曲線がゆるやかになります。 : 曲線が急になります。 • 傾斜上の文字模様配列を変更するには を押します。 : 反時計回りに傾斜させます。 : 時計回りに傾斜させます。 • : 配列を元に戻します。 	—
	配列キー		
		: 文字模様の間隔を変えます。 <ul style="list-style-type: none"> • : 文字の間隔を大きくします。 • : 文字の間隔を小さくします。 • : 文字模様の間隔をリセットします。 : 組み合わせた文字模様を分割して、間隔を調整したり、個別に編集したりすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> • : 模様を分割する場所を選びます。 • : 模様を分割します。 	—
	文字間キー／文字列分割キー		
		模様をコピーできます。コピーされた模様は、元の模様の少し右下に配置されます。	—
	コピーキー		
	追加キー	模様を追加します。押すと、模様選択画面が表示されます。	P. 32
	削除キー	模様を削除します。押すと、編集対象となっている模様が削除されます。	—
	模様選択キー	複数の模様を組み合わせている場合に、編集する模様の対象を変更することができます。	P. 32
	縫製キー	編集が終了したら押します。次の縫製画面に進みます。	—

番号	画面表示	説明	参照ページ
	名称		
⑧		<ul style="list-style-type: none"> • : 模様を矢印の方向へ移動します。 • : 模様を中心に移動します。 	—
	移動キー		
⑨		模様を 200% まで拡大表示します。	—
	拡大キー	<p>拡大表示すると、、、、 が表示されます。表示されたキーを押すと、画面の表示範囲をキーの方向に移動させることができ、模様の細部を確認するのに便利です。200% の拡大率のまま編集を続けることができます。</p>	
⑩		模様のイメージ画像が表示され、仕上がりイメージを見ることができます。	P. 43
	イメージキー		

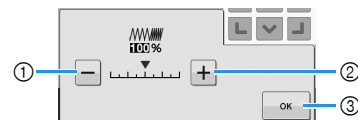
糸密度を変える（文字・枠模様の一部のみ）

文字・枠模様の一部のみ糸密度を変えることができます。80～120%の間で5%ごとに設定できます。

① を押します。



→ 次の画面が表示されます。



- ① 糸密度を粗くします。
- ② 糸密度を細くします。
- ③ 押すと、この画面を閉じます。

■ 糸密度を粗く／細かくする



- 1 各キーを押して、希望の糸密度にします。
キーを押すごとに、少しずつ粗くまたは細かくなります。
● 元の糸密度（標準）に戻したい場合は、[100%] にします。

- 2 変更し終わったら、**OK** を押します。

繰り返し模様（ボーダー模様）を作る

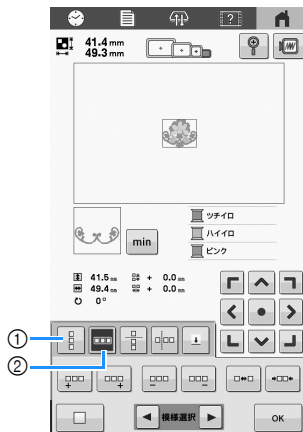
指定した回数分繰り返し、模様全体をコピーします。

- 1 繰り返したい模様を選び、**セット** を押します。



- 2  を押します。





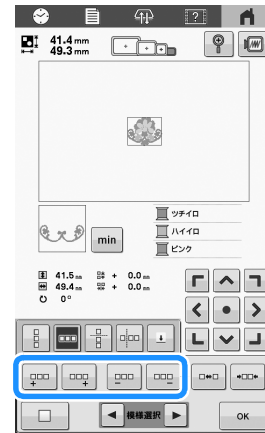
- 3 模様を繰り返す方向を選びます。





- ① 垂直方向
 - ② 水平方向
- 水平、垂直繰り返し／削除のキーは、選んだ方向によって切り替わります。

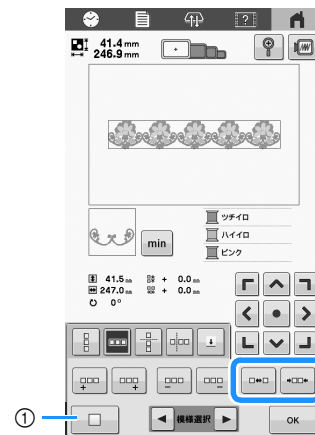
- 4  を使うと左端に模様が繰り返され、 を使うと右端に模様が繰り返されます。


- 左端の模様を削除するには、 を押します。
- 右端の模様を削除するには、 を押します。



- 5 繰り返した模様の間隔を調整します。

- 間隔を広げるには、 を押します。
- 間隔を狭めるには、 を押します。



- ①  を押すと、繰り返しがリセットされます。

お知らせ

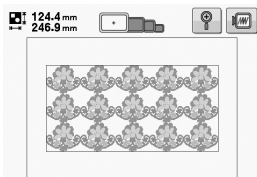
- 模様の間隔の調整ができるのは、赤枠の内側のみです。

- 6 手順 ③ から ⑤ を繰り返して、繰り返し模様を仕上げます。

7 変更が終わったら、**OK**を押します。

お知らせ

- 2つ以上の模様がある場合は、すべての模様が赤い枠の中で1つの模様としてグループ化されます。



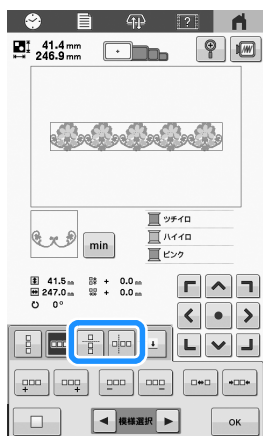
- 模様を繰り返す方向を変更すると、赤枠内の模様が1つの繰り返し単位として自動的にグループ化されます。

■ 繰り返し模様の1つの要素を繰り返す

分割機能を使用すると、繰り返し模様の1つの要素を選び、その要素だけを繰り返すことができます。この機能を使用すると、複雑な繰り返し模様をデザインできます。

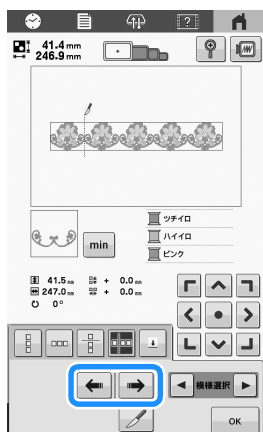
1 繰り返し模様を切り取る方向を選びます。

- 水平方向に切り取るには を押します。
- 垂直方向に切り取るには を押します。



→ 水平、垂直繰り返し／削除の表示は、選んだ方向によって切り替わります。

2 または で、切り取り線を選びます。



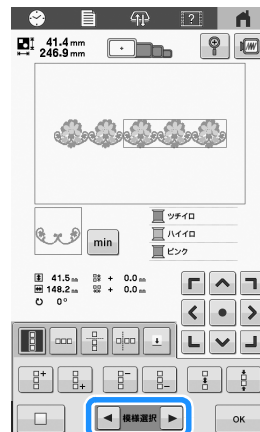
→ 切り取り線が移動します。

3 を押します。

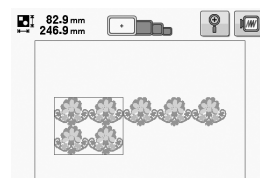
→ 繰り返し模様が要素に分割されます。

4 を押します。

5 または で、繰り返す要素を選びます。



6 任意の方向に要素を繰り返します。



7 変更が終わったら、**OK**を押します。

お知らせ

- 繰り返し模様を分割した要素に切り取った後は、元の繰り返し模様に戻すことはできません。
- 各要素は編集画面で個別に編集できます。P.32「編集する模様を選ぶ」を参照してください。

■ 糸印を付ける

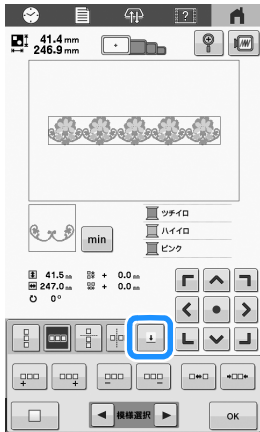
模様を続けてぬうときに糸印を付けておくと、模様合わせが簡単にできます。模様が終わると、最後の糸で矢印の形の糸印がぬわれます。模様を続けてぬうときには、矢印の先端に次の模様位置を合わせます。


📌 お知らせ

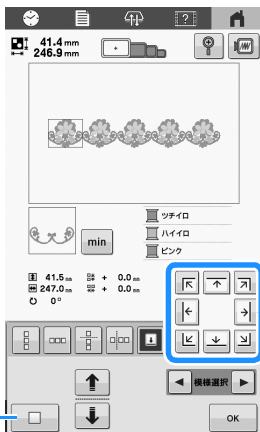
- 個別の模様を繰り返しぬうときは、模様の周囲のみに糸印をぬうこともできます。

1  を押します。

2  を押します。








3  で、ぬう糸印を選びます。



①  を押すと糸印設定がキャンセルされます。

📌 お知らせ

- 2つ以上の要素がある場合は、、 または 、 を押して、糸印を付けたい模様を選びます。

4  を押します。

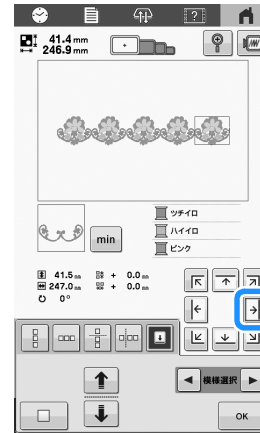
📌 お知らせ

- 縫製画面で組み合わせた繰り返し模様を回転させると、糸印は削除されます。


■ 繰り返して模様を刺しゅうする

繰り返し模様を作成後、刺しゅう枠に布地を張り替えながら模様を繰り返し縫製して、繰り返し模様を刺しゅうします。

1 繰り返し模様を作り、ぬい終わりの模様の右中央に糸印を付けます。(P. 37)



2  を押し、 を押します。

3  ロック を押し、スタート/ストップスイッチを押してぬいます。

→ ぬい終わりに、最後の糸色で糸印がぬわれます。

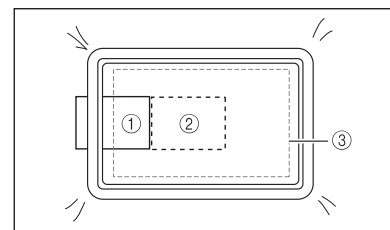


4 刺しゅう枠を外します。


5 布地を移動して、刺しゅう枠に張り直します。

📌 お願い


- 次の模様をぬう位置が刺しゅうシートの縫製範囲に収まるように、布地の位置を調整してください。

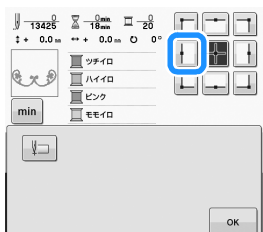


- ① ぬい終わった最初の模様の縫製位置
- ② 次にぬう模様の縫製位置
- ③ 刺しゅうシートの縫製範囲

- 6 ミシンに刺しゅう枠をセットして、縫製画面でを押します。



- 7 を押して、ぬい始め位置を模様の左中央に設定します。



- 8 を押します。


- 9 針落ち位置を布地の糸印に合わせます。

- 10 移動キーで刺しゅう位置を合わせられない場合は、布地を張り替えてから再度位置を合わせます。

🔔 お願い

- 組み合わせをした繰り返し模様の位置を合わせてから、縫製画面で模様を回転させないでください。位置合わせした後に縫製画面で模様を回転すると、模様が糸印やぬい始め位置に正しく合わなくなります。



- 11 ぬわれた糸印を取り除きます。

- 12 を押し、スタート/ストップスイッチを押してぬいます。

色を編集する

一文字ずつ色を変える

P. 29 の文字模様で選択した文字は、黒色に設定されています。文字の色を変えたいときは、配色キーで変更しますが、一文字ずつ色を変えたいときは、色替えキーをオンにしてから一文字ずつ色を設定します。

- 1 を押してにします。



- キーを1回押すごとに、切り替わります。



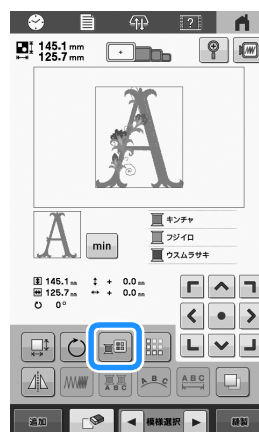
色替えオフ

色替えオン

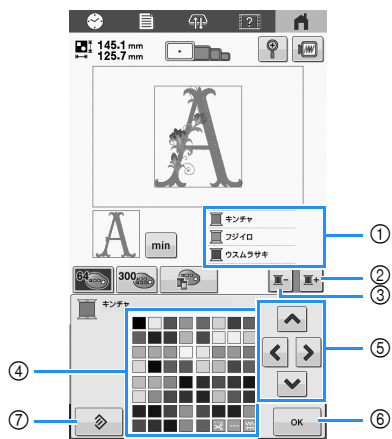
- 色の変更は、下記の「模様の色を変える」を参照してください。

模様の色を変える

- 1 を押します。

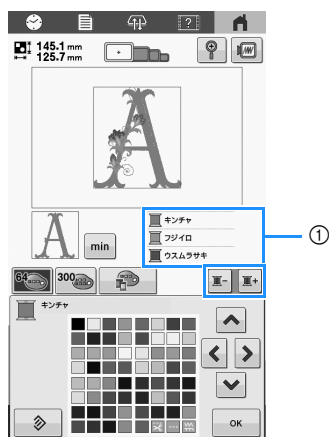


→ 糸色編集画面が表示されます。



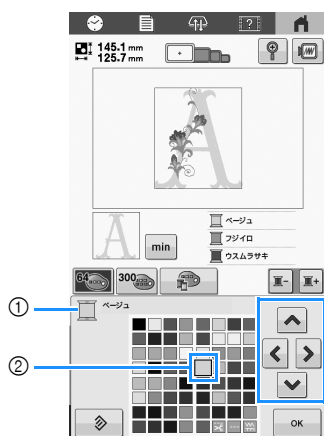
- ① 色替表示の1番上の色の部分が色を変える対象となります。
- ② 色替表示を進めます。
- ③ 色替表示を戻します。
- ④ 色パレット
この中から色を選びます。
- ⑤ 色パレットの色を選ぶときに使います。
- ⑥ 押すと、この画面を閉じます。
- ⑦ 押すと、元の色に戻ります。

2 **[-]** または **[+]** を押して、色替表示の1番上に変えたい色を表示させます。



- ① 1番上に表示される部分の糸色が変更されます。

3 **[↑]**、**[←]**、**[→]**、**[↓]** を押すか、希望の色を直接押して、パレットの中から新しい色を選びます。



- ① 選んだ色の糸色名が表示されます。
- ② 大きく表示されている色枠 (□) が選ばれている色です。

→ 模様表示エリアの、模様の変更をした部分の色が変わります。

4 **[OK]** を押します。

→ 色の変更が確定されます。

→ 編集画面に戻ります。

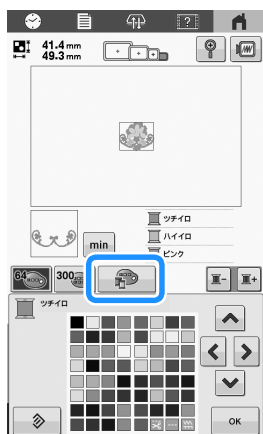
お知らせ

- 色パレットは、お手持ちの糸色などを自由に組み合わせて作り変えることができます。(P. 40)

ユーザーパレットを作る

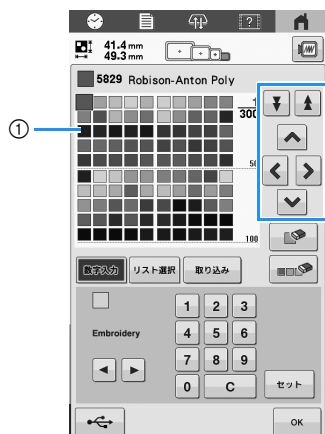
お手持ちの糸だけを使った「ユーザーパレット」を作ることができます。糸ブランド9社の糸色リストから、お手持ちの糸の糸色を選んで、色パレットに設定します。ユーザーパレットを作る前に、模様を選択し編集画面を表示してください。

- 1 を押して、 を押します。



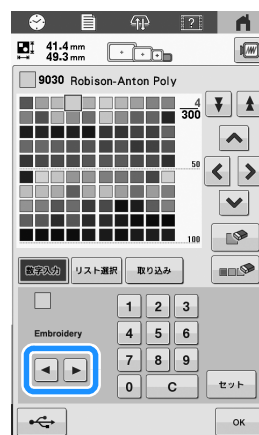
- 2 , , , で、ユーザーパレットのどこに色を追加するかを選びます。

- 直接画面を押し、ユーザーパレットの色枠 (□) を選ぶことができます。
- ユーザーパレット上の または を押すと、一度に 100 色をスクロールできます。



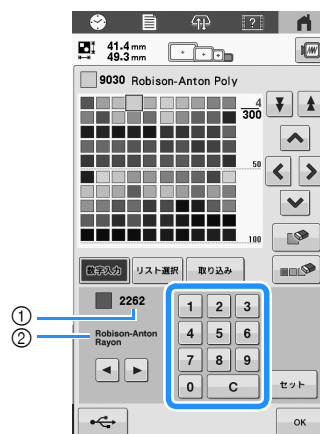
- ① ユーザーパレット

- 3 または で、ミシンの糸ブランドのいずれかを選びます。



- 4 1、2、3、4、5、6、7、8、9、0 キーを使って、糸色の 4 桁の番号を入力します。

- まちがえた場合は、 を押して入力した番号を消し、正しい番号を入力し直してください。





- ① 入力された糸色番号
② 糸のブランド

- 5 を押します。







- ① 選ばれた糸色
→ 選ばれた糸色がユーザーパレットに設定されます。

6 ここまでの手順を繰り返して、お好みの色をすべて指定します。

- 指定した色をパレットから削除するには、 を押します。
- パレットに設定した糸色をすべて削除したい場合は、 を押してください。

🔍 お願い

- ユーザーパレットを作るときは、色を設定後、、、、 を押すか、直接色枠（□）を押して、次にどの色枠に色を設定するか選択してください。自動的に次の色枠へは進みません。

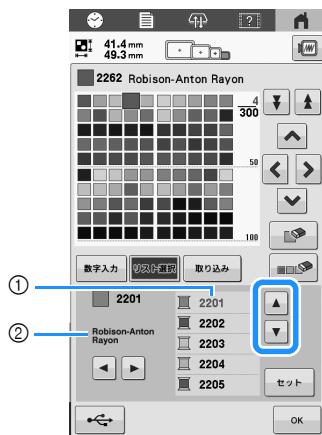
7 を押して、元の画面に戻ります。

■ 一覧からユーザーパレットに色を追加する

1 を押して、 を押します。

2 を押して糸の一覧を表示します。

3 または で、糸色を選びます



- ① 糸色番号
② 糸のブランド

4 を押します。

5 ここまでの手順を繰り返して、お好みの色をすべて指定します。

6 を押して、元の画面に戻ります。

ユーザーパレットから色を選ぶ

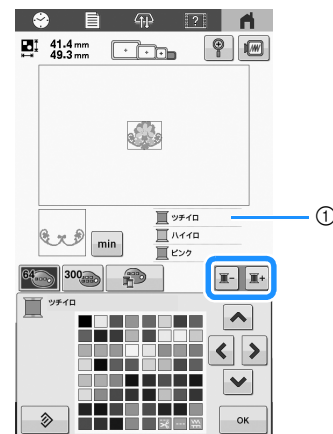
ユーザーパレットに設定した最大 300 色の糸色から 1 色を選ぶことができます。

1 を押します。



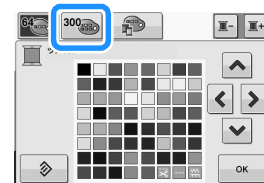
→ 64 色の刺しゅう糸色リストが表示されます。

2 または を押して、変更したい糸色を選びます。






① 1 番上に表示されているものが、選択されている糸色です。

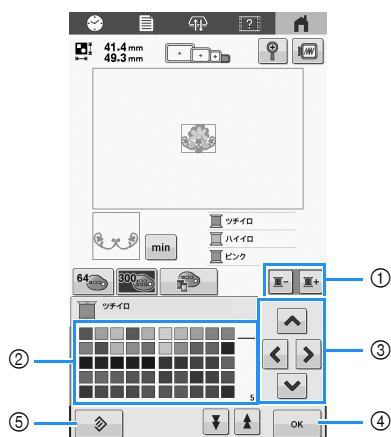
3 を押します。



→ 糸色（300 色の刺しゅう糸）画面が表示されます。

4 、、、 で、ユーザーパレットから新しい色を選びます。

-  または  で、ユーザーパレットをスクロールします。
-  を押すと、元の糸色設定に戻せます。
- 直接画面を押して、糸色（300 色の刺しゅう糸）リストから色を選ぶこともできます。



- ① 変更したい糸色を選びます。
 - ② 糸色リストです。このリストから色を選びます。
 - ③ これらの矢印を使用して、糸色リスト内の色選択を進めます。
 - ④ このキーを押すと画面を閉じます。
 - ⑤ このキーを押すと元の色に戻ります。
- 画面には変更された色が表示されます。

5 OK を押します。

ユーザーパレットを保存する／呼び出す

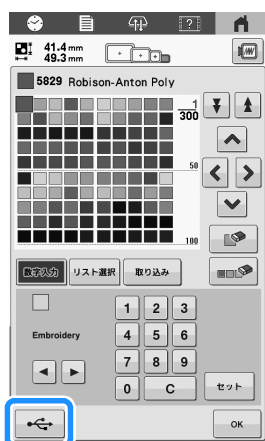
ユーザーパレットは、データファイルとして USB メディアへ保存することができます。また保存されたデータは、USB メディアから呼び出すことができます。

お知らせ

- ユーザーパレットファイルは、USB メディアへのみ保存できます。ミシンの内蔵メモリおよびパソコンへは保存できません。
- ユーザーパレットファイルは、.pcp 形式で保存されます。

■ USB メディアにユーザーパレットを保存する

- 1** USB メディアをミシンの USB ポートに差し込みます。
- 2** 編集画面で、 を押して、 を押します。
- 3** を押します。



→ 「記憶中」の画面が表示されます。記憶されると、自動的に元の画面に戻ります。

お願い

- 「記憶中」の画面が表示されているときは、USB メディアを抜き差ししないでください。記憶されているデータが消えることがあります。

■ USB メディアからユーザーパレットを呼び出す

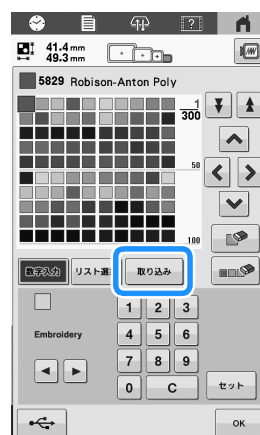
- 1** ユーザーパレットのデータが保存されている USB メディアを、ミシンの USB ポートに差し込みます。

お願い

- 一度に USB メディアから呼び出すことができるファイルは 1 つです。1 つの USB メディアに、2 つ以上の .pcp データを保存しないでください。

- 2** 編集画面で、 を押して、 を押します。

- 3** を押します。



→ 「記憶中」の画面が表示されます。データがミシンに読み込まれると、自動的に元の画面に戻ります。

お願い

- 「記憶中」の画面が表示されているときは、USB メディアを抜き差ししないでください。記憶されているデータが消えることがあります。
- 呼び出したユーザーパレットを削除したいときは、 を押してください。すべての色が削除されます。

仕上がりイメージを確認する




仕上がりイメージの見方

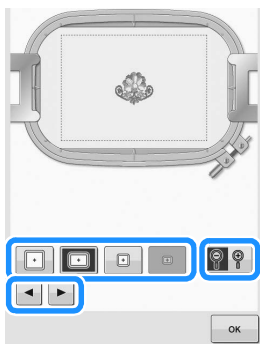
希望通りのぬいあがりになるか、刺しゅうしたときのイメージで見てみます。


- 1 を押します。




→ イメージが表示されます。

- 2 またはを押して、選択したい枠を表示させて、刺しゅう枠を選びます。を押すと、模様のみを画面いっぱいに表示できます。



- 枠表示を変更してみて、模様最適な台枠や刺しゅう枠の大きさを決めたら、台枠や枠を交換してください。ミシンが自動で台枠と枠の種類を認識して画面表示が変わります。
- もう一度を押すと、刺しゅう枠付きの表示になります。

- 3 を押して、元の画面に戻ります。

お知らせ

- 縫製画面では、仕上がりイメージを表示したまま刺しゅうを開始することができます。縫製画面以外で仕上がりイメージを表示したときは刺しゅうを開始できません。

布地を準備する

注意

- 刺しゅうができる布地の厚さは2 mm程度までです。それ以上の厚さのものをぬうと、針が折れ、けがをするおそれがあります。

布地に接着芯を貼る

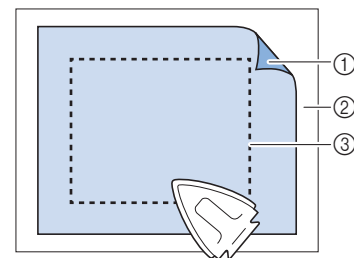
ぬい縮みや模様くずれを防ぐために、刺しゅう用接着芯の使用をお勧めします。

注意

- 薄地や伸びる布地、目の粗い布地、ぬい縮みしやすい布地に刺しゅうをする場合は、必ず刺しゅう用接着芯を使用してください。接着芯を使用しないと、針が折れ、けがをするおそれがあります。

- 1 布地の裏側に接着芯をスチームアイロンをかけて貼ります。

- 接着芯は、刺しゅう枠よりも大きいものを使用してください。



- ① 接着芯の接着面
- ② 布地（裏面）
- ③ 刺しゅう枠の大きさ

お知らせ

- オーガンジーやローンなど薄手の素材に簡単なデザインやざっくりしたデザインを刺しゅうするときは、水に溶ける水溶性シートをお使いください。洗濯中にシートが溶け、固くならずきれいに仕上がります。
- アイロンがかけられない布地やアイロンのかけにくい場所に刺しゅうをするときは、接着しないで、布地の下に接着芯を重ねて刺しゅう枠に張ってください。

布／接着芯の適合表

布／衣服	裏張りの枚数	表張りの枚数
	詳細	
タオル地	はがすタイプ1枚	水に溶けるタイプ1枚
	密度または縦ぬい幅を大きくしてください。細かい模様や小さな文字は、毛羽の輪に引っかかりやすくなります。	
サテンのジャケット	厚い裏地：なし 薄い裏地または裏地なし：はがすタイプ1枚	なし
	布が枠の中ですべてとまっすぐぬえなくなりますので、マスキングテープや布のバイアステープを内枠に巻いてください。こうすると表面が粗くなるため布がつかみやすく、また、枠が焼けるのを最小限にすることもできます。	
綿の敷布	はがすタイプ1枚	なし
	密度の濃いものや、細かいデザインの場合は、裏張りを増やしてください。この場合は、厚い裏張り1枚ではなく、薄い裏張りを2枚使ってください。	
デニム	はがすタイプ1枚	なし
	針が熱くなったり糸が切れたりするときは、縫製速度を遅くしてください。	
帽子	任意	任意
	バックラムの裏張りを使用すると針が鈍くなりやすいので、通常よりも頻りに針を交換するようにしてください。軽い裏張りを使用すると、糸切れが減り、糸調子を整えられます。コーデュロイや帽子の前面には表張りを使ってください。	
ドレスシャツ(織物)	はがすタイプ1枚	なし
	密度の高いものや、細かいデザインの場合は、裏張りを増やしてください。この場合は、厚い裏張り1枚ではなく、薄い裏張りを2枚使ってください。	
ゴルフシャツ	切るタイプまたはアイロン接着の切るタイプ1枚	任意
	細かい模様や小さな文字の多いデザイン、またピケニットには表張りを使用してください。	
カントンフリース	はがすタイプ1枚	任意
	かご織りや、はっきりしたあや織りのような織物には表張りを使用してください。	
キャンバス地	はがすタイプ1枚	なし
	枠をきつく取り付けてください。	
コーデュロイ	はがすタイプ1枚	水に溶けるタイプ1枚
	ぬい目の密度が高いものやぬい目数が多い場合は、表張り同様に、ぬい目が布の中に沈まないようにしてください。	

布／衣服	裏張りの枚数	表張りの枚数
	詳細	
肌着やシルク	はがすタイプ(軽)1枚または2枚	任意
	縫製速度を遅くしてください。糸調子をゆるめてください。細かい模様や小さな文字のあるデザインには、表張りを使用してください。織り目の細かい布には細い糸を使用してください。細かい模様や文字には極端に狭い縦ぬいをさけ、ぬい幅を広げるか、さやぬいをしてください。布からやさしく裏張りと言張りを取り除いてください。(無理に引きはがさないでください。)	
ニット	切るタイプまたはアイロン接着の切るタイプ1枚	水に溶けるタイプ1枚
	かさばるものや穴の多いニットには裏張りに色の合った、織り目の詰まったオーガンジーまたはカーテンの布を使ってください。	
スウェットシャツ	切るタイプ(軽)または粘着性のはがすタイプ1枚	任意
	細かいデザインには切るタイプ(軽)の接着芯を2枚重ねてください。極端に厚い、また細かいデザインの付いた布には表張りを使ってください。	
Tシャツ	切るタイプ(軽)またはアイロン接着の切るタイプ1枚	任意
	細かい模様や小さな文字のあるデザインには、表張りを使用してください。糸調子をゆるめてください。ぬい目の密度が高いデザインはさけてください。	

❓ お願い

- 布／接着芯の適合表は、布地と接着芯の多くの組み合わせの中から、最適な組み合わせを選ぶための目安としてご利用ください。布地と接着芯の組み合わせが不確かである場合は、実際の衣類で本ぬいする前に、ためしぬいをしてください。

布地の張り方

🔍 お願い

- 布地の張り方がゆるいと、模様くずれやぬい縮みの原因となります。次の手順に従って、布地にたるみがないよう、しっかりと張ってください。また、布地を張るときは平らな場所で行ってください。

1 刺しゅう枠を選びます。

画面に表示されている刺しゅう枠を確認し、使用できる刺しゅう枠を選びます。



使用できる刺しゅう枠は白色 () で表示されます。使用できない刺しゅう枠はグレー () で表示されます。

📖 お知らせ

- 台枠がミシンに取り付けられていない場合は、使用できる刺しゅう枠を正しく示すことができません。(P. 49)

[E OFF] が設定されているときは、刺しゅうの枠表示は以下になります。(P. 80)



■ 刺しゅう枠の種類

刺しゅう枠の画面表示については、P.51「刺しゅう枠／台枠の種類と用途」を参照してください。

⚠️ 注意

- 誤った大きさの刺しゅう枠を使用すると、刺しゅう枠が押えに当たり、けが・故障の原因となります。(刺しゅう枠について詳しくは、P. 51を参照してください。)

重要

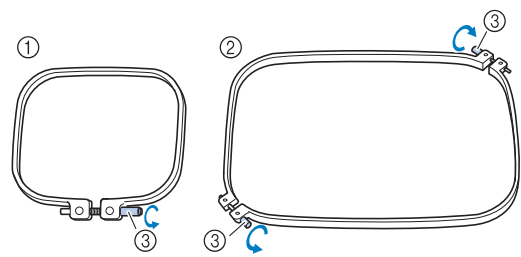
- 当社指定の刺しゅう枠を使用してください。

🔍 お願い

- 使用可能な刺しゅう枠は適応枠表示で白色になりますが、できるだけ刺しゅう模様の大きさに合った刺しゅう枠を使ってください。大きすぎる刺しゅう枠を使うと、模様くずれやぬい縮みが起きることがあります。(P. 51)

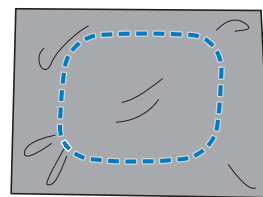
■ 枠に布地を張る

1 刺しゅう枠の外枠の調節ネジをゆるめます。



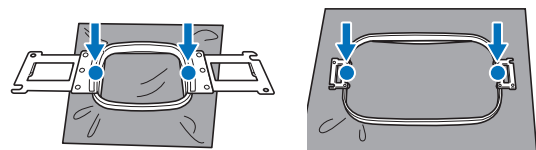
- ① S 枠 (別売) と M 枠は調節ネジがひとつです。
- ② L 枠 (別売) と LL 枠は調節ネジが2つあります。
- ③ 調節ネジ

2 外枠の上に、接着芯と布地をピンッと伸ばしてのせませう。



- 外枠の表裏はありません。どちらの面が表になっても構いません。

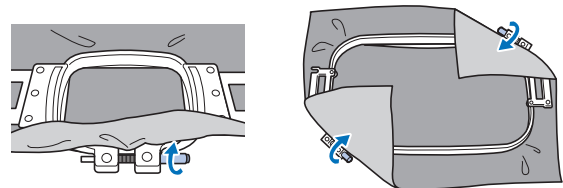
3 内枠ではさみます。



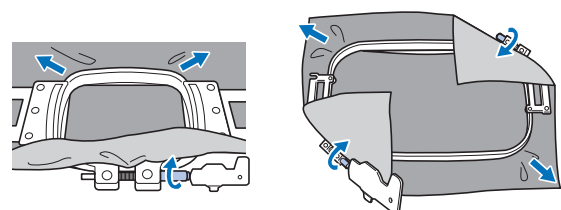
- 刺しゅう枠の内側に、はさみしわができないよう注意してください。

4 調整ネジを軽くしめます。

- 外枠と内枠の天面の高さがほぼ同じになるように合わせてください。

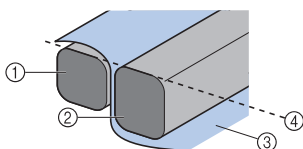


5 布地を引っ張りながら、調節ネジをしっかりと締め、布にたるみのない状態にします。



- 調節ネジは3ウエイドライバーを使うと、しっかりと締め付けることができます。
- 布地を張った後、布地を軽くたたくと太鼓のような音がするくらいが目安です。

- 外枠と内枠の天面の高さがほぼ同じになるように、しっかりとはめてください。



- ① 外枠
- ② 内枠
- ③ 布地の表
- ④ ほぼ同じ高さになる

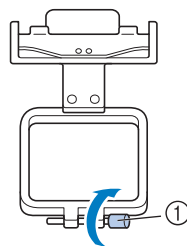
お知らせ

- 確実にきれいに布地を刺しゅう枠に張るために、枠張り台を使うことをお勧めします。

ネーム枠の布地の張り方と取り付け方

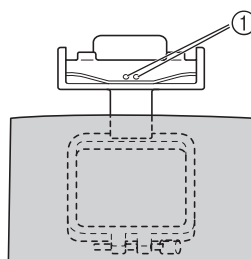
ネーム枠を使用するときは、台枠 E をセットします。

- 1 刺しゅう枠の外枠の調節ネジをゆるめます。



- ① 調節ネジ

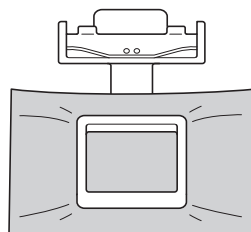
- 2 外枠の上に、布地をピンッと伸ばしてのせます。



- ① ネジ頭

- 台枠のネジ頭が表になるように外枠を置いてください。

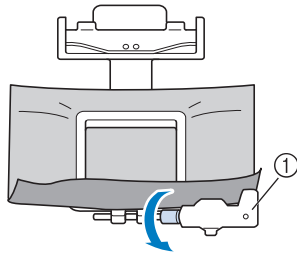
- 3 内枠ではさみます。



- 刺しゅう枠の内側に、はさみしわができないよう注意してください。

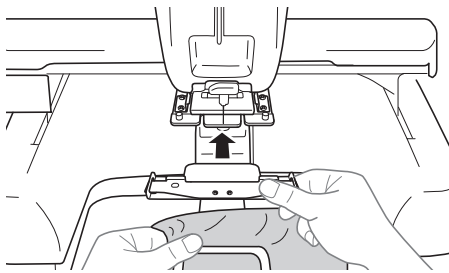
4 調節ネジをしっかりと締め、布にたるみがないか確認します。

- 調節ネジは3ウエイドライバーを使うと、しっかりと締め付けることができます。

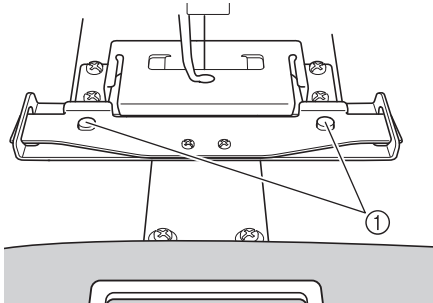


① 3ウエイドライバー

5 布地を張った刺しゅう枠を両手でしっかりと握り、台枠 E に取り付けます。



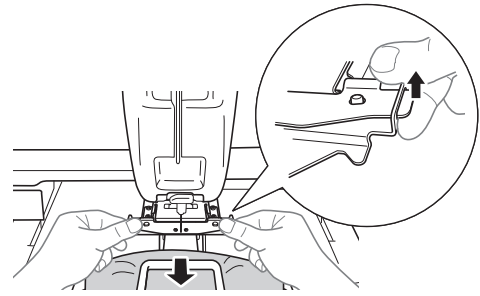
6 台枠 E のピンを、ネーム枠の両端にある穴に差し込みます。



① 台枠のピンが、刺しゅう枠の取付部の穴に入っていることを確認してください。

■ ネーム枠の取り外し方

ネーム枠を両手で持ちながら、両脇のパネを指で持ち上げ、枠を手前に引っ張って取ります。



💡 お願い

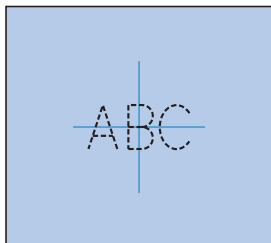
- パネで指を挟まないよう注意してください。

■ 刺しゅうシートを使う

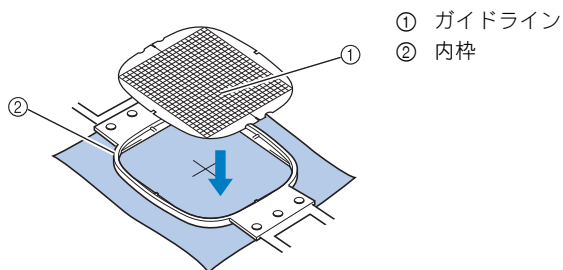
布地に対して模様が水平にぬわれるように布地を刺しゅう枠に張るには、刺しゅうシートの基準線を目安にして張ると便利です。



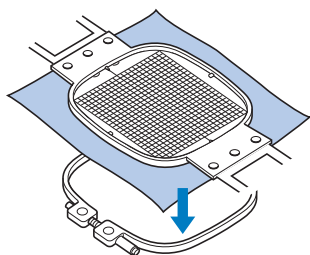
- 1 チャコペンで刺しゅうしたい範囲にしるしを付けます。



- 2 内枠に刺しゅうシートを置きます。布に付けたしるしと刺しゅうシートのガイドラインを揃えます。



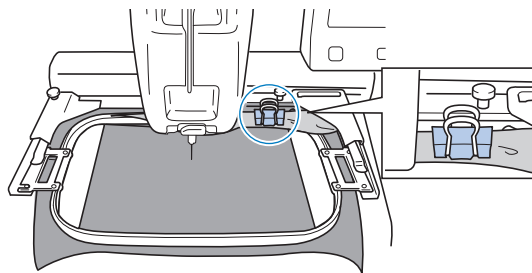
- 3 折り目やしわがなくなるようにていねいに布を伸ばし、外枠ではさみます。



- 4 刺しゅうシートを外します。

■ 大きな布地や重い衣類の場合

大きな布地やジャンパーなどの重い衣類をぬうときは、クリップで刺しゅう枠にとめるなどして、刺しゅう枠から布端が垂れ下がらないようにしてください。垂れ下がった状態でぬうと、刺しゅう枠の動きが悪くなり、模様くずれの原因となります。



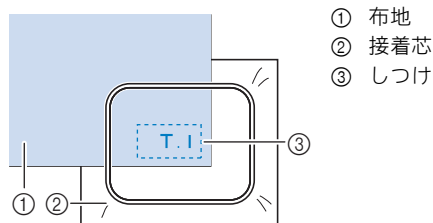
- クリップなどで刺しゅう枠にとめます。

☑ お知らせ

- 大きな布地や重い衣類を支えるには、ワイドテーブル（別売）の取り付けをお勧めします。

■ 小さい布地の場合

刺しゅう枠に張ることができない小さい布地に刺しゅうをするときは、接着芯を土台にします。軽くアイロンで布地を接着芯に貼り、刺しゅう枠に張ります。アイロンで布地を接着芯に貼ることができないときは、しつけをします。接着芯は刺しゅうが終わってからていねいに取り除きます。



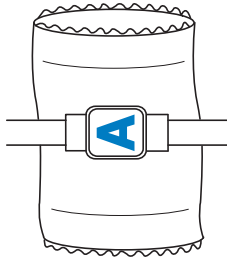
■ 袋もの、筒ものなど刺しゅう枠の張り方が限定されるものをぬう場合

模様を回転してぬいます。

模様の回転については、P.33「編集画面の見方」を参照してください。

例：ピローケースにぬう場合

模様を左に 90 度回転してぬいます。



例：Tシャツにぬう場合

模様を 180 度回転します。Tシャツの襟ぐり側ではなく胸側からミシンベッドを通し、刺しゅう枠をミシンにセットします。刺しゅう枠の移動により襟ぐりの伸びを防ぎます。



刺しゅう枠をミシンにセットする

刺しゅう枠に布地を張ったら、ミシンにセットします。台枠は、台枠 A と台枠 B と台枠 E の 3 種類が付属されています。

付属の刺しゅう枠を使用する場合は、適した台枠を取り付けてください。(台枠について詳しくは、P. 51 を参照してください。)

⚠ 注意

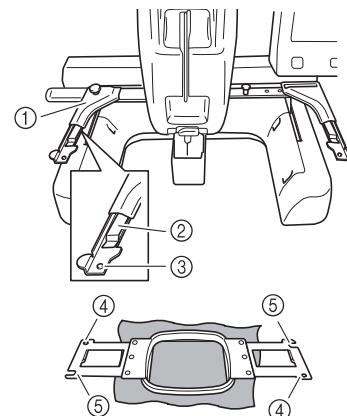
- 刺しゅう枠を正しくセットしないと、刺しゅう枠が押えに当たり、けが・故障の原因となります。
- 刺しゅう枠をセットするときは、スタート/ストップスイッチが赤色で点灯していることを確認してから行ってください。スタート/ストップスイッチが緑色で点滅しているときは、ミシンはスタートできる状態です。誤ってミシンが作動すると、けがの原因となります。

重要

- 刺しゅう枠をセットするときは、刺しゅう枠がミシンの各部品に当たらないように注意してください。

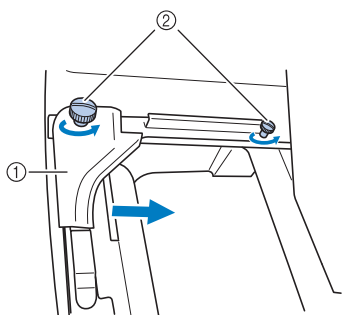
刺しゅう枠のセットのしかた

セットする刺しゅう枠の大きさに台枠の幅を合わせてから、刺しゅう枠をセットします。ここでは、M 枠をセットします。



- 台枠の左アーム
刺しゅう枠の大きさに合わせて、左右に調整します。
- 台枠の受金具
ここに刺しゅう枠の取付部をはさみ込みます。
- ピン
- 穴
- 切り欠き

- 1** 台枠の左側にある 2 本のつまみボルトをゆるめます。
つまみボルトがきつすぎるときは、付属の 3 ウェイドライバーを使用してください。(P. 14)

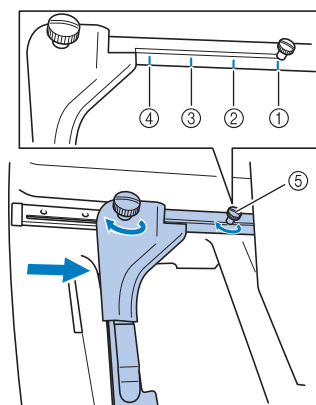


- ① 左アーム
② つまみボルト

→ 台枠の左アームが移動できるようになります。
● つまみボルトは、2～3回、回してゆるめるだけで、外さないでください。

- 2** 左アームを移動し、セットする刺しゅう枠のマークを右のネジに合わせ、つまみボルトをしめます。

ここでは、③のマークを合わせます。



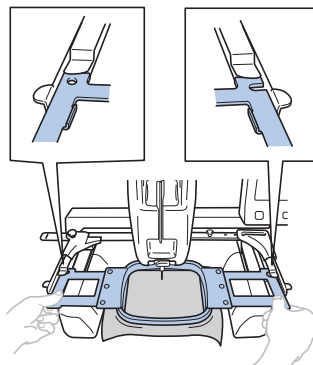
- ① LL 枠のマーク
ヨコ 300mm× タテ 200mm
② L 枠 (別売) のマーク
ヨコ 180mm× タテ 130mm
③ M 枠のマーク
ヨコ 100mm× タテ 100mm
④ S 枠 (別売) のマーク
ヨコ 60mm× タテ 40mm
⑤ マークを合わせるネジ

👉 お願い

- 付属の 3 ウェイドライバーで、2 本のつまみボルトをしっかり締め付けてください。つまみボルトがしまっていないと、次のようなトラブルが発生するおそれがあります。
 - ・ ミシンが枠のサイズを誤って認識する
 - ・ 刺しゅう枠の原点位置がずれる
 - ・ 刺しゅう模様がくずれる

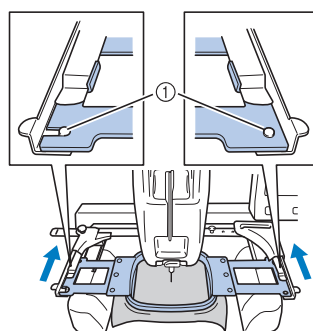
→ 台枠の準備ができました。

- 3** 刺しゅう枠を水平に持って、刺しゅう枠の取付部を左右同時に台枠の受金具に合わせ、はさみ込ませます。



- 刺しゅう枠は内枠面を上にしします。

- 4** そのまま奥へ刺しゅう枠を押し込みます。



- ① 左右のアームのピンが、刺しゅう枠の取付部の穴に入っていることを確認してください。

刺しゅう枠を正しく使うには





刺しゅう枠の種類や使い方について説明します。
付属の刺しゅう枠に加え、このミシンで使用できる刺しゅう枠が多数用意されています。

⚠ 注意

- 必ず画面に表示された使用可能な刺しゅう枠を使用してください。誤った大きさの刺しゅう枠を使用すると、刺しゅう枠が押えに当たり、けがの原因となります。

■ 刺しゅう枠が取り外しにくいときは

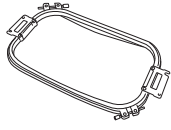





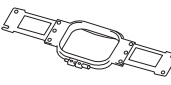

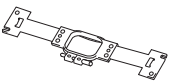

縫製終了時の状況によっては、刺しゅう枠が交換しにくいことがあります。このようなときは、次の手順に従って、刺しゅう枠を移動してください。

- 1  を押します。
- 2 キャリッジが動くメッセージが表示されるので、 を押します。
→ 刺しゅう枠を取り外しやすい場所に、自動的にキャリッジが移動します。
- 3 刺しゅう枠の交換が終わったら、 を押します。
- 4 手順 2 で表示されたメッセージが表示されるので、 を押します。
→ キャリッジが元の位置に戻ります。

■ 刺しゅう枠／台枠の種類と用途

参照ページが「※」のときは、お買い上げの販売店、または「PR/VR 専用ダイヤル」にご相談ください。





台枠 A を使用する刺しゅう枠

刺しゅう枠の種類	縫製範囲	
	用途	
	参照ページ	
LL 枠 	ヨコ 300mm × タテ 200mm 	文字や模様をつないで刺しゅうしたり、組み合わせたり、大きな刺しゅうをするときに使います。 P. 45
平枠 (別売) 	ヨコ 300mm × タテ 200mm 	ジャケットなどの厚地のものを刺しゅうするときに使います。 別売のワイドテーブルを取り付けて刺しゅうしてください。 ※
L 枠 (別売) 	ヨコ 180mm × タテ 130mm 	ヨコ 180mm × タテ 130mm 以下の大きさの刺しゅうをするときに使います。 P. 45
M 枠 	ヨコ 100mm × タテ 100mm 	標準サイズの模様を刺しゅうするときに使います。 P. 45
S 枠 (別売) 	ヨコ 60mm × タテ 40mm 	ネーム入れなど小さな刺しゅうをするときに使います。 P. 45

台枠 B を使用する刺しゅう枠

刺しゅう枠の種類	縫製範囲	
	用途	
	参照ページ	
キルト枠 (別売) 	ヨコ 200mm × タテ 200mm	
	キルト用のピースに刺しゅうするとき に使います。 別売のワイドテーブルを取り付けて刺 しゅうしてください。	
	※	
ボーダー枠 (別売) 	ヨコ 300mm × タテ 100mm	
	文字や模様が長くつながった刺しゅう をするときに使います。 別売のワイドテーブルを取り付けて刺 しゅうしてください。	
	※	
縦長枠 (別売) 	ヨコ 70mm × タテ 200mm	
	シャツの袖など縦長のものに刺しゅう するときに使います。	
	※	

台枠 C (別売) を使用する刺しゅう枠

刺しゅう枠の種類	縫製範囲	
	用途	
	参照ページ	
丸枠 (別売) 	160mm 径 130mm 径 100mm 径	  
	袖口に内蔵模様を刺しゅうするときな どに使います。模様サイズに合わせ て丸枠の大きさを選んでください。	
	※	

台枠 D (別売) を使用する刺しゅう枠

刺しゅう枠の種類	縫製範囲	
	用途	
	参照ページ	
クランプ S 枠 (別売) 	ヨコ 45mm × タテ 24mm	
	靴や手袋など、通常の枠では固定でき ない、特殊な形状の素材にワンポイン ト刺しゅうするときに使います。	
	※	
クランプ M 枠 (別売) 	ヨコ 100mm × タテ 100mm	
	細身のバッグなど、特殊な形状の素材 にワンポイント刺しゅうするときに使 います。	
	※	


台枠 E を使用する刺しゅう枠

刺しゅう枠の種類	縫製範囲	
	用途	
	参照ページ	
ネーム枠 	70 : ヨコ 70mm × タテ 41mm 50 : ヨコ 50mm × タテ 50mm 44 : ヨコ 44mm × タテ 38mm 縦向き : ヨコ 33mm × タテ 75mm	   
	小さな素材に刺しゅうするときなどに 使います。	
	P. 46	
マグネット枠 (別売) 	ヨコ 50mm × タテ 50mm	
	布に刺しゅう枠の跡を付けたくない ときなどに使います。	
	※	

台枠 F (別売) を使用する刺しゅう枠

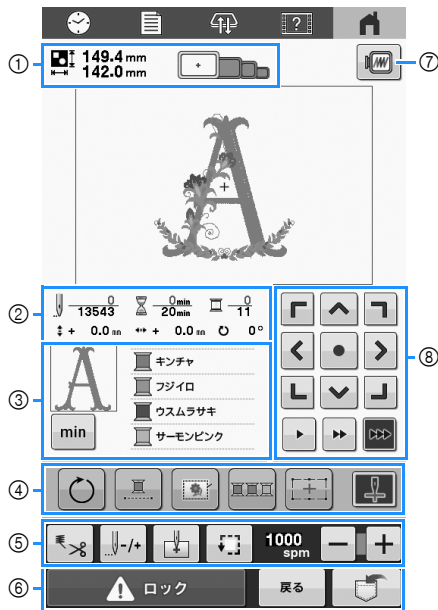
刺しゅう枠の種類	縫製範囲	
	用途	
	参照ページ	
マルチマグネット枠 (別売) 	ヨコ 180mm×タテ 130mm ヨコ 100mm×タテ 100mm	 
	いろいろな布地を簡単にしっかりと枠に固定することができます。	
	※	

台枠を使用しない刺しゅう枠

刺しゅう枠の種類	縫製範囲	
	用途	
	参照ページ	
帽子枠 2 (別売) 	ヨコ 130mm × タテ 60mm	
	帽子に刺しゅうをするときに使います。この枠で刺しゅうできる帽子は、野球(ゴルフ)帽、チューリップハット、バケツ帽です。サンバイザーや赤ちゃん用の帽子など、帽子の正面の高さが 50mm 以下のものには使えません。また、ヒサシが 80mm より大きい帽子にも使えません。	
	※	
帽子枠 F (別売) 	ヨコ 130mm × タテ 60mm	
	帽子に刺しゅうをするときに使います。帽子枠 2 に対応している帽子に加えて、平つば帽子や子供用帽子を刺しゅうすることができます。また、帽子枠 2 に比べてつばの際まで刺しゅうすることができます。	
	※	
マグネット原反枠 (別売) 	ヨコ 360mm × タテ 200mm (縫製範囲はヨコ 300mm×タテ 200mm)	
	文字や模様をつないで刺しゅうしたり、組み合わせたり、大きな刺しゅうをするときに使います。別売のワイドテーブルを取り付けて刺しゅうしてください。	
	※	
シリンダー枠 (別売) 	ヨコ 90mm × タテ 80mm	
	T シャツの袖やタートルネックなど、筒状の布地やカーブのある布地を刺しゅうするときに使います。	
	※	






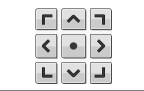
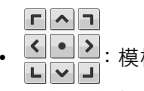

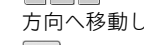

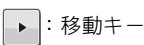
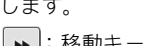
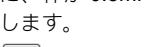
縫製設定

縫製画面の見方





番号	画面表示		説明	参照ページ
	名称			
①	149.4 mm 142.0 mm 大きさ		模様表示エリアに表示されている模様の大きさを示します。上段が縦、下段が横の長さです。複数の模様を組み合わせている場合は、すべての模様を含む全体の大きさを示しています。	—
	適応枠表示		模様表示エリアに表示されている模様をぬうことができる刺しゅう枠を示します。 [E OFF] が設定されているときは、刺しゅうの枠表示が変わります。(P. 80)	—
②	13543 針数		下段は模様の針数の総数、上段は現在ぬい終わった針数を示します。	—
	0 min 20 min 縫製時間		下段は模様をぬうのに必要な総所要時間、上段はぬい終わった時間を示します。	—
	11 ぬい順数		下段は模様の総色替え数、上段は現在ぬっている糸色の順番を示します。	—
	+ 0.0 mm 中心からの距離 (縦)		枠移動したときの縦の移動距離を示します。	—
	+ 0.0 mm 中心からの距離 (横)		枠移動したときの横の移動距離を示します。	—
	0° 回転角度		編集した模様全体を回転したときの回転角度を示します。	—


番号	画面表示		説明	参照ページ
	名称			
③	部分表示		ぬい順表示の1番上の糸色でぬわれる部分の形が表示されます。	—
	糸情報 (色/縫製時間)		糸色のぬい順表示を各糸色の縫製時間表示に変更します。	—
	ぬい順表示		糸色のぬい順を示します。縫製中はスクロールし、現在縫製している糸色が1番上に表示されます。表示は、糸色名または刺しゅう糸番号などに切り替えることができます。(P. 80)	—
④	回転キー		模様全体を回転することができます。	—
	連続刺しゅうキー		選択した模様を1色(単色)でぬいます。	P. 79
	しつけぬいキー		接着芯を貼り付けられない布地をぬうとき、模様のまわりにしつけぬいをして芯が動かないようにします。接着芯を使うと、ぬい目が縮んだり模様がずれたりするのを防ぐことができます。	P. 69
	カラーソートキー		組み合わせ模様の縫製順を糸色で並べ替えます。	P. 57
	十字レーザーキー		十字レーザーを使って、模様の位置合わせをすることができます。	P. 74
	十字レーザー切り替えキー		十字レーザーのオン/オフを切り替えます。	P. 57
	糸切りキー		自動糸切りまたは渡り糸切りの設定します。	P. 55
⑤	ぬい目戻る/進むキー		ぬい目を戻したり、進めたりすることができます。次のような場合に使います。 ・縫製の途中で糸が切れたり、なくなったとき ・始めからぬい直したいとき ・一旦電源を切ってから、続きをぬうとき	P. 66
	開始位置キー		縫製開始時の針位置を指定します。	P. 81
	ためしキー		針落ち位置が模様の外周を移動することで、ぬう位置を確認することができます。	P. 58

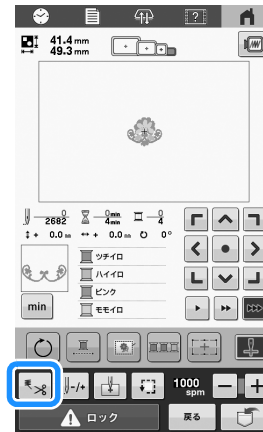
番号	画面表示	説明	参照ページ
	名称		
⑤		縫製最高速度を設定することができます。 ・ 薄い布地や厚い布地、重い布地は遅い速度に設定してください。 ・ メタリック糸のように弱い糸をお使いの場合は、縫製速度を 400 回転に設定してください。	P. 104
	縫製最高速度設定キー		
⑥		約 10 秒間、ミシンをスタートできる状態にします。押すと、スタート/ストップスイッチが緑色の点滅に替わります。	P. 64
	ロック解除キー		
		編集画面に戻ります。	—
⑦		模様をミシン本体や USB メディア、パソコンに記憶することができます。	P. 83
	記憶キー		
⑦		押すと、模様のイメージ画像が表示され、仕上がりイメージを見ることができます。	P. 43
	イメージキー		
⑧		 <ul style="list-style-type: none"> ・ : 模様を矢印の方向へ移動します。 ・ : 模様を中心に移動します。 	—
		枠の移動の速さを選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ : 移動キーを押すごとに、枠が 0.1mm ずつ移動します。 ・ : 移動キーを押すごとに、枠が 0.5mm ずつ移動します。 ・ : 移動キーを押し続けると、枠が最高速度で移動します。 	—


自動糸切り機能

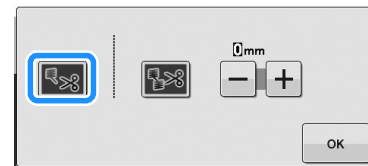
自動糸切り機能  は、ぬい終わりのところで自動的に糸を切ります。この機能はあらかじめ設定されています。

- ・ 電源を切ると、この機能は標準設定の  に戻ります。

1  を押します。




2  を押して自動糸切り機能を解除します。




→ キーの表示が  に変わります。

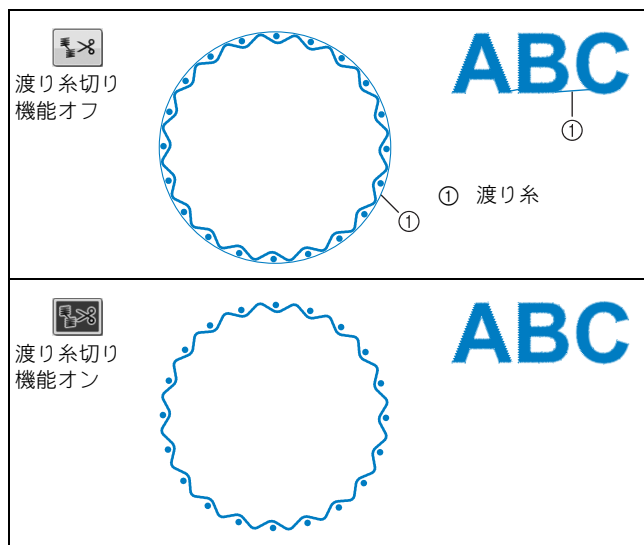
→ 1 色の糸をぬい終わると、ミシンは糸を切らずに停止します。


3  を押して、元の画面に戻ります。

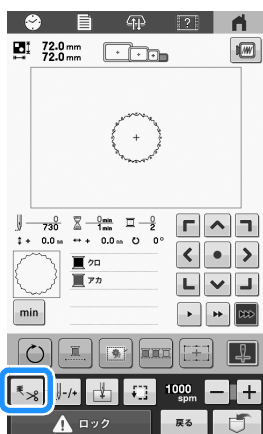
渡り糸切り機能


渡り糸切り機能  は、余分な渡り糸を自動的に切ります。この機能はあらかじめ設定されています。

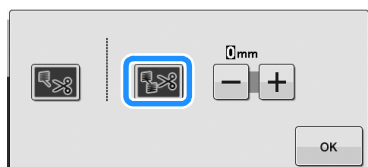
- 設定は、ミシンの電源を切っても保存されます。





- 1  を押します。




- 2  を押して渡り糸切り機能を解除します。





- キーの表示が  に変わります。
- ミシンは、次のぬい目に進む前に糸を切りません。


- 3  を押して、元の画面に戻ります。

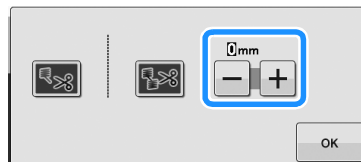
■ 渡り糸の長さを選ぶ

渡り糸切り機能  が設定されている場合、残しておく渡り糸の長さを選ぶことができます。

- 設定は、ミシンの電源を切っても保存されます。

 または  を押して、渡り糸の長さを選びます。

例： を押して 25mm を選ぶと、ミシンは次のぬい目に移動する前に、25mm 以下の渡り糸を切らずに残します。



📖 お知らせ





- 糸切りの多い模様の場合、布地の裏面に残る糸の量を減らすために、渡り糸の長さ調節を長めに設定することをお勧めします。
- 渡り糸の長さを選ぶ数値が大きければ大きいほど、糸を切る回数が減りますが、布地にはより多くの渡り糸が残ることになります。

■ タジマフォーマット (.dst) の刺しゅうデータを使用する場合

タジマフォーマット (.dst) の刺しゅうデータを使う場合は、ジャンプコード数の指定により糸切りする／しないを設定できます。

📖 お知らせ

- DST の設定は次に模様を読み込まれるときに反映されます。

- 1 渡り糸切り機能  が設定されていることを確認します。(P. 56)
- 2  を押して、設定画面の 1 ページを表示します。
- 3  または  で、ジャンプコード数を選びます。



- 例えば、3 が指定されると、連続した 3 つのジャンプコードは糸切りコードに変換されます。しかし、連続した 2 つのジャンプコードは糸切りコードに変換されず、渡り (ジャンプ) ぬいのようにぬわれます。

👁️ お願い

- タジマフォーマットのデータを作成したときと同じジャンプコード数を設定してください。ジャンプコード数が合っていないと、糸切りされないはずのところでされる、糸切りされるはずのところでされない、ということがあります。

糸色並べ替え




(P. 19) :
動画で使い方をご確認いただけます。

組み合わせ模様の糸色を並べ替えることで効率的に刺しゅうすることができます。

刺しゅうを始める前に、を押して縫製順を糸色で並べ替えます。



縫製色順が糸色で並べ替えられました。

糸色並べ替えをキャンセルして、縫製色順に刺しゅうするにはを押します。


お知らせ

- 糸色並べ替え機能は、模様重なっている場合は使用できません。

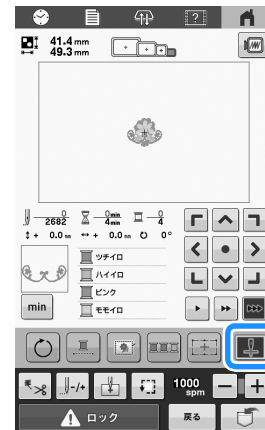
模様の位置を確認する

模様は通常刺しゅう枠の中心に配置されています。布地をお好みの場所に刺しゅうするために、配置を変えたい場合は、刺しゅうを始める前に位置を確認できます。

十字レーザーで針落ち位置を確認する

- 1 十字レーザー切り替えキーが (点灯) になっていることを確認します。

→ 十字レーザーが針落ち位置を示します。



- キーを1回押すごとに、切り替わります。



十字レーザー点灯



十字レーザー消灯

お知らせ

- 使用する刺しゅう枠の種類によっては、十字レーザー機能を使用することができません。
- 布地の表面が、あまりにでこぼこしていたり、ざらざらしている場合は、実際に縫製する前に十字レーザーと針落ちの位置関係を確認して調整してください。
- 帽子枠をお使いの場合は、実際に縫製する前に十字レーザーと針落ちの位置関係を確認して調整してください。
- 十字レーザー機能で縫製位置を合わせることができます。(P. 73)

■ 十字レーザーの明るさ調整をする

1 を押し、 または を押して、設定画面の 4 ページを表示します。

2 を押します。



→ 十字レーザーが点灯し、十字レーザーの明るさ調整画面が表示されます。



3 または を押して、十字レーザーの明るさを調整します。

4 を 2 回押して元の画面に戻ります。

刺しゅう模様の確認

(P. 19) :
動画で使い方をご確認いただけます。

キャリッジが動いて模様の位置を示します。刺しゅう枠の動きを見て、模様が正しい場所に刺しゅうされることを確認します。このとき、十字レーザー機能を使うと、模様の位置が布地に投影され、より正しく確認することができます。

1 十字レーザー切り替えキーが になっていることを確認します。

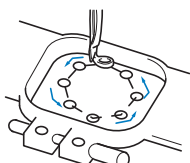
→ 十字レーザーが針落ち位置を示します。



2 を押します。



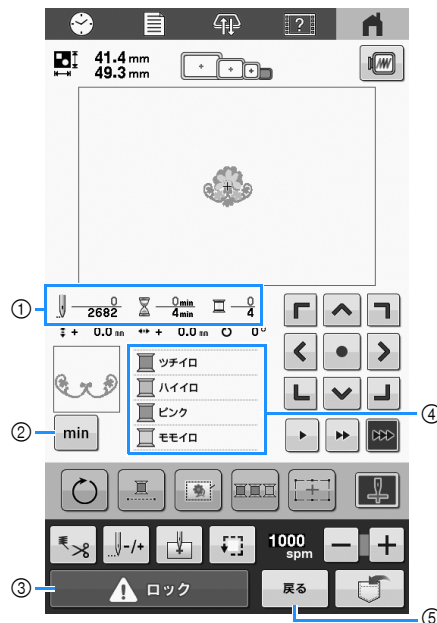
→ 刺しゅう枠が動いて、縫製範囲を示します。



刺しゅう枠の動きをよく見て、刺しゅうしたい場所とずれていないか、刺しゅう枠が押えに当たらないか確認してください。

上糸をセットする

縫製画面では糸色の確認のほかに、総針数や縫製時間などの確認や、縫製に関する設定ができます。(P. 54)



- ① 針数、縫製時間、色替え数を示します。
- ② 各糸色の縫製時間を表示させます。もう一度押すと、糸色表示に戻ります。
- ③ ミシンをスタートするときや糸切りを行うとき、このキーを押してミシンロックを解除してから、スタート/ストップスイッチや糸切りスイッチを押します。
- ④ 糸色のぬい順、または各糸色の縫製時間を示します。
- ⑤ 編集画面に戻ります。

⚠ 注意

- 縫製画面で ロック (ロック解除キー) を押すと、スタート/ストップスイッチが緑色の点滅に変わり、ミシンはスタートできる状態になります。上糸をかけているときや針穴に糸を通していているときは、誤ってミシンを作動しないよう注意してください。けがの原因になります。

上糸をかける

⚠ 注意

- 上糸通しは手順に従って、正しく行ってください。糸が正しく通されていない場合、糸がからんで針が折れ、けがをするおそれがあります。

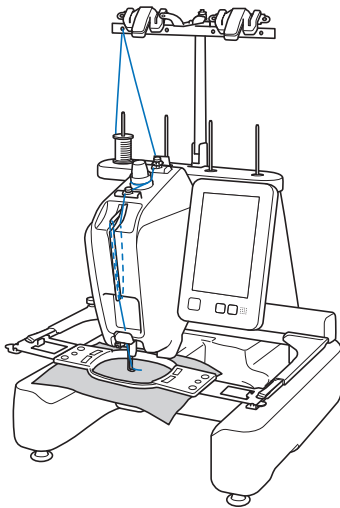


(P. 19) :
動画で使い方をご確認いただけます。

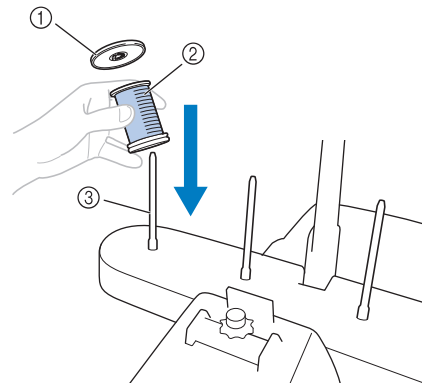
刺しゅう用の糸を使用し、針に糸をかけます。

🔍 お願い

- 糸は、刺しゅう用のレーヨン糸またはポリエステル糸（50番）を使用してください。
- 糸によっては、糸切れ、糸調子不良が発生する場合があります。そのような場合は、糸を交換してください。
- 上糸を通す順番は、ミシン本体に線（-）で示されています。そちらも併せて見ながら糸を通してください。

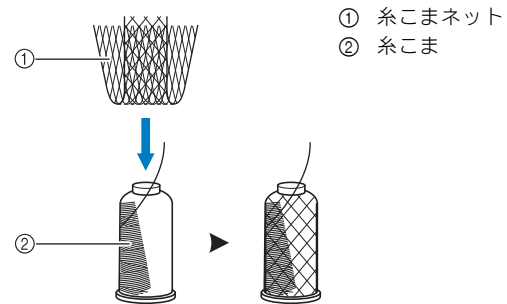


- 1 1色目の糸こまを4つの糸立棒のいずれかに立てます。糸こまを安定させるため、糸こまの上に糸こま押えを取り付けます。

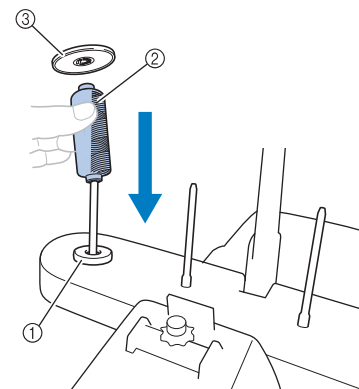


- ① 糸こま押え
- ② 糸こま
- ③ 糸立棒

- メタリック糸のようなほげやすい糸を使用する場合、付属の糸こまネットを糸こまに取り付けてください。糸こまネットが長すぎる場合は、糸こまに取り付ける前に、一度糸こまのサイズに合わせて折り曲げてください。また、糸こまネットを使用するときは、糸調子の調整が必要になる場合があります。

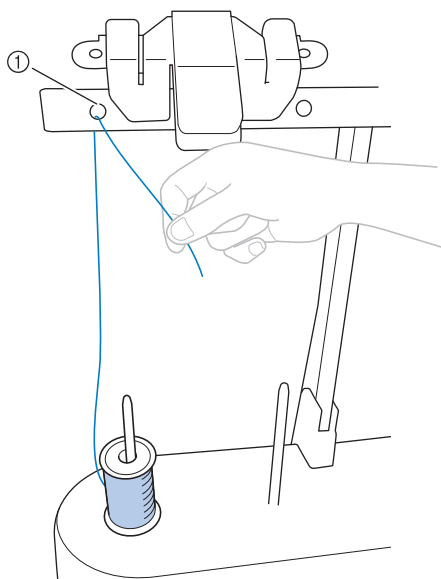


- 小さい糸こまを使用する場合、糸立棒に糸こまを立てる前に、付属の糸こまフェルトを糸立棒に取り付けてください。



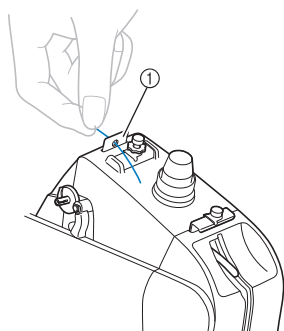
- ① 糸こまフェルト
- ② 小さい糸こま
- ③ 糸こま押え

- 2** 糸こまの上にある糸案内の穴に、後方から手前に向かって糸を通します。



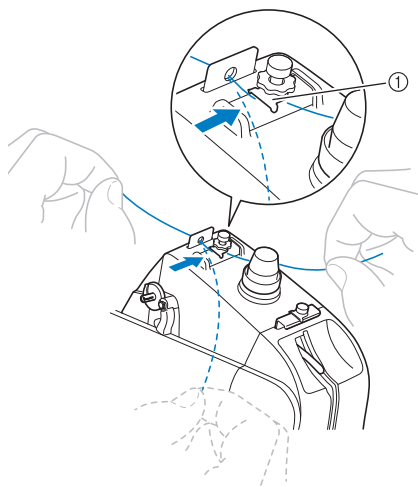
① 糸こまの上にある、糸案内の穴

- 3** 糸案内の前面の穴に、手前に向かって糸を通します。



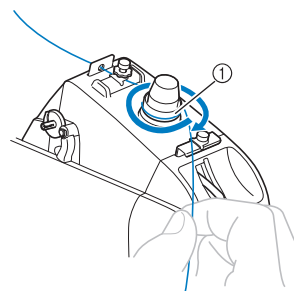
① 糸案内の前面の穴

- 4** 糸を両手で持ち、糸道上の案内プレートの下に左側から右側へ糸を通します。

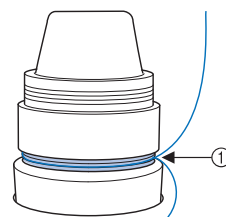


① 案内プレート

- 5** 回転調子皿に、糸を右回りに1回巻つけます。

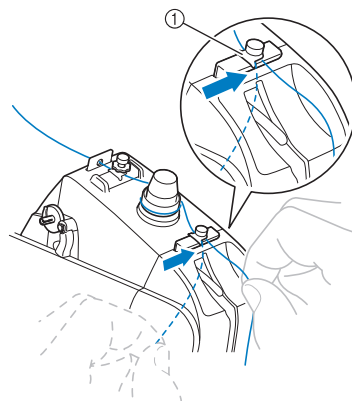


- ① 回転調子皿
● 糸が回転調子皿にきちんとかかっていることを確認してください。



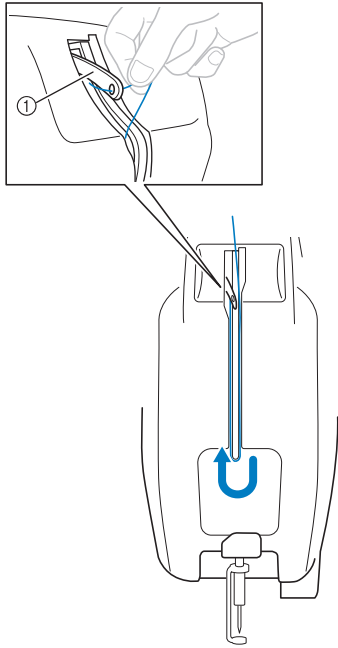
① ここを通っていること

- 6** 糸道中の案内プレートの下に、糸を左側から通します。



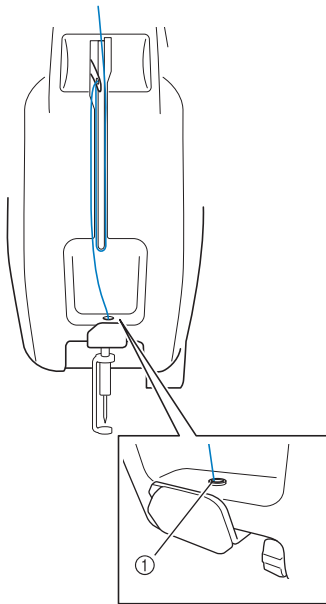
① 案内プレート

- 7 ミゾに沿って糸を通し、てんびんの穴へ右から通します。



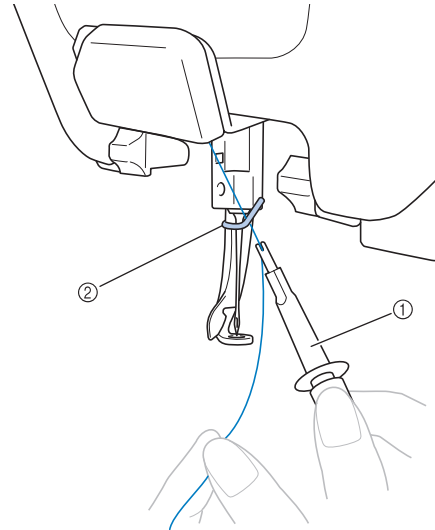
① てんびん

- 8 ミゾに沿って糸を引き、糸道下の穴に通します。



① 糸道下の穴

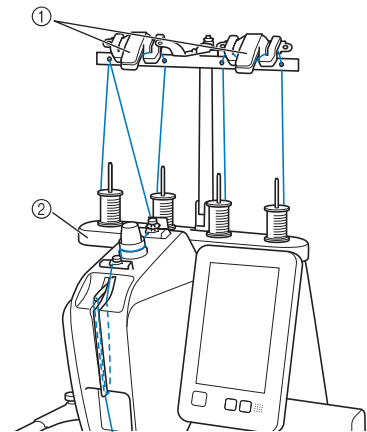
- 9 付属の針交換ツール①を使って、針棒糸かけ②に糸をかけます。



- ① 針交換ツール
② 針棒糸かけ

お知らせ

- 次の糸色交換に備えて、糸立台に糸こまを4本まで準備することができます。糸切り糸かけに糸をかけると、次の糸色へスムーズに交換できます。



- ① 糸切り糸かけ
② 糸立台

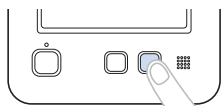
糸を針穴に通す

自動針穴糸通し装置を使って、糸を通します。

重要

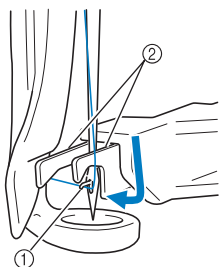
- 9番以下の細い針を使用するときは、手で針に糸を通してください。自動糸通し装置を使用すると、フックが破損するおそれがあります。
- 針が正確に取り付けられていないと、自動針穴糸通し装置を使って糸を通すときに、フックが針穴に入ることができず、フックが折れるなどして針に糸を通すことができません。
- 自動針穴糸通し装置のフックが破損して、糸通しができなくなったとき、お客様ご自身で交換することができます。(P. 96)
- 自動針穴糸通し装置のフックが針穴に入っているときは、絶対にプーリーを回さないでください。自動針穴糸通し装置が破損することがあります。プーリーを回してしまった場合は、破損をさけるため、自動針穴糸通し装置が最初の位置に戻ることがあります。

- 1 自動針穴糸通しスイッチを押します。



→ 自動針穴糸通し装置のフックが針穴に入ります。

- 2 糸を 15cm ほど引き出します。図のように、糸を右側から自動針穴糸通し装置のふたまた部へ通して、針穴から出ているフックに引っかけます。

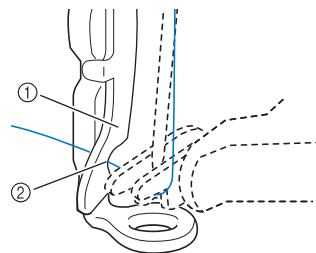


- ① フック
② ふたまた部

🔔 お願い

- フックに引っかけるときに、糸がたるまないよう注意してください。

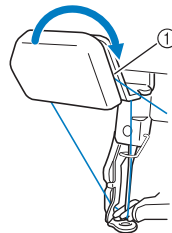
- 3 押えの糸かけに糸を引っかけます。



- ① 押えの糸かけ
② 押えの糸かけのミゾ

- 押えの糸かけのミゾに、確実に糸がかかっていることを確認してください。

- 4 糸切り糸かけのミゾにしっかりと糸を通し、糸を軽く引っ張って切ります。



- ① 糸切り糸かけのミゾ

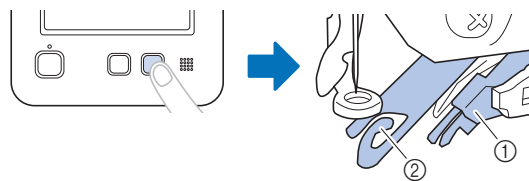
🔔 お願い

- 糸が、糸切り糸かけのミゾを正しく通っていないと [ワイパーエラー] 画面が表示され、針穴に糸を通すことができません。ミゾにしっかりと糸を通してください。
- 糸を十分に引き出してください。糸が十分に引き出されていないと、糸切り糸かけに引っかかりません。

📄 お知らせ

- 糸通しが使用されたときや縫製中に糸が切れたときは、ワイパーが糸を引き戻します。

- 5 自動針穴糸通しスイッチを押します。



- ① 自動針穴糸通し装置
② ワイパー

- 糸通しが針から後ろへ下がります。針穴を糸が通り、糸通しが後ろで待機します。
- ワイパーが出て、針と糸通しの間の糸をつかみまします。
- 糸通しが元の位置に戻ります。

これで、上糸がセットできました。

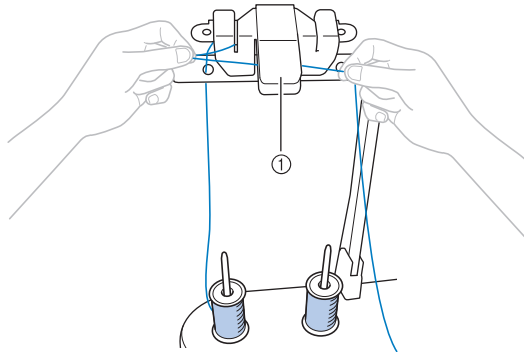
🔔 お願い

- 糸だるみがあると、回転調子皿から糸が外れていることがあります。糸をかけ終わったら、回転調子皿にきちんと糸がかかっているか、再度確認してください。(P. 60 手順 5)

簡単な糸こま交換のしかた

糸こまを交換するときは上糸のかけ直しが必要になります。糸が正しくかけられている糸こまを交換する場合は、簡単に交換できる方法があります。

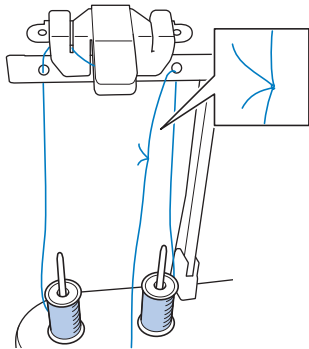
- 1 糸こまと糸案内の間で糸を切ります。



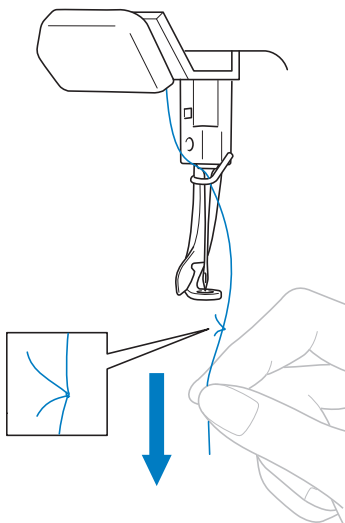
① 糸切り

- 2 糸こまを交換します。

- 3 糸の端に、交換後の糸こまの糸を結び付けます。



- 4 糸道下の穴の下と針棒糸かけの間で、糸を引っ張ります。



糸の結び目が針の下に来るまで、引っ張ります。結び目を切ります。

- 5 糸を針棒糸かけに通し、自動針穴糸通し装置を使って針に通します。(P. 62)

→ これで糸こま交換が完了しました。

重要

- 糸を引くときに、針穴に通した先では引かないでください。結び目が針穴を通ると、針が損傷するおそれがあります。

刺しゅうをぬう

それでは、ぬってみましょう。
ミシンをスタートすると、自動的に押えが下がり、ぬい始め・ぬい終わりの糸の処理や糸替えをしながら縫製し、ぬい終わると止まります。

⚠ 注意

- 縫製中は、針の動きに十分注意してください。また、針、てんびん、キャリッジなどすべての動いている部品に手を近づけないでください。けがの原因となります。


重要

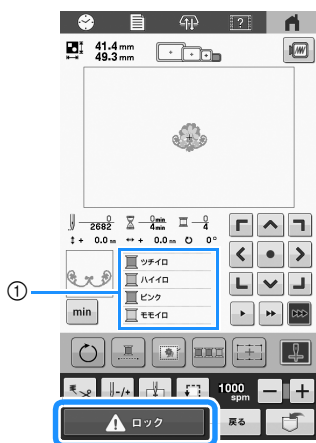
- 刺しゅうの重ねぬいは、針が布地にささりにくくなり、針が折れたり、曲がったりするおそれがありますのでご注意ください。

ミシンをスタートする

🔔 お願い

- 刺しゅう枠が動く範囲に、ものを置かないようにしてください。刺しゅう枠が当たり、模様くずれの原因となります。
- 大きな布地に刺しゅうするときは、布地がキャリッジに巻き込まれないように注意してください。

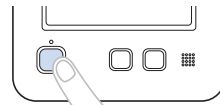
- 1  ロック を押し、ミシンロックを解除します。



- ① 現在縫製中あるいはすぐ後に縫製される糸色が、ぬい順表示の先頭に表示されます。残りの糸色は、ぬい順に上から並んで表示されます。
→ スタート/ストップスイッチが赤色の点灯（ロック状態）から緑色の点滅（ロック解除状態）に変わり、ミシンをスタートできる状態になります。
- ロック解除後、約 10 秒以内にスタート/ストップスイッチを押さないと、ミシンはロック状態に戻ります。

- 2 スタート/ストップスイッチを押します。

スタート/ストップスイッチが緑色に点滅している間に押します。赤色の点灯に戻ってしまった場合は、手順 ① からやり直してください。



→ スタート/ストップスイッチが緑色の点灯に変わり、1色目をぬい始めます。

- 縫製中は、模様表示エリアの緑色の十マークが現在ぬっているぬい目を示します。また、針数、時間はカウントされていきます。

- 3 1色目がぬい終わると、自動的に止まって糸を切りま


- 4 1色目の糸を取り外します。

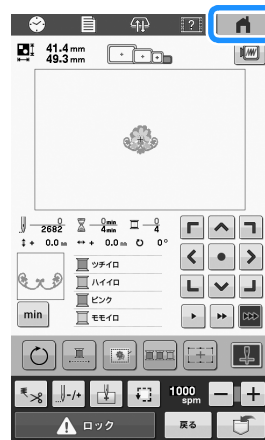
- 5 2色目の糸をセットし、同じ手順でぬいます。同様に最後の色までぬい、ぬい終わると自動的に止ま

ります。
→ スタート/ストップスイッチは、赤色の点灯に変わります。

- ぬい始めやぬい終わりの糸の処理は、必要ありません。

■ 続けて刺しゅうをするときは

新しい模様を選びたい場合は  を押します。



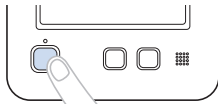
→ 模様選択画面が表示されます。

途中でミシンをストップするには

縫製中にミシンをストップすることができます。

■ 一時停止する

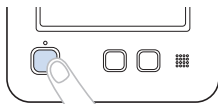
- 1 スタート/ストップスイッチを押します。



- ミシンが止まり、スタート/ストップスイッチが赤色の点灯に変わります。
- 模様が表示されているエリアを押しても、縫製をストップすることができます。
 - 自動糸切りはされません。
 - 続きをぬうときは、上糸がたるんでいないか確認をしてから、**ロック** を押し、スタート/ストップスイッチを押します。

■ 一旦電源を切ってから続きをぬう

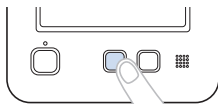
- 1 スタート/ストップスイッチを押します。



- ミシンが止まり、スタート/ストップスイッチが赤色の点灯に変わります。
- 糸は切れていません。

- 2 **ロック** を押し、ミシンロックを解除します。

- 3 糸切りスイッチを押します。



- 上糸と下糸が切れます。
- 一旦電源スイッチを切る場合は、必ず糸を切ってください。

- 4 電源スイッチの「O」側を押し、電源を切ります。

- 画面表示とスタート/ストップスイッチの点灯が消えます。
- 次に電源スイッチを入れたとき、続きからぬうことができます。ただし、ぬい目を少し戻す必要があります。(P. 67)

■ 途中で糸が切れてしまったら

糸切れなどの不具合が発生すると、ミシンは自動的に止まります。

切れた糸をセットし直し、ぬい目を戻し、続きをぬいます。(P. 66)

刺しゅう枠を外す

⚠ 注意

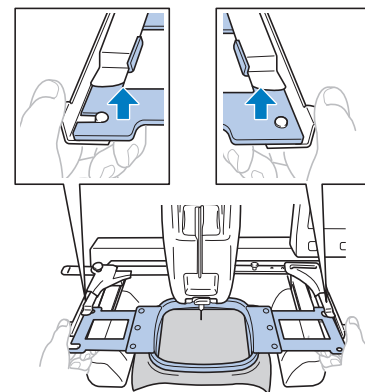
- 刺しゅう枠を外すときは、スタート/ストップスイッチが赤色で点灯していることを確認してから行ってください。スタート/ストップスイッチが緑色で点滅しているときは、ミシンはスタートできる状態です。誤ってミシンが作動すると、けがの原因となります。

重要

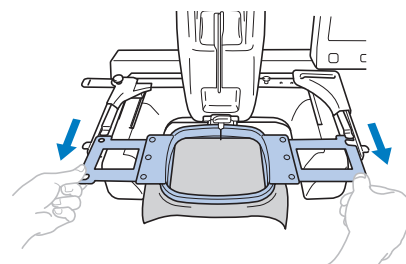
- 刺しゅう枠を外すときは、刺しゅう枠がミシンの各部品に当たらないように注意してください。
- 台枠を無理に持ち上げないでください。破損の原因となります。

- 1 刺しゅう枠の左右の取付部を両手で持ち上げ、少し浮かせます。

取付部の穴を台枠のアームのピンから外します。




- 2 そのまま、刺しゅう枠を手前に引いて取り外します。



→ 布地を刺しゅう枠から外します。

刺しゅう時の調整

途中で糸が切れた／下糸がなくなったときは

 (P. 19) :
動画で使い方をご確認いただけます。


縫製の途中で糸が切れたり、下糸がなくなったりしたときは、ミシンは自動的に止まります。何針か空ぬいがされてしまいますので、停止前にぬわれた部分と少し重なるようにぬい目を戻してから続きをぬいます。

🔍 お願い

- [上糸・下糸センサー] が [OFF] になっていると、刺しゅうが終わるまでミシンは止まりません。通常は、[上糸・下糸センサー] を [ON] にしてお使いください。
- ぬい目を戻したり、進めたりするときは、枠が動きますので注意してください。



■ 上糸が切れたとき

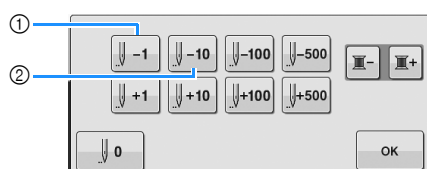
1 上糸をかけ直します。(P. 59)

2  を押します。



→ ぬい目戻る／進む画面が表示されます。



3  や  を押して、確実にぬわれている部分と少し重なるところまでぬい目を戻します。

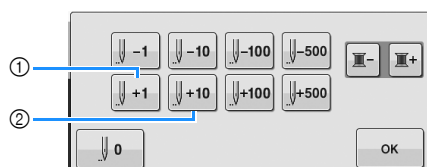


- ① 1回押すごとに1針ずつ戻ります。
- ② 1回押すごとに10針ずつ戻ります。

🔍 お願い

- 確実にぬい目をつなげるために、ぬわれている部分の最後ぬい目の2、3針前のぬい目からぬい始めてください。


戻しすぎてしまったときは、 や  を押して、ぬい目を進めます。




- ① 1回押すごとに1針ずつ進みます。
- ② 1回押すごとに10針ずつ進みます。

4  を押します。

→ 縫製画面に戻ります。

5  を押し、スタート/ストップスイッチを押して続きをぬいます。

■ 下糸が切れた／なくなったとき

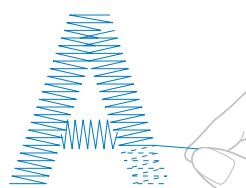
1 画面の  を押し、ミシンロックを解除した後に、糸切りスイッチを押します。



→ 上糸が切れます。

2 空ぬいされている上糸を取り除きます。

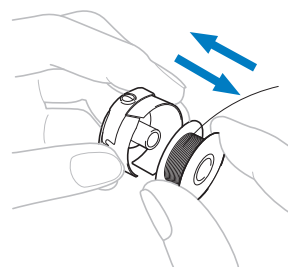
上糸の切れ端を引っ張ります。



- きれいに取り除けない場合は、はさみで切ってください。

■ 下糸がなくなった場合は、ここでボビンを交換します。

3 下糸が巻かれたボビンと交換します。(P. 21)



- 釜力バーを開けることができれば、刺しゅう枠を外さずにボビンを交換できます。
- 袋状の布地などがミシンベッドを覆っていて、釜力バーを開けることができない場合は、ここで一旦刺しゅう枠を外します。(P. 65) ボビンを交換した後、刺しゅう枠をセットします。(P. 49)

🔍 お願い

縫製の途中で刺しゅう枠を外す場合は、次のことに注意してください。模様くずれの原因となります。

- 張られている布地に無理な力をかけて布地をたるませない。
- 刺しゅう枠を外したり、セットしたりする際は、キャリッジや押えに当たらないようにする。キャリッジに当たってキャリッジが動いてしまった場合は、電源を入れ直してください。ミシンを止めたときの状態をミシンが記憶しており、正しい位置に戻ります。
- 刺しゅう枠をセットしたときは、台枠の左右のアームのピンが刺しゅう枠の取付部の穴にきちんとはまっているか確認する。

4 P.66「上糸が切れたとき」の手順 ② ~ ⑤ と同様にぬい目を戻して、続きをぬいます。

始めまたは途中からぬいたいときは

ぬってみて糸調子があっていなかったり、糸色をまちがえてしまったりしたときなど、始めからぬい直したいときはぬい目を戻してから新たにぬい直します。また、糸色・ぬい目を進めたり、戻したりして、ぬい始めたい糸色のぬい目からぬうことができます。

🔍 お願ひ

- ぬい目を戻したり、進めたりするときは、枠が動きますので注意してください。

- 1 スタート/ストップスイッチを押して、ミシンを止めます。



- 必要に応じて、布地を張り替えたり、ぬった刺しゅう部分をはさみで取り除いたりします。

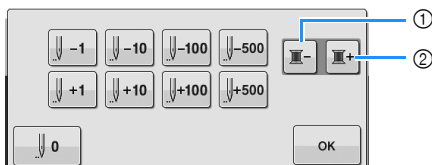
- 2 を押します。



→ ぬい目戻る／進む画面が表示されます。

- 3 を押して糸替え順の糸色部分を、、 を押してぬい目を指定します。

- を押すと始めからぬい直します。



- 1 1回押しと、そのときぬっていた色部分のぬい始めに戻ります。2回目から、1回押しごとに1色ずつ前の色部分のぬい始め位置に戻ります。

- 2 1回押しごとに次の色部分のぬい始め位置に進みます。

→ 刺しゅう枠が動いて指定された針位置を示します。針棒が縫製位置に移動します。

- 4 ぬい始めのぬい目が指定できたら、 を押します。
→ 縫製画面に戻ります。

- 5 を押し、スタート/ストップスイッチを押してぬいます。

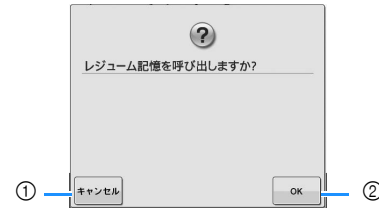
→ 指定したところからぬい始めます。

停止後、途中からぬうときは

次のようなときは、ぬい終わったところまでのぬい目をミシンが記憶しています。

- **縫製終了前に電源スイッチを切るとき**
電源を入れキャリッジが初期設定の位置に移動したときに、糸が引っ張られたり、引っかかりたりしないよう、電源を切る前に糸を切っておきます。
- **縫製中に停電などで電源が切れたとき**
次に電源を入れたときに続きからぬうことができますが、ぬい目を少し戻してからぬい始めます。

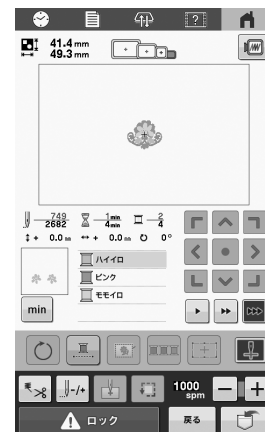
次にミシンに電源を入れると、中断された操作を続けるか模様を消去するかを選ぶことができます。



- ① 押すと、縫製をキャンセルして、新しい模様を選ぶ画面が表示されます。

- ② 続きをぬうときに押します。

→ 前回電源を切ったときの縫製画面が表示されます。



🔍 お願ひ

- 針落ち位置を正しく合わせるために、必要に応じて、ぬい目を進めたり、戻したりしてください。

第3章 いろいろな機能




さまざまな刺しゅうの機能

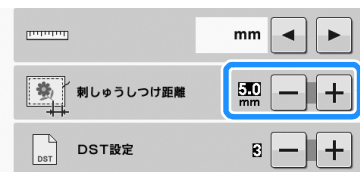
刺しゅうのしつけぬい

接着芯を貼り付けられないような布地をぬうとき、模様のみまわりにしつけぬいをして芯が動かないようにします。接着芯を使うと、ぬい目の縮みや模様のずれが少なくなり、刺しゅうがきれいに仕上がります。

🔔 お願い



- 模様の組み合わせや編集が終わった後で、しつけぬいを設定してください。しつけぬい設定をした後で、模様を組み合わせたり編集したりすると、縫製後に模様の下にしつけぬいがされてしまい、しつけ糸を外すのが難しくなります。

- 1  を押して、設定画面の1ページを表示します。
- 2  または  を押して、しつけぬいと模様の距離を設定します。





📄 お知らせ


- 設定値が大きいほど、しつけぬいと模様の間は広がります。
- ミシンの電源を切った後も設定は保持されます。

- 3  を押して、縫製画面に戻ります。
- 4  を押して、しつけぬいを設定します。

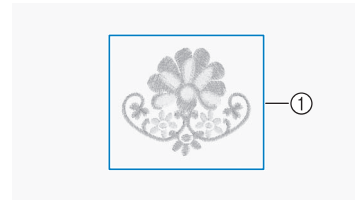


🔔 お願い

-  を押すと、模様が画面の中央に移動します。しつけぬいを設定してから、模様をお好みの位置に移動してください。
-  を押すと、設定が解除されます。
→ しつけぬいはぬい順の最初にきます。

- 5  を押し、スタート/ストップスイッチを押してぬいます。

- 6 刺しゅうが終わったら、しつけぬいを外します。





① しつけぬい

アップリケ模様のぬい方

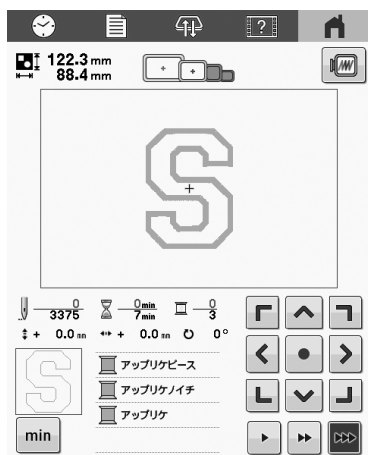
刺しゅうの中にはアップリケを使用した模様があります。糸替え表示に [アップリケピース]、[アップリケノイチ]、[アップリケ] と表示された場合は、以下の手順でアップリケをします。

* 糸色表示設定によっては、以下のように表示されることがあります。

 (アップリケピース)

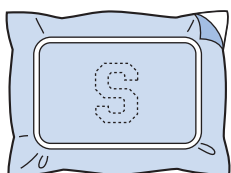
 (アップリケノイチ)

 (アップリケ)

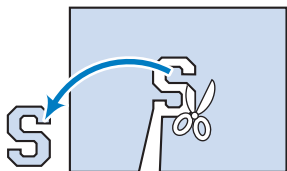


■ アップリケの手順

- 1 アップリケをしたい布地の裏側に、接着芯を貼ります。
- 2 手順 1 のアップリケ布を刺しゅう枠に張り、[アップリケピース] をぬいます。アップリケピースの切り取り線をぬってミシンは止まります。



- 3 刺しゅう枠からアップリケ布を外し、ぬい目の上をていねいに切り取ります。

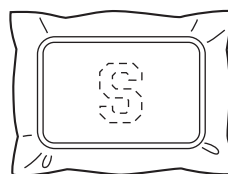


💡 お願い

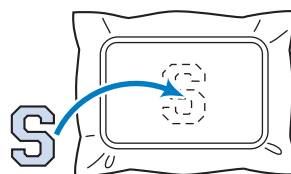
- このときぬい目よりも内側を切ると、アップリケをするときに布地に糸がかからなくなりますので、ぬい目の上をていねいに切ってください。この作業をていねいに行わないと仕上がりが汚くなります。また、糸はきれいに取り除いてください。

- 4 アップリケの土台になる布地の裏側に接着芯を貼ります。

- 5 アップリケの土台布を刺しゅう枠に張り、[アップリケノイチ] をぬいます。アップリケの位置をぬって、ミシンは止まります。



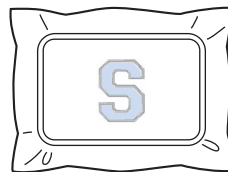
- 6 切り取ったアップリケピースの裏側に、のりまたはスプレーのりを薄く付け、手順 5 でぬったアップリケの位置に合わせて貼り付けます。



💡 お願い

- 土台用の布にアップリケピースを接着するときは、刺しゅう枠から布地を外さないでください。

- 7 アップリケピースを貼り付けたら、[アップリケ] をぬいます。アップリケができます。



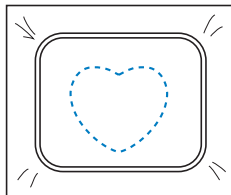
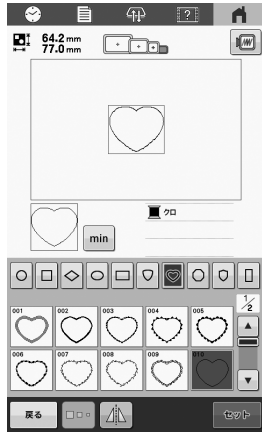
📄 お知らせ

- 模様によっては、[アップリケ] が表示されないものがあります。この場合、[アップリケ] ぬいは、刺しゅうの 1 部分として糸色で表示され、その糸色でぬわれます。

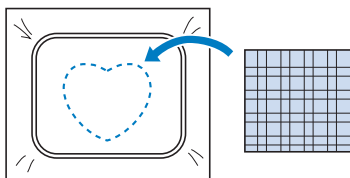
枠模様を使ってアップリケするには

次の方法では布地を張り替える必要がありません。同じ形で同じ大きさの直線ぬいとサテンぬいの枠模様を使ってアップリケをします。

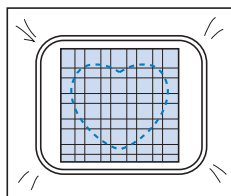
- 1 直線ぬいの枠模様を選び、土台布に刺しゅうをします。



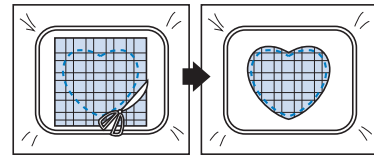
- 2 手順 1 の刺しゅうの上にアップリケ布を置きます。このとき、アップリケ布はぬい目より大きいものにしてください。



- 3 アップリケ布の上からもう 1 度、同じ枠模様を刺しゅうします。



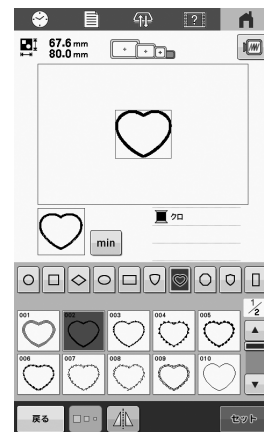
- 4 刺しゅう枠を外し、ぬい目の外側を切り取ります。



お願い

- 布地は刺しゅう枠にはめたまま、切ってください。また、張られている布地に無理な力をかけると、布地がたるんでしまうので注意してください。

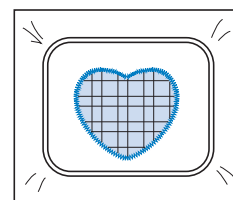
- 5 同じ形のサテンぬいの枠模様を選びます。



お願い

- 直線ぬいの枠模様を選んだときに、大きさや模様を変えた場合は、サテンぬいの枠模様も同じ大きさ、同じ模様になるように変えてください。

- 6 手順 4 の刺しゅう枠をセットし、刺しゅうをするとアップリケができます。



刺しゅう用ウレタンフォームを使って、3Dフォントを刺しゅうする



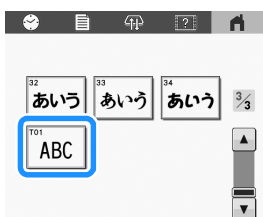
(P. 19) :
動画で使い方をご確認いただけます。

🔔 お願い

- 厚みが3mm以下の刺しゅう用ウレタンフォームをお使いください。

1 **AA**を押します。

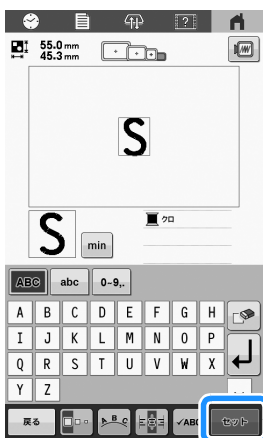
2 3Dフォントキーを押します。



3 文字の種類を選び、文字を選びます。(P. 30)




4 **セット**を押します。



→ 編集画面が表示されます。

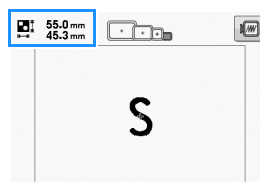
5 P.26「刺しゅう模様を選ぶ」の手順 4 から 7 に従って操作します。

🔔 お願い

- 模様のまわりにしつけぬいをして、ウレタンフォームをよりしっかり固定して刺しゅうすることもできます。手順 5 まで進めたあとで、キーを押します。しつけぬいを追加したあとは、手順 6 以降に従って、刺しゅうしてください。

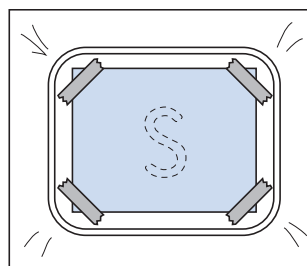
6 3Dフォント模様より大きくなるように刺しゅう用ウレタンフォームを切ります。

- 刺しゅう用ウレタンフォームの大きさは画面の模様サイズを参考にして、少し余裕をもって切ってください。



7 刺しゅう用ウレタンフォームをテープで固定します。

- 模様の上にテープを貼らないでください。
- 縫製中にウレタンフォームがずれないようにしっかりとテープで固定してください。

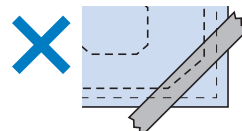


8 模様がウレタンフォームからはみ出していないか、

を押して模様の位置を確認します。(P. 58)

🔔 お願い

- 模様の上にテープを貼らないでください。



9 **ロック**を押し、スタート/ストップスイッチを押してぬいます。

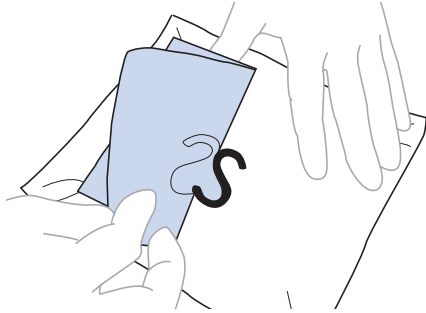
🔔 お願い

- 糸調子は、下糸を強め (P. 77)、上糸を弱め (P. 78) に調整してください。上糸が強いと下糸が表側に出てきて、刺しゅうがうまく仕上がりにません。

10 刺しゅうが終わったら、刺しゅう用ウレタンフォームを固定していたテープを取ります。

11 模様のまわりの余分なウレタンフォームを取り除きます。

- 糸を引っ張ると表側に糸のループができたりして仕上がりが汚くなるので、ていねいに取り除いてください。

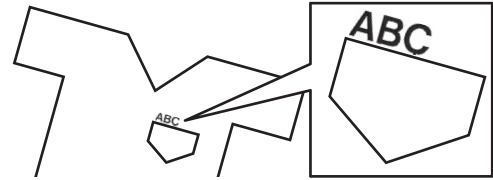


お願い

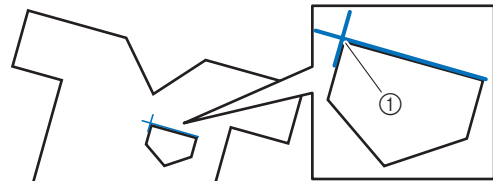
- 糸のすき間からウレタンフォームがはみ出ている場合は、アイロンで熱を加えるとウレタンフォームが縮んで仕上がりがよくなります。スチームアイロンで、刺しゅうをつぶさないようにスチームを当てます。スチーム機能がないアイロンの場合は、刺しゅうに直接触れないように、少し離して熱を加えます。
- アイロンの温度が高すぎると、糸や生地が溶ける場合があります。

十字レーザー機能を使って縫製位置を合わせる

十字レーザー機能を使うと、簡単に縫製位置を合わせることができます。下図のような、位置合わせが必要な場所へ刺しゅうする場合に便利です。



- 1** チャコペンで刺しゅうをしたい位置に印を付けます。印の基準方向となる線は長めに引くようにします。

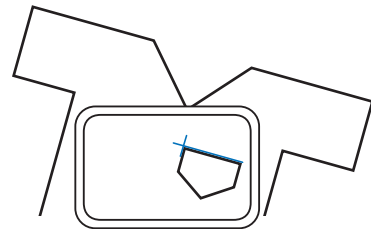


① 印

お知らせ

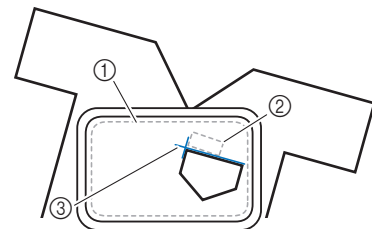
- ポケットに沿って刺しゅうする場合など、模様的位置合わせをしたい場所がはっきりしている場合は、チャコペンで印を付ける必要はありません。

- 2** 刺しゅう枠に布地を張ります。



お願い

- 刺しゅう枠に布地を張るときは、模様が使用されている刺しゅう枠の縫製範囲に収まっていることを確認してください。



- ① 縫製範囲
- ② 模様大きさ
- ③ 印

- 3** 模様を選びます。

- 4** **縫製** を押して、縫製画面に進みます。


5 縫製画面でを押します。



① 十字レーザーのオン/オフを切り替えます。

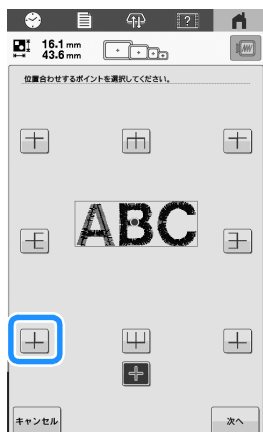
お知らせ

- 十字レーザーを照射させると、針落ち位置を示すことができます。
- 使用する刺しゅう枠の種類によっては、十字レーザー機能を使用することができません。
- 布地の表面が、あまりにでこぼこしていたり、ざらざらしている場合は、実際に縫製する前に十字レーザーと針落ちの位置関係を確認して調整してください。
- 帽子枠をお使いの場合は、実際に縫製する前に十字レーザーと針落ちの位置関係を確認して調整してください。

6 移動や回転が元に戻るメッセージが表示されたら、を押します。

7 画面に表示された基準点から、模様的位置合わせに使う基準点を選んで押します。

ここでは、模様の左下の点を選びます。



お知らせ

- 十字レーザーの設定が [OFF] になっていても、模様的位置決め設定を行うために十字レーザーが照射されます。位置決め設定が終わると、十字レーザーは消灯します。
- 十字レーザーの照射を見やすくするため、針もとライトの明るさ設定が高い場合は、ライトは少し暗くなります。


8 を押します。

9 模様的位置合わせに使う基準点からの基準方向を選んで押します。

ここでは、右方向を基準方向として選びます。

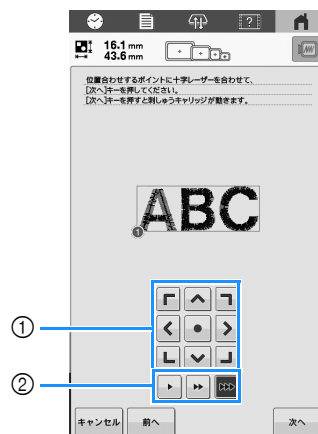


- ① 模様的位置合わせ設定をとりやめます。
- ② 1つ前の画面に戻ります。

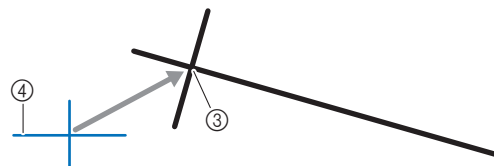
10 を押します。

11 十字レーザーの照射位置と印の中心が合うように移動キーを押して、刺しゅう枠を移動します。

枠移動速度キーを押すと、移動の速さを選択できます。微調整が難しいときは、枠移動速度キーの速度を下げてください。



- ① 移動キー
- ② 枠移動速度キー

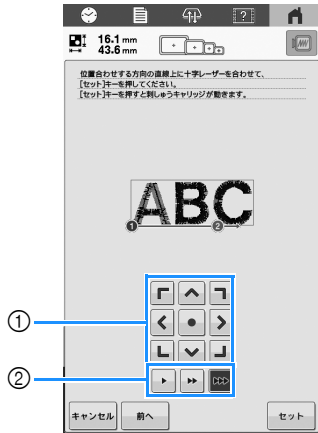


- ③ 印の中心
- ④ 十字レーザー

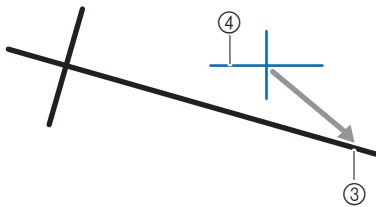
12 を押します。

13 十字レーザーの照射位置が印の基準方向に合うように移動キーを押して、刺しゅう枠を移動します。

枠移動速度キーを押すと、移動の速さを選択できます。微調整が難しいときは、枠移動速度キーの速度を下げてください。



- ① 移動キー
- ② 枠移動速度キー



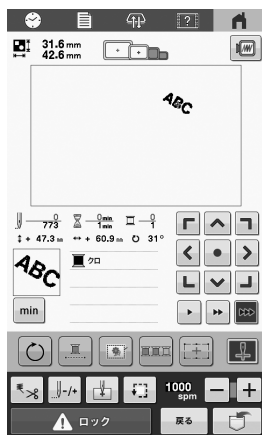
- ③ 印の基準方向
- ④ 十字レーザー

お願い

- 十字レーザーの照射位置は印の中心から近すぎない位置に設定してください。近すぎる位置に設定した場合は、再度位置決めをするメッセージが表示されます。
- 模様位置合わせの精度を高くするには、印の中心からできるかぎり離れた基準方向の線上 (③) に十字レーザーの照射位置を合わせてください。

14 **セット** を押します。

→ 模様の変更位置が変更されます。

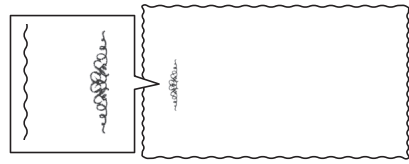


15 **ロック** を押し、スタート/ストップスイッチを押してぬいます。

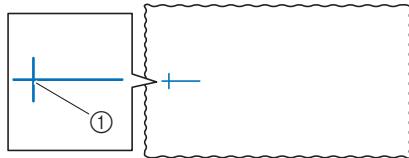
■ 他の模様に応用する

基準点と方向を設定することで、模様の配置や位置合わせに応用することができます。

次の例では模様をタオルの左中央に配置しています。

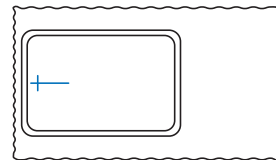


1 チャコペンで刺しゅうをしたい位置に印を付けます。印の基準方向となる線は長めに引くようにします。



① 印

2 刺しゅう枠に布地を張ります。



3 模様を選びます。

4 **縫製** を押して、縫製画面に進みます。

5 縫製画面で **+** を押します。

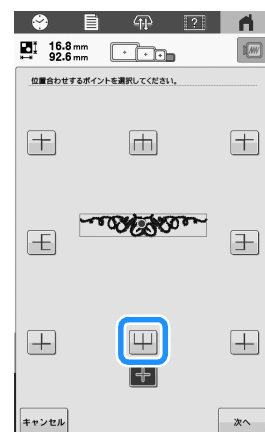


① 十字レーザーのオン/オフを切り替えます。

6 移動や回転が元に戻るメッセージが表示されたら、**OK** を押します。

7 画面に表示された基準点から、模様的位置合わせに使う基準点を選んで押します。

ここでは、模様の下中央の点を選びます。



8 次へ を押します。

9 模様的位置合わせに使う基準点からの基準方向を選んで押します。

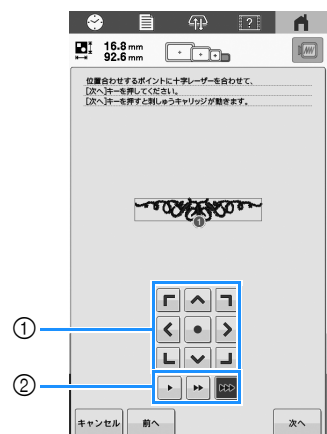
ここでは、上方向を基準方向として選びます。



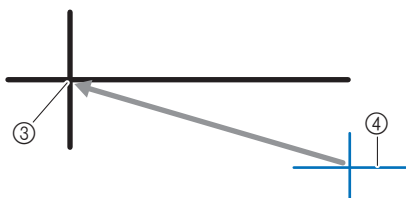
- ① 模様の位置合わせ設定をとりやめます。
- ② 1つ前の画面に戻ります。

10 次へ を押します。

11 十字レーザーの照射位置と印の中心が合うように移動キーを押して、刺しゅう枠を移動します。



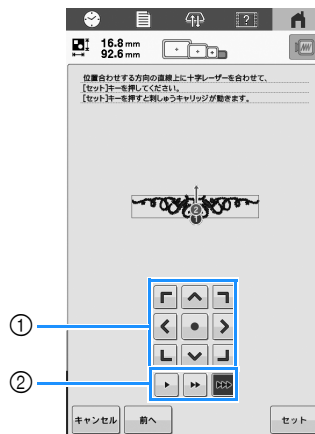
- ① 移動キー
- ② 枠移動速度キー



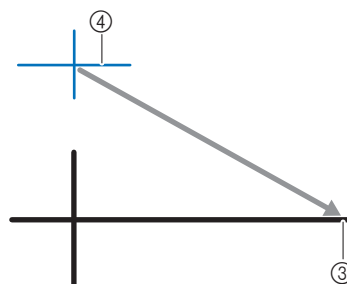
- ③ 印の中心
- ④ 十字レーザー

12 次へ を押します。

13 十字レーザーの照射位置が印の基準方向に合うように移動キーを押して、刺しゅう枠を移動します。



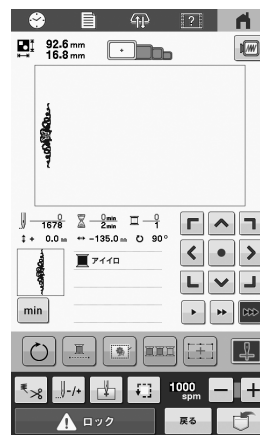
- ① 移動キー
- ② 枠移動速度キー



- ③ 印の基準方向
- ④ 十字レーザー

14 セット を押します。

→ 模様的位置が変更されます。



15 ロック を押し、スタート/ストップスイッチを押してぬいます。

刺しゅうに関する設定の調整

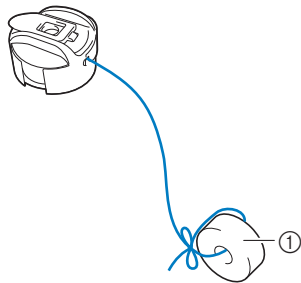
下糸の調子を調整する

🔔 お願い

- ボビンを交換した後は、必ず下糸の糸調子を確認してください。
下糸の糸調子は、下糸やボビンの種類によって異なります。例えば、使い捨てボビンを同種のボビンと交換したときなども、下糸の糸調子を確認し、必要に応じて糸調子を調整してください。
- 必ず下糸の糸調子を調整してから、上糸の糸調子を調整してください。

1 ボビンケースから出ている下糸の端に付属の下糸おもりを結び付けます。

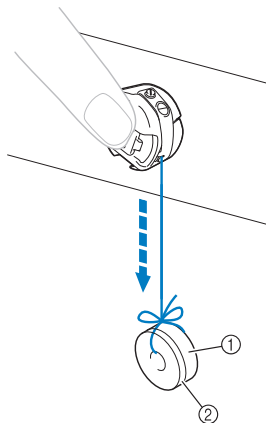
使い捨てボビンの場合



① 下糸おもり (Lタイプ)

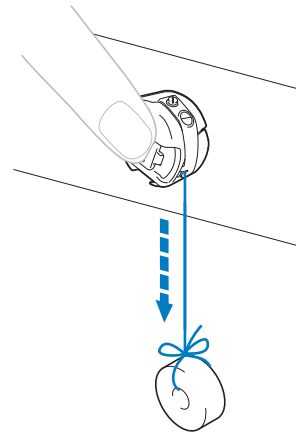
📖 お知らせ

- 使い捨てボビンと金属ボビンでは、調整するときに使用する下糸おもりが異なります。
金属ボビンの場合：



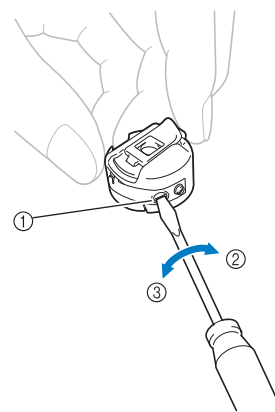
① 下糸おもり (Lタイプ)
② 下糸おもり (Sタイプ)

2 図のように、ボビンケースをなめらかな垂直面に押し当てます。



- 下糸おもりの重さで下糸が、ゆっくりと繰り出されれば正しい糸調子です。

3 糸調子ネジを付属の小型ドライバーで回して、調整します。



- ① 糸調子ネジ
- ② 強くします。
- ③ 弱くします。

4 調整ができれば、ためしぬいをして糸調子を確認します。

3

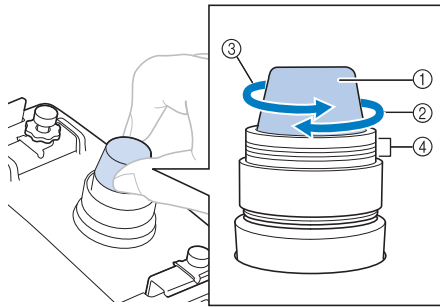
上糸の調子を調整する

上糸のぬい目が布地の裏側から少しのぞく程度に、糸調子を調整してください。

🔍 お願い

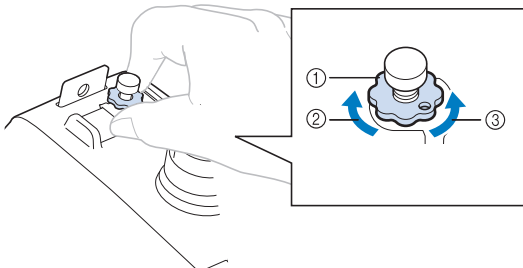
- 必ず本ぬいをする前に、ためしぬいをしてください。必要に応じて糸調子を調整してください。
- 糸調子つまみを使って糸調子を広い範囲で調整することができます。

1 糸調子つまみを手で回します。



- ① 糸調子つまみ
- ② 強くします。
- ③ 弱くします。
- ④ 印

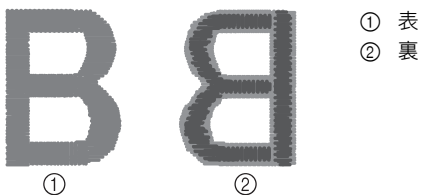
→ 糸調子がうまく調整できない場合は、糸道上糸調子つまみを回します。



- ① 糸道上糸調子つまみ
- ② 強くします。
- ③ 弱くします。

■ 正しい糸調子

布地の裏に上糸が少し見える状態です。糸調子が正しく調整されていない場合は、布地にしわが寄ったり、目とびが起こったりして、刺しゅうがうまく仕上がりにません。



- 薄いグレーは上糸です。
- 濃いグレーは下糸です。

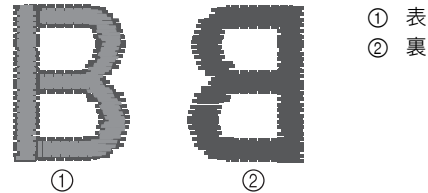
糸調子が正しく調整されていないときは、状況に応じて次の手順に従ってください。

🔍 お願い

- 赤い線よりも糸調子を弱めると、糸調子つまみが外れることがあります。故障ではありません。少し糸調子を強めて、もう一度縫製を始めてください。
- 糸調子ダイヤルの組み立てについては、P. 92 を参照してください。

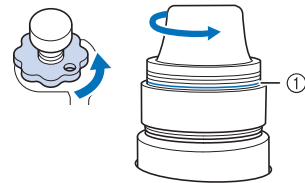
■ 糸調子が強いとき

上糸が強すぎて、表側に下糸が出ています。



- 薄いグレーは上糸です。
- 濃いグレーは下糸です。

矢印の方向に回して、弱くします。



- ① 赤い線

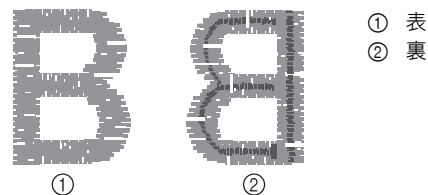
赤い線が見えたら、それ以上糸調子を弱めることができません。下糸の糸調子を強めて、調整してください。(P. 77)

📄 お知らせ

- 赤い線が見えてからも、さらに糸調子を弱めると、糸調子つまみが外れます。
- 糸調子ダイヤルの組み立てについて詳しくは、P. 92 を参照してください。

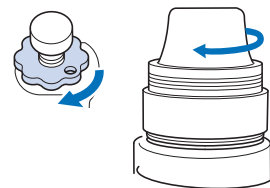
■ 糸調子が弱いとき

上糸が弱すぎて上糸がたるみ、糸のしまりがゆるくなったり、表側に糸のループができたりします。



- 薄いグレーは上糸です。
- 濃いグレーは下糸です。

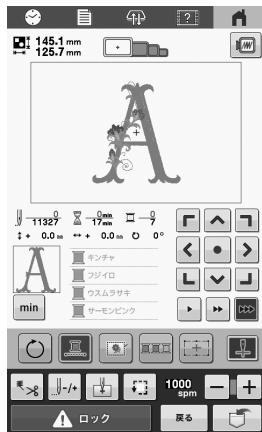
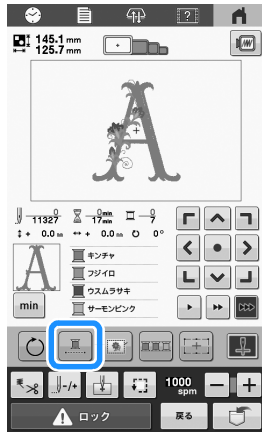
矢印の方向に回して、強くします。



連続した刺しゅう（1色の場合）

選んだ模様を複数の色ではなく1色でぬうこともできます。色替え時にはミシンの動きが遅くなりますが、そのまま止まらず、模様仕上がまで刺しゅうが続きます。

- 縫製画面で を押します。
 - 刺しゅう中の糸替えが行われず、選んだ模様が1色で刺しゅうされます。
 - もう一度 を押すと模様の元々の設定に戻ります。



→ 画面の糸色表示がグレーアウトされます。

お知らせ

- 刺しゅうが終わると、連続刺しゅうがキャンセルされます。

ガイド表示を切り替える

模様表示エリアに表示されるガイドは、表示を切り替えることができます。台枠と刺しゅう枠の種類は、実際にセットしている台座と刺しゅう枠を自動で認識して表示します。

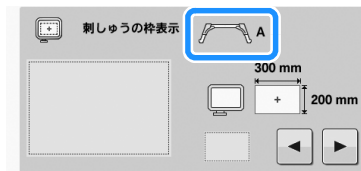
- を押し、設定画面の1ページを表示します。



- ① 設定するガイドがどのように表示されるか、ここで確認します。
- ② 台枠の種類を表示します。
- ③ 実際にセットしている刺しゅう枠の大きさを表示します。(P. 51)
- ④ 中心表示、グリッド表示の種類と表示/非表示を設定します。

■ 台枠の種類

設置されている台枠を自動で認識して表示します。



台枠 A (付属)	A
台枠 B (付属)	B
台枠 C (別売)	C
台枠 D (別売)	D
台枠 E (付属)	E
台枠 F (別売)	F
帽子枠/シリンダー枠 (別売)	
マグネット原反枠 (別売)	*

- * 台枠なしでミシンに取り付けられるため、アイコンは表示されません。

■ [E OFF] 設定

台枠 E が取り付けられているとき、刺しゅう枠を検知しない設定 (E OFF) を選ぶことができます。



⚠ 注意

- [E OFF] 設定のときは、縫製前に必ず刺しゅう枠と模様の範囲を確認してください。

糸色表示を切り替える

糸色の名前または刺しゅう糸番号を表示させることができます。
購入時は、糸色番号 [#123] に設定されています。

📖 お知らせ

- 液晶画面で表現される色と実際の糸色は異なることがあります。
- 編集画面、縫製画面で **min** を押すと、糸色ごとの縫製時間を表示できます。(P. 33、P. 54)

1 を押し、設定画面の 1 ページを表示します。

2 または を押すと、糸色の名前または刺しゅう糸番号が表示されます。




3 糸番号 [#123] が表示されているときに または で、刺しゅう糸ブランドを選びます。




📖 お知らせ

- 糸ブランドの設定は次に模様を読み込まれるときに反映されます。

ぬい始め位置設定

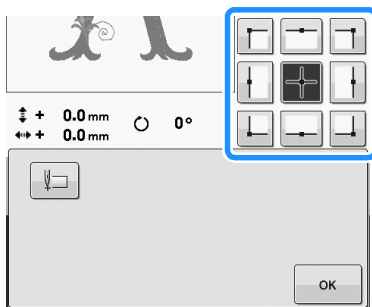
 (P. 19) :
動画で使い方をご確認いただけます。

- 1 縫製画面で  を押します。



→ ぬい始め位置設定画面が表示されます。


- 2 希望のぬい始め位置のキーを押します。



→ 反転されたキーは現在選択されている設定です。
例：以下のキーが選択されています。



→ 刺しゅう枠がぬい始め位置に移動します。

- 3 指定し終わったら、 を押します。


→ 縫製画面に戻ります。

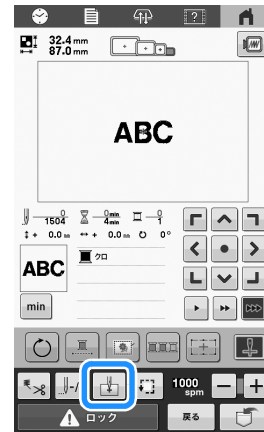
■ 文字をつなげて刺しゅうする

文字をつなげて一行にしたいとき、文字が刺しゅう枠より大きくなる場合は、以下のように刺しゅうします。
例：「DEF」を「ABC」につなげる場合

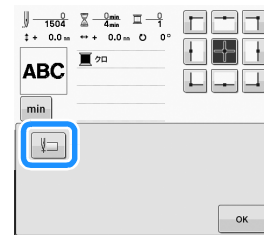
A B C D E F

- 1 「ABC」の文字模様を選びます。

- 2 縫製画面で、 を押します。




- 3  を押します。







→ ぬい始めが模様の左下に設定されます。設定した位置に針が落ちるように刺しゅう枠が動きます。



お知らせ


- 模様をつなぐのをキャンセルし、開始位置を模様の中心に戻すには、 を押してください。



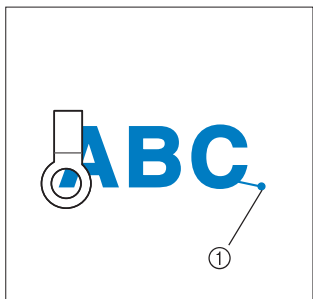
-    を使用すると別の刺しゅう開始位置を選べます。

- 4  を押して縫製画面に戻ります。

→ 開始位置が模様の左下隅に設定されているときは、 が  に変わります。


- 5  **ロック** を押し、スタート/ストップスイッチを押してぬいます。

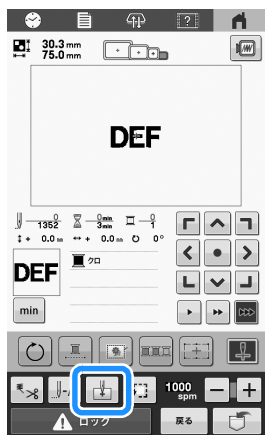
- 6 文字の刺しゅうが終わった後、余裕を持った長さで糸を切って刺しゅう枠を取り外した後、残りの文字（「DEF」）を刺しゅうするために刺しゅう枠を再度取り付けます。



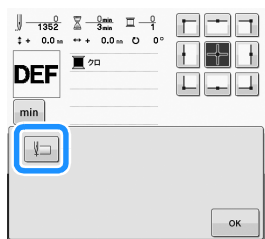
① 刺しゅうの終わり

- 7 手順 ① と同様に、「DEF」の文字模様を選びます。


- 8 縫製画面で、 を押します。




- 9  を押します。

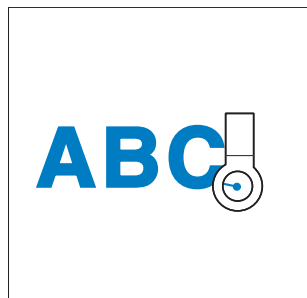



→ 針棒の位置は模様の左下隅となります。針が正しい位置になるように、刺しゅう枠が移動します。

- 10  を押します。



- 11  を使い、前の模様の刺しゅう終わり位置に針を合わせます。



- 12  を押し、スタート/ストップスイッチを押して残りの文字模様をぬいます。



刺しゅう模様の記憶


お知らせ

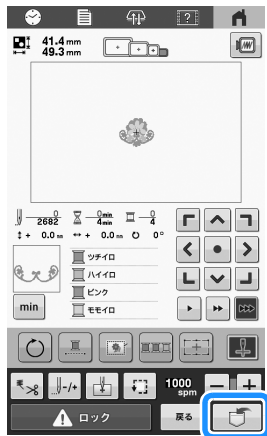
- 模様の記憶容量、使用可能なメディアについては、P.104「仕様」を参照してください。

模様を記憶させる

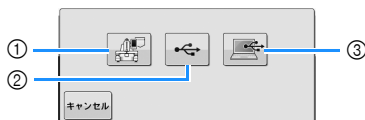
お願い

- [記憶中] の画面が表示されているときは、絶対に電源スイッチを切らないでください。記憶されている模様データが消えるおそれがあります。
- 使用可能なパソコンの OS については、P.104「仕様」を参照してください。

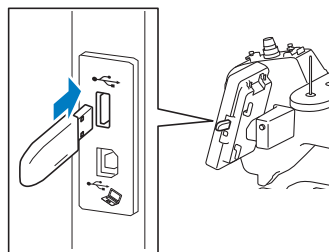
- 1 記憶したい模様を表示した状態で、縫製画面で  を押します。



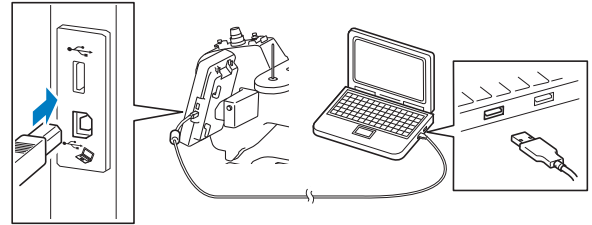
- 2 記憶先を押して、模様を記憶します。



- ① ミシンに記憶します。
- ② USBメディアに記憶します。模様は [bPocket] フォルダに記憶されます。USBメディアに模様を記憶する場合は、ミシンのUSBポートにUSBメディアを差し込みます。

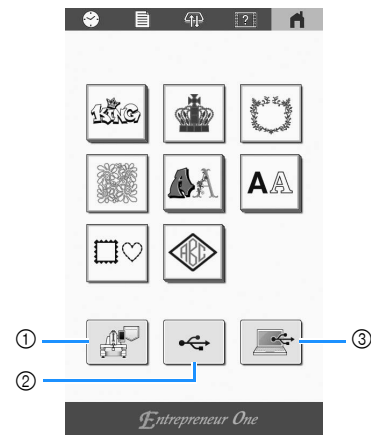


- ③ パソコンに記憶します。パソコンに模様を記憶する場合は、付属のUSBケーブルでパソコンとミシンを接続します。ミシンはパソコン上で一時的に「リムーバブルディスク」として認識されます。
- 模様のファイルは「リムーバブルディスク」に保存されます。ファイルをパソコンのローカルフォルダに保存するには、ファイルエクスプローラーから「リムーバブルディスク」を選択してから、ファイルを任意のローカルフォルダにコピーします。




模様を呼び出す


- 1 呼び出し先を押して、呼び出したい模様を選択します。




- ① ミシンから呼び出します。
- ② USBメディアから呼び出します。USBメディアから模様を呼び出す場合は、ミシンのUSBポートにUSBメディアを差し込みます。
- ③ パソコンから模様を呼び出します。パソコンから模様を呼び出す場合は、付属のUSBケーブルでパソコンとミシンを接続します。ミシンのパソコン接続用のUSBポートに付属のUSBケーブルを差し込みます。模様のファイルをミシンに割り当てられた「リムーバブルディスク」にコピーします。

お知らせ

- 呼び出したい模様がUSBメディア内のフォルダに格納されている場合は、そのフォルダのキーを押してください。1つ前の画面に戻るには  を押してください。

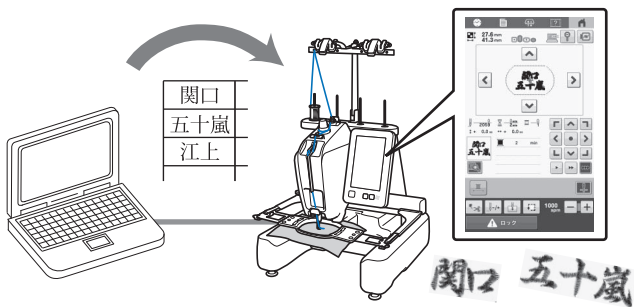
- 2  を押します。



- * 模様を削除するには  を押します。

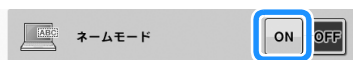
ネーム刺しゅうをする (ネームモード)

ブラザーの刺しゅうネームソフトウェア「ネーム PRO」(別売)を使って編集したネーム刺しゅうデータを、USBケーブル接続で直接マシンに送ることができます。付属のネーム枠を合わせて使用すれば、マシンの画面で仕上がりイメージを実際の縫製に近い形で確認できます。ネーム枠の種類や取り付け方の概要については、P.46「ネーム枠の布地の張り方と取り付け方」、P.51「刺しゅう枠/台枠の種類と用途」を参照してください。

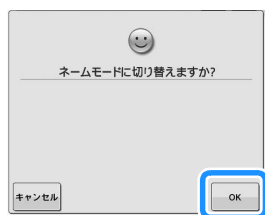


ネーム刺しゅうする

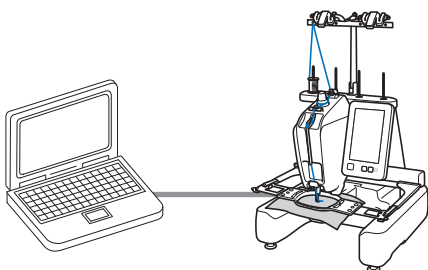
- 1 を押し、 または を押して、設定画面の4ページを表示します。
- 2 [ネームモード] の [ON] を押して、ネームモードを有効にします。



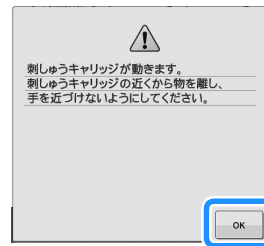
→ 次の画面が表示されたら、 を押します。



- 3 マシンの電源を切ります。
- 4 付属の USB ケーブルを、パソコンの USB ポートおよびマシンの USB ポートに差し込みます。



- 5 マシンの電源を入れます。
- 6 画面の注意事項を確認して、 を押します。

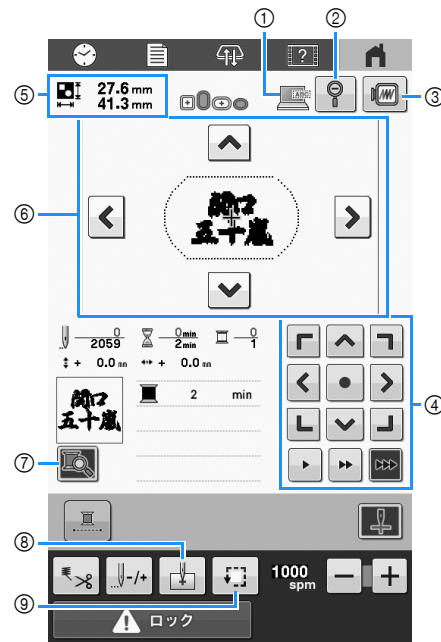


- 7 ブラザーの刺しゅうネームソフトウェア「ネーム PRO」を使って、パソコンからネーム刺しゅうデータを転送します。

🔍 お願い

- 「ネーム PRO」の使い方については、「ネーム PRO」に付属の取扱説明書を参照してください。

→ 模様表示エリアに転送したネーム刺しゅうデータが表示されます。



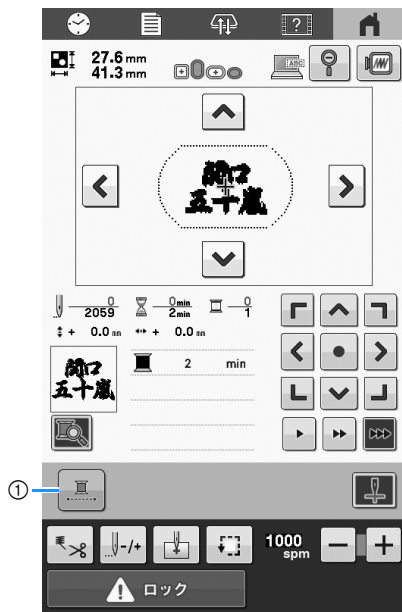
- ① ネームモードアイコン
 : ネーム刺しゅうデータを受信/更新できます。
 : ネーム刺しゅうデータを受信/更新できません。
- ② 模様表示エリアの表示拡大率を切り替えます。転送直後は200%の拡大率で表示されています。キーを押すと拡大率が100%に切り替わります。再度押すと、200%に戻ります。
- ③ 仕上がりイメージを確認したい場合に押します。
- ④ めう位置、枠の移動の速さを調整します。使い方は、通常モードの縫製画面と同じです。(P.54)
- ⑤ 模様の大きさを表示します。
- ⑥ 模様表示エリア

- ⑦ 模様表示エリアの、1 模様表示/全模様表示を切り替えます。
- 1 模様表示 (🔍) : 縫製中のユニットのみを表示します。
- 全模様表示 (🔍) : 転送した全ユニットを表示します。
- ⑧ ぬい始めの針位置を設定することができます。
- ⑨ 押すと、刺しゅう枠が移動して、ぬう位置を確認することができます。

お知らせ

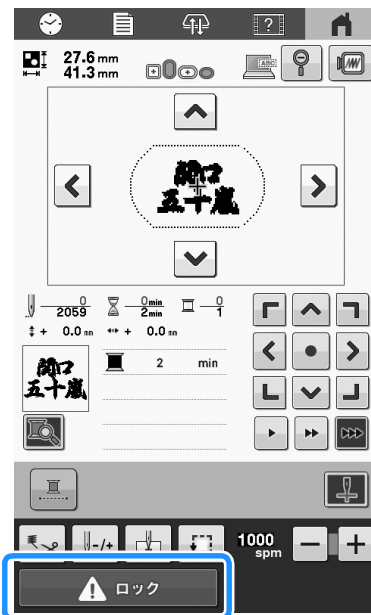
- 「ネーム PRO」から転送されたデータは DST 形式のため、画面上では糸色が設定されていない状態で表示されます。(糸色が黒く表示されます。)

8 必要に応じて縫製の設定をします。



- ① 複数の色情報を持つ模様を、単色でぬいたい場合は、🔍 を押して、🔍 にします。
- 縫製画面の各種設定については、P. 54、P. 84 手順 7 を参照してください。

9 ロック を押し、スタート/ストップスイッチを押してぬいます。



→ 縫製が終わると、ぬい終わったことをお知らせするメッセージが表示されます。

10 OK を押します。

- 次に刺しゅうするネームデータを転送すると、模様表示エリアにデータが表示されます。手順 8 に戻って操作を繰り返し、縫製を続けます。

お知らせ





- 縫製画面で変更された設定内容は、手順 10 で OK を押した後もそのまま保持されます。
- 台枠 E を取り付けると、設定画面で枠を検知しない設定を選ぶことができます。



注意

- 台枠 E を検知しない設定のときは、縫製前に必ず枠と模様の範囲を確認してください。枠と模様の範囲が適切でないと、刺しゅう枠が押えに当たり、けが・故障の原因となります。

ネームモードを解除する

- 1  を押し、 または  を押して、設定画面の 4 ページを表示します。
- 2 [ネームモード] の [OFF] を押して、ネームモードを無効にします。
→ ネームモードを終了するかどうかを確認するメッセージが表示されたら、 を押します。
- 3 ミシンの電源を切ります。

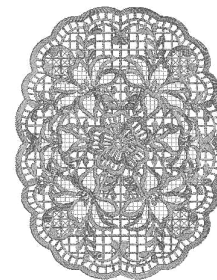
刺しゅうの応用

分割模様をぬう

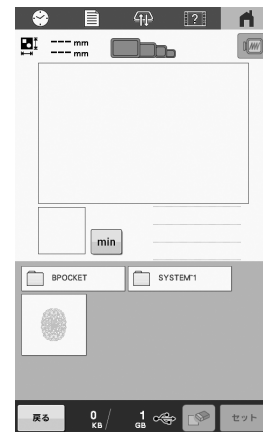
刺しゅう PRO 7 以降のバージョンで作成した分割模様をぬうことができます。大型の刺しゅう模様の場合は、刺しゅう枠よりも大きな刺しゅうデザインが複数のパーツに分割され、それぞれのパーツをぬい終わった後にそれを組み合わせて 1 つの模様を作るようになります。

分割模様の作成およびより詳しいぬい方については、刺しゅう PRO に付属している取扱説明書を参照してください。

以下の手順は、USB メディアから下図の分割模様を呼び出し、刺しゅうする方法を説明しています。



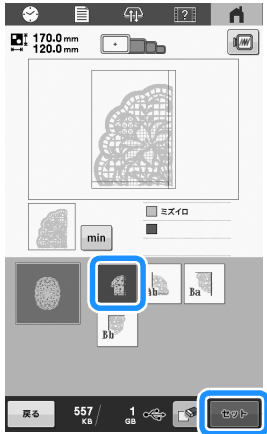
- 1 作成した分割模様が保存されたメディアをミシンに接続し、刺しゅうしたい分割模様を選びます。
 - 模様の呼び出しについて詳しくは、P. 83 を参照してください。



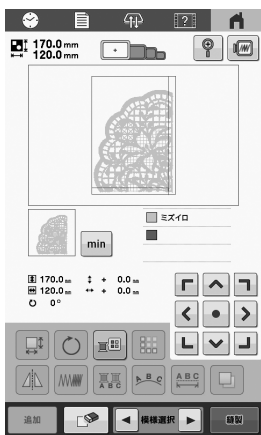
→ 分割模様を選択するための画面が表示されます。

2 刺しゅうするパーツ  を選んで、**セット** を押します。

- パーツをアルファベット順に選びます。



3 必要に応じて模様を編集します。



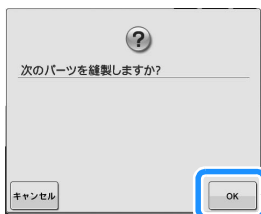
- 詳しくは、P.33「模様の編集」を参照してください。

4 **複製** を押します。

5 **ロック** を押し、スタート/ストップスイッチを押してそのパーツをぬいます。

6 刺しゅうが終わったら、以下の画面が表示されます。

OK を押します。



→ 分割模様のパーツを選択するための画面が表示されます。

7 手順 2 から 6 を繰り返し、模様の子のパーツを組み合わせていきます。

第4章 付録

お手入れのしかた

簡単なミシンのお手入れ方法を説明します。故障の原因となる場合がありますので、いつも清潔にしておきましょう。

⚠ 注意

- ・ ミシンの掃除は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。けがの原因となります。

画面の汚れの掃除

液晶画面が汚れた場合は、乾いたやわらかい布等で軽くふき取ってください。

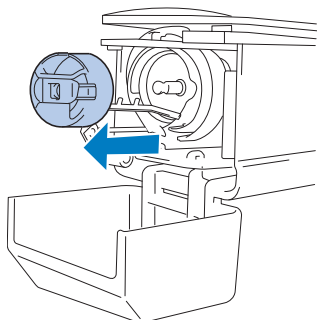
本体表面の掃除

本製品の汚れをふき取るときは、水かぬるま湯を含ませたやわらかい布を固く絞ってふいてください。ふいた後は、乾いたやわらかい布で水分をふき取ってください。

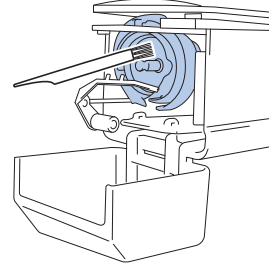
釜の掃除

釜には糸くずやほこりがたまりやすく、縫製不良になる場合があります。定期的に掃除をしてください。付属のミシンブラシを用意します。

- 1 電源スイッチの「O」側を押し、電源を切ります。
- 2 釜カバーを開け、ボビンケースを取り出します。(P. 21)



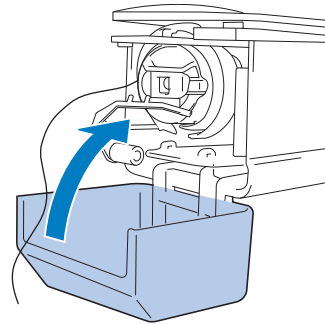
- 3 付属のミシンブラシで、釜周辺の糸くずやほこりを取り除きます。



💡 お願い

- 釜に傷が付いているときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 4 掃除が終わったら、ボビンケースをセットし、釜カバーを閉めます。(P. 25)



針板まわりの掃除

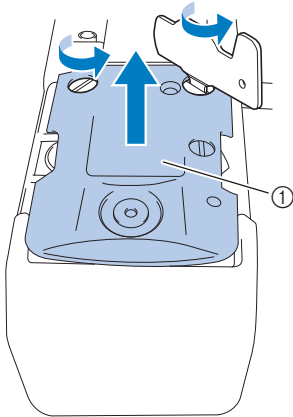
移動刃、固定刃、糸保持板の周囲に糸くずやほこりがたまると、糸切り不良が発生したり、部品が破損するおそれがあります。月に1回は掃除してください。

3 ウェイドライバー、付属のミシンブラシを用意します。

1 電源スイッチの「O」側を押し、電源を切ります。

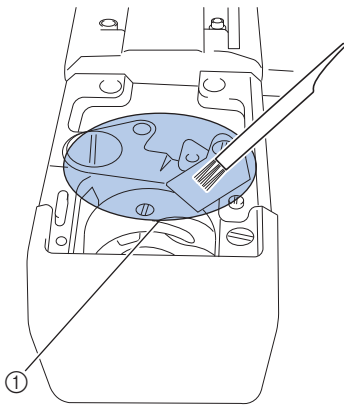
2 針板を外します。

3 ウェイドライバーでネジをゆるめ、針板を外します。



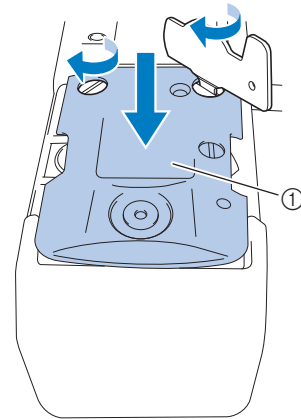
① 針板

3 付属のミシンブラシで、移動刃、固定刃、糸保持板の周囲に付いた糸くずやほこりを取り除きます。



① このあたりの糸くずを取り除きます。

4 掃除が終わったら、手順**2**と逆の手順で針板を取り付け、釜カバーを閉じます。

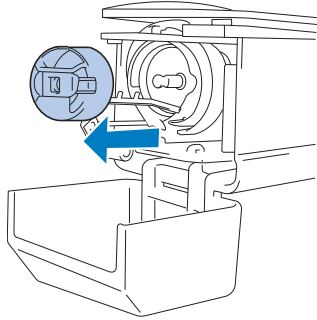


① 針板

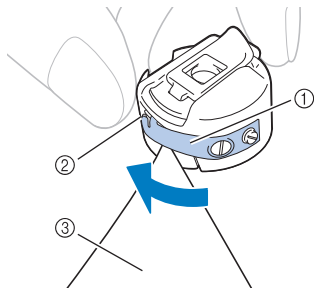
ポビンケースの掃除

ポビンケースの調子バネの糸穴の周囲は、糸のワックスやゴミがたまりやすく、糸調子不良の原因となります。そのため、ポビンを交換するときは毎回掃除してください。名刺と同等の厚さの紙を用意します。

- 1 釜カバーを開け、ポビンケースを取り出し、ポビンを取り出します。(P. 21)



- 2 調子バネの下に紙を差し込み、ゴミをかき出します。糸穴の周辺は、紙の角でこするようにしてゴミをかき出します。

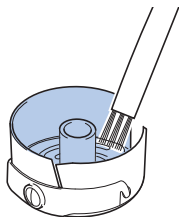


- ① 調子バネ
- ② 糸穴
- ③ 紙

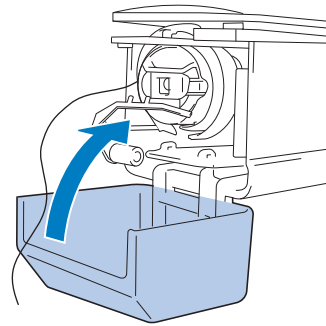
重要

- ・ 調子バネを曲げないように注意してください。また、厚紙や定規など紙以外のもので掃除をしないでください。

- 3 付属のミシブラスで、ポビンケース内側の糸くずやほこりを取り除きます。



- 4 掃除が終わったら、ポビンをポビンケースに入れ、ポビンケースをセットし、釜カバーを閉めます。(P. 25)



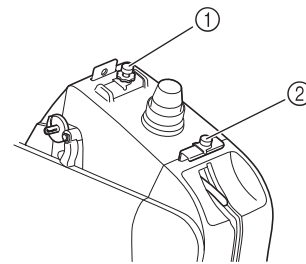
上糸の糸道の掃除

上糸の糸道の糸案内や糸調子ダイヤルにほこりや糸くずがたまると、刺しゅう中に糸が切れるおそれがあります。糸道を定期的に掃除してください。

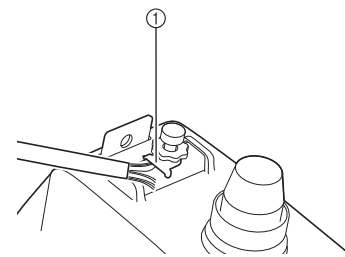
■ 糸案内を掃除する

- 1 付属のミシブラスを使用し、糸案内プレートの下から糸くずやほこりを取り除きます。

糸道上と糸道中の両方の糸案内プレートを掃除してください。



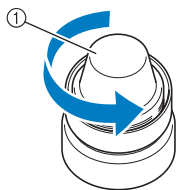
- ① 糸道上
- ② 糸道中



- ① 糸案内プレート

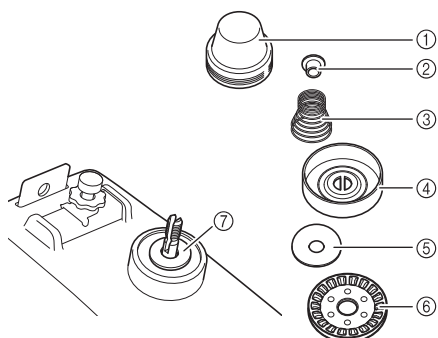
■ 糸調子ダイヤルを分解して掃除する

- 1 下図のように、糸調子つまみを反時計回りに回すと、糸調子つまみを取り外せます。



① 糸調子つまみ

- 2 付属のミシンブラシを使用し、糸調子つまみの内側の2つの調子皿ワッシャー（上と下）から糸くずやほこりを取り除きます。

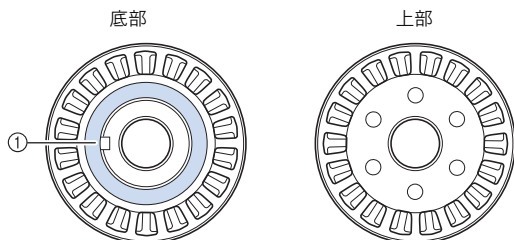


- ① 糸調子つまみ
 ② ナイロン製のショルダーワッシャー
 ③ 糸調子パネ
 ④ 糸調子ベースパネ
 ⑤ 調子皿ワッシャー（上）（ナイロン製ワッシャーより厚さが薄いです）
 ⑥ 回転調子皿
 ⑦ 調子皿ワッシャー（下）（ナイロン製ワッシャーより厚さが薄いです）

- 3 糸調子ダイヤルを組み立て直します。

💡 お願い

- 糸調子ダイヤルを組み立て直すときに、回転調子皿の取り付け方向が逆にならないよう注意してください。底部にマグネットが付いています。



① マグネット

- 糸調子ダイヤルを組み立て直すときに、パーツをなくしたり、組み立て順を誤ったりしないよう注意してください。糸調子ダイヤルの組み立てに誤りがあると、ミシンが誤動作するおそれがあります。

針を交換する



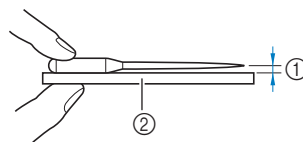
(P. 19) :
動画で使い方をご確認いただけます。

⚠ 注意

- 針の交換は、必ず電源スイッチを切ってください。万一、ミシンが作動すると、けがの原因となります。
- 曲がった針は使用しないでください。けがの原因となります。

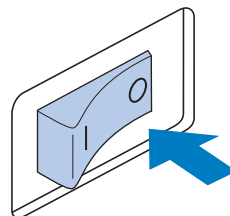
📄 お知らせ

- このミシンは一般の刺しゅう針を使用するように設計されています。メーカー推奨針はオルガン社製の“HAX 130 EBBF”です。
- 正しい針を見分けるには、針の平らな面を平らな板に合わせます。上と横から見て、針と板のすき間が平行かどうかを確認します。曲がった針は捨ててください。



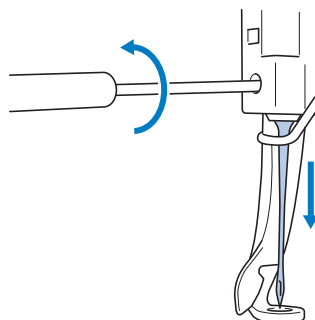
- ① すき間が平行
 ② 平らな面（ガラスなど）

- 1 電源スイッチの「O」側を押し、電源を切ります。



- 2 針のとめネジをゆるめ、針を抜きます。

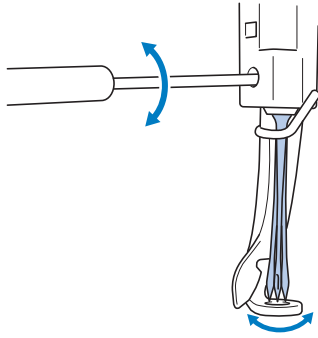
左手で針を持ちながら、右手で針交換ドライバーを左に回します。



💡 お願い

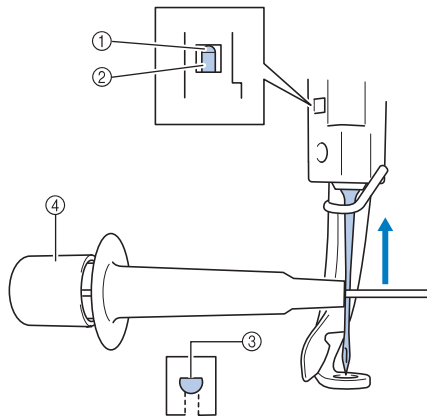
- 針を交換するときは、必ず付属の針交換ドライバーを使ってください。

- とめネジをゆるめたりしめたりするときに、無理な力を加えないようにしてください。故障の原因となります。



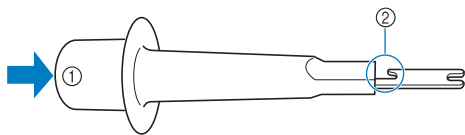
3 新しい針の平らな面を後ろ側に向けて、針棒のストッパーに当たるまで差し込みます。

押えの穴の下から針を通し、針交換ツールを使って持ち上げます。



- ① 針棒のストッパー
- ② 針
- ③ 平らな面
- ④ 針交換ツール

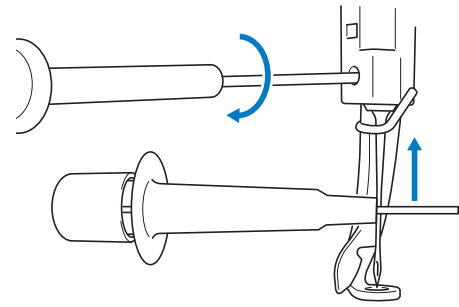
下図のように、針交換ツールの端①を指で押すと、針つかみ金具②が出ます。金具②に針を引っ掛け、端①から指をはなすと針をつかみます。針をはなすときは、端①を再度指で押してください。



- ① 針交換ツールの端
- ② 針つかみ金具

4 針を針交換ツールでつかんだまま、とめネジをしめます。

針交換ドライバーを右に回します。



注意

- 針は必ずストッパーに当たるまで針棒室に差し込み、とめネジを針交換ドライバーで確実にしめてください。針が正しく取り付けられていないと、針が折れ、けがをするおそれがあります。

重要

- 針が正確に取り付けられていないと、自動針穴糸通し装置を使って糸を通すときに、フックが針穴に入ることができず、フックが折れるなどして針に糸を通すことができません。
- 自動針穴糸通し装置のフックが折れたり、こわれたりした場合は、お買い上げの販売店、または「PR/VR 専用ダイヤル」にご連絡ください。

ミシンに注油する



(P. 19) :
動画で使い方をご確認いただけます。

機械部品の寿命を延ばし、正常に動作するために注油が必要です。ミシンを初めて使う前に必ず注油してください。

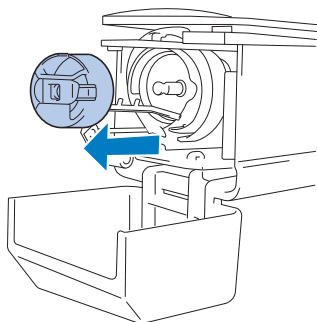
重要

- 使用前に、釜のレース部に一滴注油してください。
- ミシンを 40 ~ 50 時間ご使用すごとに、針棒のフェルト上に一滴注油してください。
- 注油にはミシン用油を使用してください。その他の油を使用すると、故障の原因となります。
- 油をさしすぎると、生地や糸の汚れの原因となりますので注意してください。油をさしすぎた場合は、布地等でふき取ってください。
- 縫製時に糸切れ不良が発生したり、釜の動作音が増大したりした場合は、釜のレース部に注油してください。

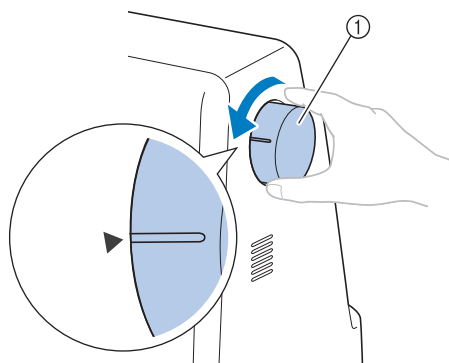
■ レース部に注油する

1 電源スイッチの「O」側を押し、電源を切ります。

2 釜カバーを開け、ポビンケースを取り出します。
(P. 21)

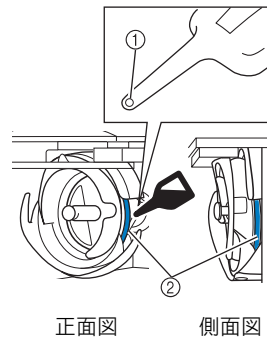


3 プーリーの印とミシンにある印 (▼) が揃うまで、プーリーを回します。



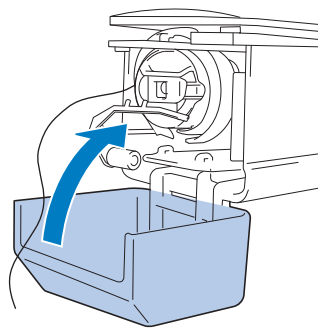
- ① プーリー
● プーリーは反時計回りに回してください。

4 釜のレース部に 1 滴注油します。



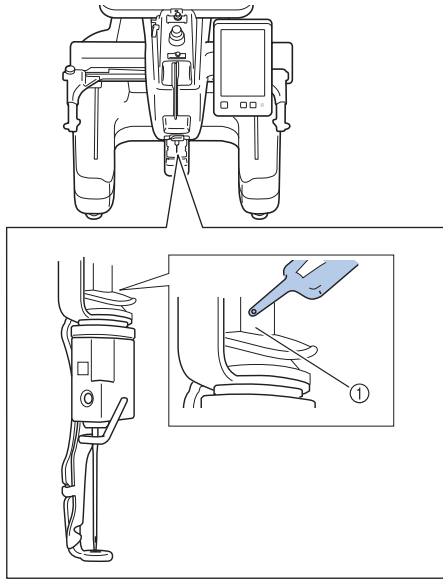
- ① 小さい穴をあけます。
② この部分に注油します。
● 付属の油差しの先に、小さい穴をあけてから注油してください。

5 注油が終わったら、ポビンケースをセットし、釜カバーを閉めます。(P. 25)



■ 針棒に注油する

プーリーの印とミシンにある印 (▶) が揃うまで、プーリーを操作パネルの方向に回し、針棒をロック位置まで下げます。(P. 94) 図のように、針棒のフェルト上に一滴注油してください。



① フェルト

- 油をさしすぎないでください。ぬうときに油が布に垂れる場合があります。

メンテナンスメッセージについて




このメッセージが表示されたら、ミシンを正規販売店かお近くの正規サービスセンターに持ち込み、定期メンテナンスチェックを受けることをお勧めします。[OK] を押すと、このメッセージは消え、ミシンを使い続けることができますが、適切なメンテナンスが実行されるまで、このメッセージは繰り返し表示されます。適切なメンテナンスで、継続して快適にミシンをご使用いただけるようになります。

自動針穴糸通し装置のフックを交換する




(P. 19) :
動画で使い方をご確認いただけます。

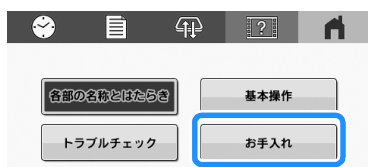
フックを交換するときは、付属の糸通しフックをご使用ください。
糸通しフックを交換しても糸通しができない場合は、お買い上げの販売店、または「PR/VR 専用ダイヤル」にご相談ください。

1  を押して、マシンヘルプキー画面を表示し、

 を押します。



2  を押します。



3  を押します。



4 画面に表示される QR コードから、製品の使い方動画サイトにアクセスします。

5 動画に従って、自動針穴糸通し装置のフックを交換します。

マシンを貸与や廃却する前に

以下のデータを削除するときは、必ず本機の設定情報をリセットしてください。

- 全保存データ
- カスタマイズした設定

1  を押し、[初期状態にリセット] の横にある  を押します。

2  を押します。

🔍 お願い



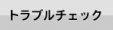

- [削除中...] が画面に表示されているときは、電源を切らないでください。


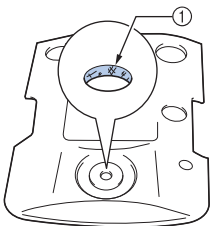
困ったとき

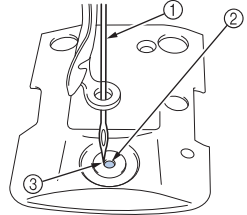
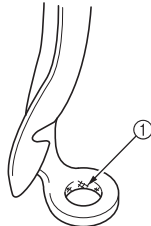
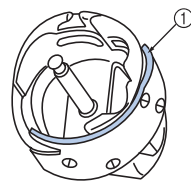
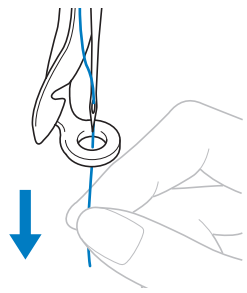
ミシンが思いどおりに動かないときは、修理を依頼する前に次の項目およびブラザーのサポートサイト (<https://s.brother/cpcac/>) の Q&A を確認してください。それでも改善されない場合は、お買い上げの販売店、または「PR/VR 専用ダイヤル」にご相談ください。

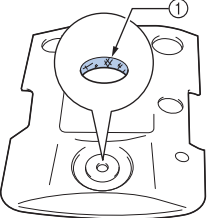
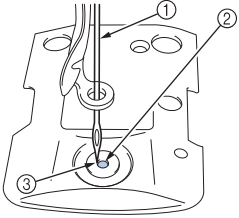
こんなときは

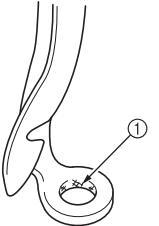
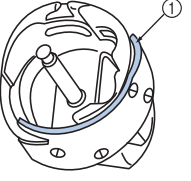
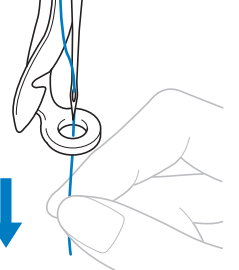
ミシンに何か問題が起こった場合は、次の項目を確認してください。
 参照ページに「※」があるときや状況が改善しないときは、お買い上げの販売店、または「PR/VR 専用ダイヤル」にご相談ください。

 →  →  を押すと、刺しゅうして困ったときに解決方法をご覧いただけます。
 を押すと、元の画面に戻ります。

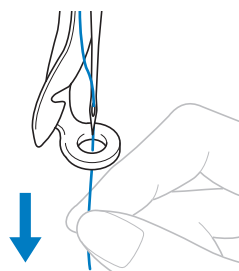
こんなとき	
原因・対処のしかた	参照ページ
ミシンが動かない	
電源が入っていない。	P. 15
ミシンロックが解除されていない。	P. 64
スタート/ストップスイッチを押していない。	P. 64
刺しゅう枠をセットできない	
取り付ける刺しゅう枠に適した台枠でない。	P. 51
刺しゅう枠の取り付け、取り外しができない	
刺しゅう枠の取り付け、取り外しが難しい位置で、キャリッジが止まった。 ・  を押して、取り付け、取り外しがしやすい位置にキャリッジを移動します。	P. 51
針が折れる	
針が正しく取り付けられていない。	P. 92
針のとめネジがゆるんでいる。	P. 92
針が曲がっている。 針先がつぶれている。	P. 92
針板の穴の周辺に傷がある。	※
	
① 傷 ・ 針板を交換します。	

こんなとき	
原因・対処のしかた	参照ページ
針板の穴に針が接触している。	P. 92 ※
	
① 針 ② 針板の穴 ③ 接触 ・ 針を交換します。	
押えの取り付けが高い 針が押えに接触している。	※
押えの穴の周辺に傷がある。	※
	
① 傷 ・ 押えを交換します。	
釜の糸すべり面に傷がある。	※
	
① 糸すべり面	
ボビンまたはボビンケースが正しくセットされていない。	P. 21、 P. 25
釜が正しくセットされていない。	※
釜止めが正しく付いていないため、内釜が回っている。	※
上糸が正しくかけられていない。 上糸がどこかに引っかかっている。	P. 59
	
・ 上糸を押えの下から手で引いてスムーズに糸が出るか確認します。スムーズに糸が出ない場合は、糸が正しくかかっています。上糸を正しくかけ直します。糸が針棒糸案内にかかっていることを確認します。	

こんなとき	
原因・対処のしかた	参照ページ
針が折れる	
上糸調子が強すぎる。	P. 78
本機純正のボピンを使用していない。	P. 21
針と釜の出合が正しくない。 ・ 釜の調整が狂っています。	※
刺しゅうデータの糸密度が細かすぎる。 3回以上の重ねぬいをしている。 ・ 当社正規データ作成ソフトウェア（刺しゅう PRO など）で、刺しゅうデータの糸密度や重ねぬい設定を修正します。	P. 104
自動糸切りで糸が切れない	
針板まわり（移動刃、固定刃、糸保持板）に糸くずやほこりなどがたまっている。	P. 90
本機純正のボピンケースを使用していない。 ・ 本機純正のボピンケースを使用してください。	—
回転調子皿に糸くずやほこりがたまっている。	P. 92
自動糸切り後、上糸が短く切れて針から抜けてしまう	
針板まわり（移動刃、固定刃、糸保持板）に糸くずやほこりなどがたまっている。	P. 90
上糸が切れる	
針が正しく取り付けられていない。	P. 92
針のとめネジがゆるんでいる。	P. 92
針が曲がっている。 針先がつぶれている。	P. 92
針板の穴の周辺に傷がある。	※
 <p>① 傷</p> <ul style="list-style-type: none"> 針板を交換します。 	
針板の穴に針が接触している。	※
 <p>① 針 ② 針板の穴 ③ 接触</p>	
押えの取り付けが高い。 針が押えに接触している。	※

こんなとき	
原因・対処のしかた	参照ページ
押えの穴の周辺に傷がある。	※
 <p>① 傷</p> <ul style="list-style-type: none"> 押えを交換します。 	
メタリック糸など、弱い糸を使用している。 ・ 縫製速度を遅くします。	P. 54
釜の糸すべり面に傷がある。	※
 <p>① 糸すべり面</p>	
糸がからまって、釜などに詰まっている。	P. 89
外釜と内釜の遊びが大きい。	※
外釜がスムーズに回転していない。 ・ 糸くずを取り除いて掃除し、注油します。	P. 89、 P. 94
釜止めと釜のすき間が正しく調整されていない。	※
上糸が正しくかけられていない。	P. 59
	
<ul style="list-style-type: none"> 上糸を押えの下から引いて、スムーズに糸が出るか点検します。スムーズに糸が出ない場合は、糸が正しくかかっていません。上糸を正しくかけ直します。糸が糸案内の正し位置を通っていることを確認します。 	
上糸が糸道または糸道中の糸案内プレートを通っていない。 ・ 糸が正しく糸道または糸道中の糸案内プレートを通っていることを確認します。	P. 59
糸に結び目やこぶがある。 ・ その部分を取り除きます。	—
上糸調子が強すぎる。	P. 78
糸調子が適当でない。 ボピンケースから糸がスムーズに出ていない。	P. 77
ボピンケースに傷がある。 ・ 新しいボピンケースと交換します。	P. 21
下糸が正しく巻かれていない。 ・ ボピンの径に対して 80% の巻き量で、糸が平均に巻かれているか点検します。正しく巻かれているボピンと交換するか、糸を巻き直します。	P. 21

こんなとき	
原因・対処のしかた	参照ページ
上糸が切れる	
本機純正のボビンを使用していない。	P. 21
自動針穴系通し装置が破損している。	※
針に粘着剤などが付着している。 ・ 針を交換します。	P. 92
布地の張りが弱い。	P. 45
糸の品質が悪い。 ・ 撚りが甘い糸や古く弱い糸を、品質の良い糸と交換します。	—
刺しゅうデータの糸密度が細かすぎる。 3回以上の重ねぬいをしている。 ・ 当社正規のデータ作成ソフトウェア（刺しゅう PRO など）で、刺しゅうデータの糸密度や重ねぬい設定を修正する。	P. 104
回転調子皿に糸くずやほこりがたまっている。	P. 92
下糸が切れる	
下糸のセットのしかたがまちがっている。	P. 25
ボビンに傷があり、回転がなめらかでない。 ・ ボビンを交換します。	P. 21
ボビンケースに傷がある。 ・ ボビンケースを交換します。	P. 21
糸がからまっている。	P. 89
本機純正のボビンを使用していない。	P. 21
回転調子皿に糸くずやほこりがたまっている。	P. 92
ぬい目がとぶ	
上糸の通し方がまちがっている。	P. 59
針が曲がっている。 針先がつぶれている。	P. 92
針の取り付け方がまちがっている。	P. 92
針板の下や釜にほこりなどがたまっている。	P. 89、 P. 90
針と釜の出合が正しくない。	※
糸のねじれが強すぎる、またはゆるすぎる。 ・ ねじれが適切でないと、正しいループの形ができません。新しい糸こまを使用します。	—
刺しゅう模様がくずれる。	
糸がからまっている。 ・ 釜などからんだ糸をピンセットなどで取り除きます。	—
刺しゅう枠に布地がきちんと張られていない。(布地の張り方がゆるいなど)	P. 45
刺しゅうのサイズに対して大きい刺しゅう枠を使用している。	P. 45
台枠のつまみボルトがゆるんでいる。	P. 14
適切な接着芯を貼っていない。	P. 43



こんなとき	
原因・対処のしかた	参照ページ
刺しゅう枠が正しくキャリッジにセットされていない。 ・ 刺しゅう枠を正しくキャリッジにセットします。台枠の左右のアームのピンが、刺しゅう枠の取付部の穴にきちんと入っているか確認します。	P. 49
キャリッジや刺しゅう枠が周辺に置いてあるものに当たっている。 ・ キャリッジや刺しゅう枠がものにぶつかると模様くずれの原因になります。	—
布地が引っかかっている、またははさみ込まれている。 ・ ミシンを止めて布地を正しい位置に直します。	—
刺しゅう枠を取り外している途中でキャリッジが動いた。 ・ ぬっている途中で押えにものがぶつかったり、キャリッジが動いたりすると模様くずれの原因になります。 ・ ぬっている途中で刺しゅう枠を外したり、セットしたりするときは注意してください。キャリッジが動いてしまった場合は、電源を入れ直します。ミシンを止めたときの状態をミシンが記憶しており、正しい位置に戻ります。	—
デザインが正しく作成されていない。 ・ 伸縮性のある布や毛羽立った布を使用するときは、デザインを伸ばして補正したり下張りを使用する必要があります。	—
セットした刺しゅう枠のサイズを正しく認識しない	
台枠のつまみボルトがゆるんでいる。	P. 14
刺しゅう枠の原点位置が横にずれる	
台枠のつまみボルトがゆるんでいる。	P. 14
上糸のぬい目が浮く（ルーピングの発生）	
上糸調子が弱い。 	—
・ 押えの穴に上糸を通した後、手で糸を引いて糸調子を確認します。	
糸調子つまみのしめ込み量に見合った糸調子になっていない。 ・ 糸調子が調整できないときは、糸道上または糸道中に糸のワックスやゴミが入って糸案内プレートが浮いている場合があります。糸案内プレートを掃除します。	P. 91
回転調子皿付近で糸が正しく通されていない。 ・ 回転調子皿を掃除してください。 上糸を通し直し、糸を引いてみて回転調子皿が回転することを確認してください。	P. 92
糸の品質が悪い。 ・ 他の糸に替えてぬってください。糸を替えて問題なければ、糸品質に原因があります。品質の良い糸と交換します。	—


こんなとき	
原因・対処のしかた	参照ページ
ぬっているときの音が高いガタガタと音がする	
釜の部分に糸くずが巻き込まれている。	P. 89
上糸の通し方がまちがっている。	P. 59
釜に傷がある。 ・ 釜を交換します。	※
注油が不足している。	P. 94
自動糸通しができない	
本機純正の針を使っていない。	P. 92
針の取り付け方がまちがっている。	P. 92
自動針穴糸通し装置の糸通し用のフックが曲がっている。	P. 96
糸調子が合わない	
上糸の通し方がまちがっている。	P. 59
下糸セットのしかたがまちがっている。	P. 25
下糸の糸調子が合っていない。	P. 77
回転調子皿に糸くずやほこりがたまっている。	P. 92
刺しゅうを始めたとき、上糸が下糸に届かない	
下糸がない、ポピンから下糸が送られない、または送られた糸が短すぎる。 ・ ポピンを正しくセットします。	P. 25
糸が切れていないのに、糸切れエラーになりミシンが停止する	
回転調子皿にかかっている糸が外れ、回転調子皿にある糸センサーが糸送りを感知できず、糸切れエラーが起きてミシンが停止した。 ・ 回転調子皿に正しく糸をかけます。再度糸をかけ直しても糸切れエラーが起きる場合は、センサーが破損している可能性があります。	P. 60 ※
糸が擦り切れる	
回転調子皿に糸くずやほこりがたまっている。	P. 92
渡り糸が長い	
回転調子皿に糸くずやほこりがたまっている。	P. 92
渡り糸切りする設定が長い。	P. 56
布に針による傷か穴がある	
針がとがっていない ・ 針を交換します。針がとがっていないと布を押し上げ、布に傷が付ききます。	P. 92
布が弱すぎる。 ・ 弱い布は、針が通るだけで破損することがあります。布の表面に接着芯を使用します。	—





こんなとき	
原因・対処のしかた	参照ページ
布にしわが寄っている	
糸調子が強すぎる。 ・ 布の種類と使用する糸に応じて、糸調子を調節します。特にポリエステル製の糸は、糸調子を強くすると伸びやすくなります。縫製が終わると、糸が元に戻りぬいしわの原因となります。	P. 78
枠の取り付け方が正しくない。 ・ 伸縮性のない織物などは、枠をきつめに取り付けます。取り付け方が弱いと布にこぶができることがあります。やわらかいニット地には、安定した裏張りをを使ってしっかりと伸ばし、枠を取り付けます。布を伸ばしすぎると、枠を外したときにしわが入ることがあります。	—
縦ぬいが長すぎる。 ・ 全体ぬいまたは多数列の縦ぬいでデザインし直します。	—
針がとがっていない。 ・ 針を交換します。針がとがっていないと布を押し下げ、布に傷が付ききます。	P. 92
液晶画面が見にくい	
液晶が明るすぎる、または暗すぎる。 ・ 画面の明るさを調整します。	P. 18
厚手の布地に刺しゅうするとき、正しく布地を刺しゅう枠に張れない	
布の厚みで、布地が外枠と内枠の間ですべてしまう。 ・ マスキングテープやバイアステープを外枠に巻いてください。テープの摩擦で、布地がすべりにくくなります。	—
十字レーザーが見にくい	
十字レーザーが明るすぎる、または暗すぎる。 ・ 十字レーザーの明るさを調整します。	P. 58
コンピューターとミシンを USB ケーブルで接続したとき、「リムーバブルディスク」の操作ができない	
コンピューターとミシンを接続している USB ケーブルを一旦抜いて、再び USB ケーブルをミシンに接続してください。	—

エラーメッセージ

ミシンが正しく準備できていない状態でスタート/ストップスイッチを押したときや、まちがった操作をしたときは、ミシンは停止し、ブザーとエラーメッセージでお知らせします。エラーメッセージが表示されたときは、メッセージの内容に従って対処してください。

表示中のメッセージは、を押すか、対処をしてから を押すと消えます。エラーメッセージが再度表示される場合は、お買い上げの販売店、または「PR/VR 専用ダイヤル」にご相談ください。

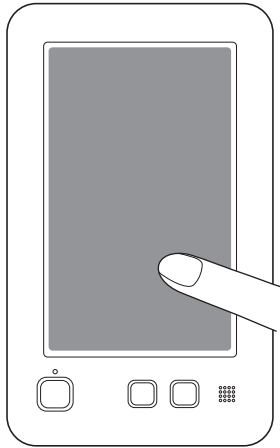
	エラーメッセージ	対処
1	USB メディアが入っていません。USB メディアを入れてください。	ミシンに USB メディアが差し込まれていない状態で、USB メディアから模様呼び出しや記憶をしようとしたときに表示されます。USB メディアを差し込んでください。 差し込んだ USB メディアが使用できないときに表示されます。使用可能な USB メディアについては、ブラザーのサポートサイト (https://s.brother/cpac/) でご確認ください。
2	安全装置が働きました。糸がからんでいますか？針が曲がっていませんか？	糸がからむ、針が曲がるなどの異常が発生したときに表示されます。ミシンは異常を検知して止まります。糸が正しくかかっているか (P. 59)、針が曲がっていないかを確認してください。
3	糸切りエラー	針板まわり (移動刃、固定刃、糸保持板) に糸くずやほこりなどがたまっているときに表示されます。針板まわりの掃除をしてください。(P. 90)
4	上糸または、下糸が切れていないか確認して下さい。	糸調子が強いときに表示されます。上糸調子と下糸調子を確認し、調整してください。(P. 77) 上糸が切れたり、糸が糸調子つまみや糸案内から外れたりしているときに表示されます。上糸の通し方を確認して、正しくセットし直してください。(P. 59) 回転調子皿に糸くずやほこりがたまっているときに表示されます。糸調子ダイヤルのつまみを外し、中の調子皿ワッシャーに付着している糸くずやほこりを取り除いてください。(P. 92) 下糸が切れたり、下糸がなくなったりしたときに表示されます。下糸があること、ポピンから下糸が約 50mm 出ていることを確認してください。下糸がないときは新しい下糸をセットしてください。(P. 21) その他の理由で表示される場合があります。P.98「上糸が切れる」または P.99「下糸が切れる」を参照してください。  を押すと、ぬい目を戻したり、進めたりすることができます。(P. 66)
5	書き込みに失敗しました。	USB メディアに 100 個以上の設定画面の画像を保存しようとしたときに表示されます。この場合は、USB メディアから画像を削除するか、別の USB メディアを使用してください。
6	この刺しゅう枠でぬうことはできません。大きい枠に取り替えて下さい。	台枠のつまみボルトがゆるんでいるときに表示されます。付属の 3 ウェイドライバーで、2 本のつまみボルトをしっかりと締め直してください。(P. 49) セットしている刺しゅう枠が小さいときに表示されます。使用可能な刺しゅう枠を確認して、大きい枠をセットし直してください。(P. 45)
7	このファイルは使用できません。	ミシンに対応していない形式のファイルを読み込もうとしたときに表示されます。対応するファイル形式の一覧を確認してください。(P. 104)
8	この模様は使えません。	このミシン用にダウンロードされたものではない模様を呼び出そうとしたときに表示されます。
9	この模様はデータ容量の制限を超えているため使えません。	ステッチ数やデータ容量の制限を超える模様を読み込んだり、たくさんの模様を編集したりしたときに表示されます。
10	この模様を組み合わせることはできません。	分割模様を、別の模様組み合わせようとしたときに表示されます。
11	定期点検の時期になりました。	ミシンがメンテナンスを必要としているときに表示されます。(P. 95)
12	針穴糸通しエラー	自動針穴糸通し装置が正常に動作しなかったときに表示されます。自動針穴糸通し装置に糸がからんでいる場合は、糸を取り除いてから、  を押します。

	エラーメッセージ	対処
13	針穴糸通し装置のフックが針穴に入っていません。	自動針穴糸通し装置で糸を通して途中で、他の操作をしたときに表示されます。自動針穴糸通しスイッチを押して糸通しを完了してから、次の作業を行ってください。(P. 62)
14	ピッカーエラー	ピッカー (P. 21) が正常に動作しなかったときに表示されます。ピッカーに糸がからんでいる場合は、糸を取り除いてから、  を押します。
15	プーリーの位置が正しくありません。	針の停止位置が正しくないときに表示されます。プーリーの印が真上にくるように回してから、  を押します。
16	縫製画面に進んで、ロック解除キーを押してください。	縫製画面以外の画面が表示されているときに糸切りスイッチを押したときに表示されます。縫製画面に進んでください。
17	ボーダー模様の組み合わせが解除されます。よろしいですか？	繰り返し模様 (ボーダー模様) を縫製画面で回転しようとしたときに表示されます。
18	文字の配列ができません。	文字数が多くて曲線の配列ができないときに表示されます。文字数を少なくしてください。
19	模様が刺しゅうの縫製範囲からはみ出します。これ以上組み合わせるときは、模様を回転して、追加入力してください。	刺しゅう枠に収まらない縦長の模様を呼び出したときに表示されます。模様を90度回転してください。
20	模様のデータが読めません。データが壊れている可能性があります。電源を入れ直して下さい。	破損した模様データや他社製のデータ作成ソフトウェアで作成されたデータを呼び出そうとしたときに表示されます。マシンを正常な状態に戻すため、電源を入れ直してください。
21	レジューム記憶を呼び出しますか？	刺しゅうが完了していない状態で電源が切られ、再び電源が入ったときに表示されます。刺しゅうを再開するときは、  を押してください。電源が切られる前の縫製画面が表示されたら、ぬい目を戻して刺しゅうを再開してください。(P. 67)
22	ロック解除キーを押してマシンロックを解除して下さい。	ロック解除をせずに糸切りスイッチを押したときに表示されます。  を押してから、糸切りしてください。
23	ワイパーエラー	糸が糸切り糸かけのミゾに通っていないときに表示されます。糸をミゾに正しく通してください。
		針板まわり (移動刃、固定刃、糸保持板) に糸くずやほりなどがたまっているときに表示されます。針板まわりの掃除をしてください。(P. 90)
		ワイパーに糸がからんでいるときに表示されます。からんでいる糸を取り除いてください。

キーを押しても反応しないときは

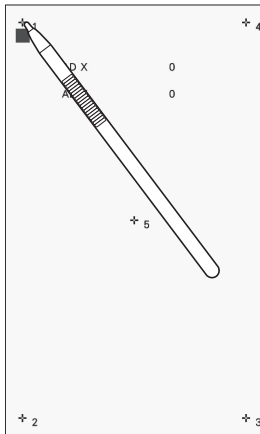
画面上のキーを押しても変化がない（入力できない）場合や、キーがずれている場合は、次の手順で画面の調整をしてください。

- 1 画面（どの部分でもよい）を押しながら、電源スイッチを入れ直します。



- 次の画面が表示されるまでずっと画面を押し続けてください。
- スタート/ストップスイッチが赤色に点灯します。
→ 次の画面が表示されます。

- 2 画面の四隅と中央に表示されている5つの十字ポイントを、付属のタッチペンをを使って1から5の順で軽く押ししていきます。



重要

- 必ず付属のタッチペンを使用して調整してください。シャープペンシル、ドライバーなどの先のとがったものや硬いもので押さないでください。また、画面に無理な力をかけないでください。故障の原因となります。

- 3 調整が成功すると、画面に [OK] と表示されます。これを確認して調整は完了です。

- ポイントのいずれかが正しく押されずに調整に失敗すると、最後の5を押したときチャイム音が鳴って、画面に [NG] と表示されます。もう一度、1から5の順でいねいにポイントを押し直してください。

お願い

- 調整をしてもキーが反応しない場合、または調整ができない場合は、お買い上げの販売店、または「PR/VR専用ダイヤル」にご相談ください。

- 4 調整が終わったら、電源スイッチを入れ直します。

仕様

本体仕様

項目	仕様		
本体寸法	50.6cm (幅) × 58.7cm (奥行) × 74.7cm (高さ) * 本製品を設置するときは、ミシンの前面から 35cm 以上、後面から 5cm 以上、側面から左右 15cm 以上のスペースを確保してください。		
製品質量	約 31 kg		
刺しゅうの最高速度	毎分 1000 針 枠の種類によっては、最高速度が異なることがあります。		
定格電圧/消費電力	100V (50-60Hz) / 110W		
インターフェース	USB*1		
メモリー	刺しゅう模様	1024KB または 20 個まで	
データの種類	刺しゅう模様*2	.pes .phc .dst .pen	
最大刺しゅう範囲	ヨコ 300mm× タテ 200mm まで		
使用可能な USB デバイス/メディアの種類*3	刺しゅう模様	刺しゅうデータを USB メディアへ記憶したり、USB メディアへ記憶した模様データを呼び出ししたりすることができます。使用できる USB メディアは次のとおりです。 • USB フラッシュドライブ (USB フラッシュメモリー) 呼び出しのみが可能な刺しゅうデータ • USB 外付け CD/DVD ドライブ	
[エコモード]、[電源オフサポートモード] の条件	[エコモード]	設定可能な時間	[OFF]、10 ~ 120 (分)
		スタート/ストップスイッチ	緑色の点滅
		停止する機能	ミシンライト、十字レーザー、画面表示
		復帰後	停止前の動作から再開します。
	[電源オフサポートモード]	設定可能な時間	[OFF]、1~12 (時間)
		スタート/ストップスイッチ	緑色のゆっくりした点滅
		停止する機能	全機能
		復帰後	エラーメッセージが表示されます。 ミシンの電源を入れ直して再起動してください。

*1 付属の USB ケーブルを使って、ミシンとパソコン (対応 OS : Microsoft Windows 8.1、Windows 10、Windows 11) を接続します。パソコンの「リムーバブルディスク」にフォルダーを作成しないでください。「リムーバブルディスク」のフォルダー内に刺しゅうデータを記憶した場合、ミシンで模様データを表示することはできません。

*2 当社正規のデータ作成ソフトウェアまたは本機で保存された模様以外のデータを扱うと、本機が誤作動するおそれがあります。ミシンを使用して任意の拡張子を持つファイルを保存すると、そのファイルは .phc データファイルとして保存されます。.dst データは、模様を一覧する画面にファイル名で表示されます (実際のイメージは表示されません)。ファイル名の文字数によっては、すべてのファイル名が表示されないことがあります。タジマフォーマット (.dst) データには、具体的な糸色の情報がないため、当社指定の糸色順で表示されます。画面を確認し、お好みの糸色に変更してください。

*3 市販の USB メディアを使用できますが、本機で使用できない USB メディアもあります。詳しくは、ブラザーのサポートサイト (<https://s.brother/cpac/>) でご確認ください。

* 使用する USB デバイス/メディアの種類によって、USB デバイスを本機の USB ポートに直接差し込むか、USB メディアリーダー/ライターのカابلを本機の USB ポートに接続してください。

* 仕様は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

重要

- 当社正規の模様以外の刺しゅうデータを使用する際は、糸密度が細かすぎる場合や3回以上の重ねぬいをする場合があります、糸切れや、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。そのような場合は、当社正規のデータ作成ソフトウェア（刺しゅうPROなど）で、刺しゅうデータを修正してご使用ください。

ミシンのソフトウェアをアップデートする

ミシンのソフトウェアをアップデートする手順は、以下の2通りがあります。アップデート情報については、ブラザーのサポートサイト（<https://s.brother/cucac/>）を参照してください。アップデートファイルが掲載されている場合は、ファイルをダウンロードして、以下の手順でミシンをアップデートしてください。

- USB メディアを使用してアップデートする
- パソコンを使用してアップデートする

お知らせ

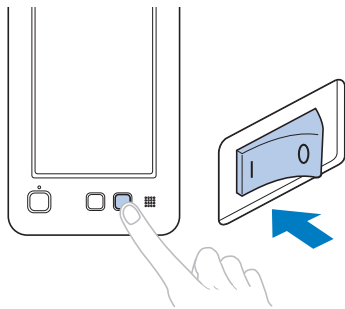
- ミシンのソフトウェアのバージョンは設定画面で確認できます。（P. 18）

USB メディアを使用してアップデートする




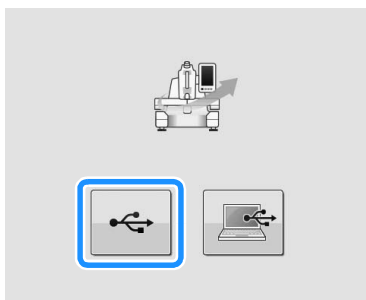
（P. 19）：
動画で使い方をご確認いただけます。

- 1 自動針穴糸通しスイッチを押しながら、電源を入れます。

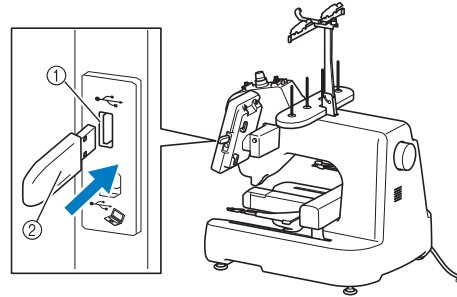


→ 以下の画面が液晶画面に表示されます。

- 2  を押します。




- 3 ミシンのUSBポートにアップデートファイルを保存したUSBメディアを差し込みます。

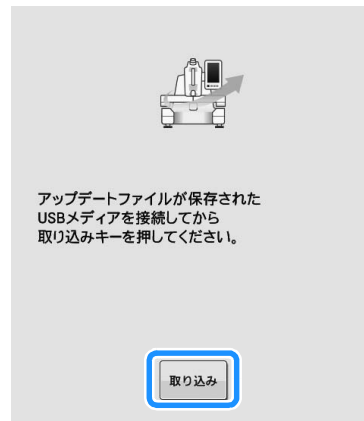


- ① USBポート
- ② USBメディア

お願い

- USBメディアにはアップデートファイルだけを保存してください。

- 4  を押して、ミシンをアップデートします。



- アップデート中は電源を切らないでください。
→ アップデートが正常に行われると、完了メッセージが表示されます。

- 5 USBメディアを取り外し、ミシンの電源スイッチを入れ直します。

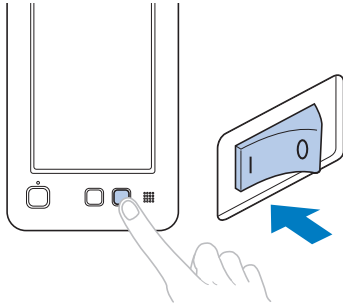
パソコンを使用してアップデートする

パソコンの対応 OS については、P.104 「仕様」を参照してください。


🔍 お願い

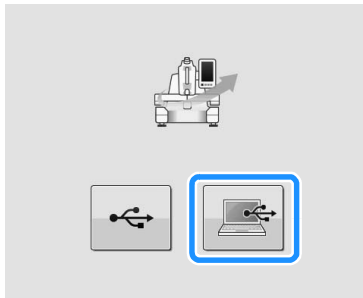
- USB ケーブルを使用する場合は、パソコンに USB メディアを差し込まないでください。


- 1 自動針穴糸通しスイッチを押しながら、電源を入れます。



→ 以下の画面が液晶画面に表示されます。

- 2  を押します。



- 3 USB ケーブルをパソコンとミシンのそれぞれ対応する USB ポートにつなぎます。
- 4 アップデートファイルをパソコンの「リムーバブルディスク」にコピーします。
- 5  を押して、ミシンをアップデートします。



- アップデート中は電源を切らないでください。
- アップデートが正常に行われると、完了メッセージが表示されます。

- 6 USB ケーブルを抜き、ミシンの電源スイッチを入れ直します。

索引

D	
DST 設定	56
T	
T シャツ	44
U	
USB ポート	
USB メディアをつなぐ	83
パソコンをつなぐ	83
あ	
アプリケーションファベット	31
アプリケ模様	70
い	
一時停止	65
糸	59
糸案内	11、59
糸案内内部を組み立てる	14
糸色表示	80
移動キー	34、55
糸切りスイッチ	12、65
糸こま	
簡単交換	63
糸印	37
糸立台	11
糸調子つまみ	11、78
糸通し	
上糸	58
下糸	21
針穴	62
糸道上糸調子つまみ	78
糸道下	11
糸道中	11
糸密度	34
糸密度キー	34
イメージキー	34、55
色替えキー	34、38
色替え数	54
色パレット	38
う	
上糸	58、59
え	
液晶画面 (タッチパネル)	12、17
エラーメッセージ	101
お	
大きさキー	33
大きさ (縦)	33
大きさ (横)	33
か	
回転角度	33
回転キー	33
回転調子皿	60
ガイド表示	79
確認する	
糸色	58
仕上がりイメージ	43
釜	89
釜カバー/釜	11
換気口	12
カントンフリース	44

き	
基本手順	21
キャリッジ	11
キャンバス地	44
く	
繰り返し模様 (ボーダー模様)	35
こ	
コーデウロイ	44
ゴルフシャツ	44
さ	
削除キー	34
サテンジャケット	44
左右反転キー	34
し	
仕上がりイメージ	43
刺しゅう糸	59
刺しゅうシート	48
刺しゅうする	
小さい布地にぬう	48
文字をつなげる	81
刺しゅう模様	
選び方	26
編集	33
刺しゅう枠	
種類	51
取り付け方	49
刺しゅうを再開する	67
しつけぬい	69
自動糸切り	55
自動針穴糸通しスイッチ	12、62
自動針穴糸通し装置	62
ジャンプコード	56
十字レーザー	57、73
仕様	104
シルク	44
す	
スウェットシャツ	44
スタート/ストップスイッチ	12、64
スピーカー	12
せ	
設置	13
接着芯	43、44
選択	
刺しゅう模様	26、32
そ	
操作パネル	11、12
掃除する	
糸道	91
釜	89
画面	89
注油	94
針板まわり	90
ボビンケース	91
本体表面	89
メンテナンスメッセージ	95
た	
台枠	
取り付け方	14
タオル地	44
タジマフォーマット	56
タッチペンホルダー	12

ち		ほ	
中心からの距離 (縦)	33	帽子	44
中心からの距離 (横)	33	縫製画面	54、58
注油する	94	縫製キー	34
調整する		縫製最高速度設定キー	55
画面	103	縫製時間	54
調節する		ポビンケース	21、91
脚	13	取り出し方	21
て		め	
適応枠表示	33、45、54	綿の敷布	44
デニム	44	も	
電源コード	15	文字をつなげる	81
電源コードジャック	12	模様選択キー	34
電源スイッチ	12、16	模様の大きさ	33、54
と		模様表示エリア	26
トラブルチェック	97	模様を組み合わせる	32
ドレスシャツ (織物)	44	り	
な		利用規約	3
内蔵ソフトのアップデート	106	れ	
USB メディアを使う	106	レベル座	11
パソコンを使う	107	連続刺しゅう (1色)	79
に		ろ	
日時設定	16、17	ロック解除キー	55
ニット	44	わ	
ぬ		枠移動キー	17、51
ぬい順数	54	渡り糸切り	56
ぬい順表示	33、54		
ぬい始め位置設定キー	81		
ぬい目戻り／進むキー	54、66、67		
ぬい目を戻してぬう	66、67		
布地を張る	45		
布／接着芯の適合表	44		
ね			
ネーム刺しゅう	84		
ネームモード	84		
は			
バージョン	18		
配色キー	33、38		
始めからぬい直す	67		
肌着やシルク	44		
針			
糸通し	62		
針数	54		
針もとライト	11		
ふ			
プーリー	12		
付属品	13		
部分表示	33、54		
分割模様	86		
へ			
変更する			
糸色表示	80		
糸密度	34		
ガイド表示	79		
しつけ距離	69		
模様の色	38		
編集	33		
始めまたは途中からぬいたいときは	67		
編集画面	33		









必ず最新のソフトウェアをインストールしてください。
最新バージョンでは、様々な機能向上を行っています。



Brother SupportCenterは、ブラザー製品のサポート情報を提供するモバイルアプリです。

別売品に関する情報は <https://s.brother/cocac/> をご覧ください。



アフターサービス

修理を依頼するときや部品を購入するときは、お買い上げの販売店、または「PR/VR専用ダイヤル」にお問い合わせください。

■ 保証書について

- ご購入の際、保証書にお買い上げ日、販売店名などが記入してあるかご確認の上、販売店で受け取ってください。保証書の内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- 当社はこのミシンの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理については、お買い上げの販売店、または下記の「PR/VR専用ダイヤル」にご相談ください。

■ PR/VR専用ダイヤル

本製品の使い方やアフターサービスについてご不明の場合はお買い上げの販売店または「PR/VR専用ダイヤル」までお問い合わせください。

〒467-8577 愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1

PR/VR専用ダイヤル Tel: 0570-550-265
お問い合わせ窓口 <https://s.brother/crgka/>
受付時間: 月曜日～金曜日 9:00～12:00 13:00～17:30
休業日: 土曜日、日曜日、祝日およびブラザー販売株式会社の休日



- 「PR/VR専用ダイヤル」は、ブラザー販売株式会社が運営しています。
- 機能および操作方法が機種によって異なるため、お問い合わせの際に「機種名」と「機械番号」をご連絡いただきますと、スムーズにお答えすることができます。ミシン背面の定格ハリマーク（銀色シール）の下記部分をご確認ください。



- 上記の電話番号、住所および受付時間は、都合により変更する場合がありますので、ご了承ください。

■ ホームページ

ブラザーのホームページでは、製品に関する様々な情報を掲載しております。

<https://www.brother.co.jp/>

ブラザーのサポートサイトでは、製品に関するサポート情報を掲載しております。

<https://s.brother/cpcac/>



ブラザー工業株式会社

愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1 〒467-8561

882-T52



D02M16-001